

科目名	Media Contents(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴	映像ディレクター・イラストレーター。デザイナー・ミュージックビデオ・舞台・コンサート・ライブ・イベント・映画・YouTube等					
授業の学習 内容	1.映像制作の技法を理解し、今後に発展させる為。 2.映像基礎を学習し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、画像編集・動画編集ソフトの操作を学習。					
到達目標	画像編集、動画編集ソフトウェアの操作ができる。グループワークで、チーム間の役割・連携また、機材の基本的操作ができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像編集の実演、基礎を学ぶ	作業ワークフローを理解する
2	4月21日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
3	5月12日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
4	5月19日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
5	5月26日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	6月2日	講義・演習	個人での企画立案、構成を学ぶ	企画案を準備する
7	6月9日	講義・演習	映像編集ソフトの基本操作を学ぶ	課題編集、制作
8	6月16日	講義・演習	映像編集ソフトの基本操作を学ぶ	課題編集、制作
9	6月23日	講義・演習	授業内課題発表、プレゼンテーショ	発表準備、プレゼン資料作成
10	6月30日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
11	7月7日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
12	7月14日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
13	8月25日	講義・演習	授業内課題発表、プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Contents(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	映像ディレクター・イラストレーター。デザイナー・ミュージックビデオ・舞台・コンサート・ライブ・イベント・映画・YouTube等						
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後発展させる為。 2.映像基礎を学習し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、編集ソフトの操作を学習。						
到達目標	企画力、構成力を養う。作品を完成させ、各媒体で実践する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期ガイダンス	レポート提出
2	10月13日	講義・演習	撮影器材(一眼レフ、三脚)の基礎を学ぶ	機材操作を習得する
3	10月20日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶストップモーション	機材操作を習得する
4	10月27日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶクロマキー合成	機材操作を習得する
5	11月3日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	グループワーク演習 発表	企画案を準備する
8	11月24日	講義・演習	修了制作・準備	課題編集、制作
9	12月1日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
10	12月8日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
11	12月15日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
12	1月19日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
13	2月2日	講義・演習	一年時修了作品 プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber Management(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2018年よりVTuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作.同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	VTuberの企画・運営・ビジネス戦略を総合的に学ぶ 技術だけでなく、コンテンツ企画やマーケティング、ファンコミュニティの運営、収益化の方法まで幅広く扱う						
到達目標	座学中心でのインプットとレポートの提出を通して VTuberを運営するための各要素を学び広い視野を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン VTuber業界の全体像について	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
2	5月13日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
3	5月20日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
4	5月27日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
5	6月3日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
6	6月10日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
7	6月17日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
8	6月24日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
9	7月1日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
10	7月8日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
11	7月15日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
12	7月22日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
13	8月26日	講義・演習	前期まとめ	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
準備学習 時間外学習			既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber Management(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2018年よりVTuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作.同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	VTuberの企画・運営・ビジネス戦略を総合的に学ぶ 技術だけでなく、コンテンツ企画やマーケティング、ファンコミュニティの運営、収益化の方法まで幅広く扱う						
到達目標	座学中心でのインプットとレポートの提出を通して VTuberを運営するための各要素を学び広い視野を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	後期オリエンテーション	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
2	10月21日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1: 応用	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
3	10月28日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1: 応用	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
4	11月4日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
5	11月11日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
6	11月18日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
7	11月25日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
8	12月2日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
9	12月9日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
10	12月16日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
11	1月13日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
12	1月20日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
13	2月3日	講義・演習	後期まとめ	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
準備学習 時間外学習			既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	予習課題曲練習
2	5月13日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月20日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	5月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	6月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	7月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月26日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	9月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲の分析
15	9月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲の分析
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブサポート、CM・劇伴・ゲームのレコーディングなど。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペントニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、複数のキーで、一定のテンポで弾けるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自分のトレーニングメニューを作成する方法、パターン練習実践1	メジャースケールを予習
2	5月13日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える パターン練習実践2	自分のトレーニングメニューを作成
3	5月20日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える 上行下行パターンを弾く	オルタナイト・ピッキングで練習する
4	5月27日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える 3連パターンを弾く	課題スケールの復習、練習メニューの見直し
5	6月3日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える 4連パターンを弾く	指板上のポジションを書き出してみる
6	6月10日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える 3度パターンの理解と練習を行う	指板上の2-3ポジションを覚える
7	6月17日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う	指板上の4-5ポジションを覚える
8	6月24日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う	指板上の6-7ポジションを覚える
9	7月1日	講義・演習	ペントニック・パターン1を覚える 3連での上下行パターンを弾く	ペントニックのパターン1を2つのキーで書いてみる
10	7月8日	講義・演習	ペントニック・パターン2を覚える 4連での上下行パターンを弾く	ペントニックのパターン2を2つのキーで書いてみる
11	7月15日	講義・演習	ペントニック・パターン3を覚える H0上行、PO下行フレーズを弾く	ペントニックのパターン3を2つのキーで書いてみる
12	7月22日	講義・演習	ペントニック・パターン4を覚える チョーキングを含むフレーズを弾く	ペントニックのパターン4を2つのキーで書いてみる
13	8月26日	講義・演習	ペントニック・パターン5を覚える 12小節ブルース、パンプでフレーズを弾く	ペントニックのパターン5を2つのキーで書いてみる
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加える				

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者ベーシストとして様々なアーティストをサポート						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し、演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1.指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2.メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3.コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する	チャプター内のエクササイズの復習
2	5月13日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる	チャプター内のエクササイズの復習
3	5月20日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
4	5月27日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
5	6月3日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月10日	講義・演習	b keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
7	6月17日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
8	6月24日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
9	7月1日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月8日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
11	7月15日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
12	7月22日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月26日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Dr Control Theory(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている						
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	グリップ&フォーム、フィンガーコントロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月21日	講義・演習	フットワークの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月12日	講義・演習	アクセレーションコントロール16分音符(3種類)の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月19日	講義・演習	アクセレーションコントロール3連符(2種類)の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月26日	講義・演習	ダブルストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月2日	講義・演習	5.7.9.11.13ストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月9日	講義・演習	バズ、バズ5、バズ7の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月16日	講義・演習	シングルパラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月23日	講義・演習	ダブルパラデイドル、トリプルパラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月30日	講義・演習	フラム、フラムアクセント16分&3連符の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月7日	講義・演習	フラムパラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月14日	講義・演習	フラムタップ、ラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月25日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。および、シンセサイザーの基礎を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
2	4月21日	講義・演習	課題曲1の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
3	5月12日	講義・演習	課題曲1の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
4	5月19日	講義・演習	課題曲1の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
5	5月26日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
6	6月2日	講義・演習	課題曲2の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
7	6月9日	講義・演習	課題曲2の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
8	6月16日	講義・演習	課題曲2の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
9	6月23日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
10	6月30日	講義・演習	課題曲3の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
11	7月7日	講義・演習	課題曲3の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
12	7月14日	講義・演習	課題曲3の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業前・授業内で配布する譜面・音源等				

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	4月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	5月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	8月25日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー・ライブサポート・CM・劇伴・ゲームのレコーディングなど						
授業の学習 内容	ソロ/メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール/アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	アイオニアン構造を理解し、ポジションを覚える	maj7ハンブ進行で練習
2	10月15日	講義・演習	ドリアン構造を理解し、ポジションを覚える	m7ハンブ進行で練習
3	10月22日	講義・演習	フリジアン構造を理解し、ポジションを覚える	m7ハンブ進行で練習
4	10月29日	講義・演習	リディアン構造を理解し、ポジションを覚える	maj7#11ハンブ進行で練習
5	11月5日	講義・演習	ミクソリディアン構造を理解し、ポジションを覚える	dom7ハンブ進行で練習
6	11月12日	講義・演習	エオリアン構造を理解し、ポジションを覚える	m7ハンブ進行で練習
7	11月19日	講義・演習	ロクリアン構造を理解し、ポジションを覚える	m7b5ハンブ進行で練習
8	11月26日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の4種類のアルペジオを弾く	ポジション固定でアルペジオの切り替えを練習
9	12月3日	講義・演習	ディミニッシュスケールの構造を理解し、ポジションを覚える	dim7ハンブ進行で練習
10	12月10日	講義・演習	ホールトーンスケールの構造を理解し、ポジションを覚える	II7b5ハンブ進行で練習
11	12月17日	講義・演習	ハーモニックマイナーの構造を理解し、ポジションを覚える	minor-major7ハンブ進行で練習
12	1月14日	講義・演習	メロディックマイナーの構造を理解し、ポジションを覚える	minor-major7ハンブ進行で練習
13	1月21日	講義・演習	オルタードスケールの構造を理解し、ポジションを覚える	dom7b9, dom7#9ハンブ進行で練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分)でパターン練習、アドリブ練習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます				

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者ベーシストとして様々なアーティストをサポート						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1.メジャースケール、マイナースケールとそのダイアトニックコードの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 2.ブルースのハーモニーとそのコード進行、フレージングを理解し、演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
2	10月10日	講義・演習	ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
3	10月17日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
4	10月31日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる	チャプター内のエクササイズの復習
5	11月7日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
6	11月14日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
7	11月21日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
8	11月28日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
9	12月5日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる	チャプター内のエクササイズの復習
10	12月12日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
11	12月19日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
12	1月16日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
13	1月23日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Dr Control Theory(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている						
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ラフ、4.5ストロークラフの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月13日	講義・演習	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月20日	講義・演習	ドラッグパラディドルNo.1.2の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月27日	講義・演習	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月3日	講義・演習	ルーディメンツ総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月10日	講義・演習	チェンジアップの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月17日	講義・演習	2拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月24日	講義・演習	4拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月1日	講義・演習	3拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月8日	講義・演習	3拍4連on4/4の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月15日	講義・演習	5拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月19日	講義・演習	7拍フレーズの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。与えられた楽曲に対して、どのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
2	10月13日	講義・演習	課題曲4の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
3	10月20日	講義・演習	課題曲4の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
4	10月27日	講義・演習	課題曲4の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
5	11月3日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
6	11月10日	講義・演習	課題曲5の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
7	11月17日	講義・演習	課題曲5の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
8	11月24日	講義・演習	課題曲5の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
9	12月1日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
10	12月8日	講義・演習	課題曲6の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
11	12月15日	講義・演習	課題曲6の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
12	1月19日	講義・演習	課題曲6の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業前・授業内で配布する譜面・音源等				

科目名	Pre-production seminar(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	実際にクライアント様から発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら進めていき作品を完成させる					
到達目標	発注を頂いたクライアント様からの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。 その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容ガイダンス 第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	5月13日	講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	5月20日	講義・演習	第1クール実習2	第1クールコンペに向けて録音、ミックス
4	5月27日	講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
5	6月3日	講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
6	6月10日	講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
7	6月17日	講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
8	6月24日	講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
9	7月1日	講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
10	7月8日	講義・演習	第3クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
11	7月15日	講義・演習	第3クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
12	7月22日	講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13	8月26日	講義・演習	夏休み課題発表、前後期間課題発表	前後期間課題制作
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完する ような授業プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。					
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	10月21日	講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	10月28日	講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4	11月4日	講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5	11月11日	講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6	11月18日	講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7	11月25日	講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8	12月2日	講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9	12月9日	講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10	12月16日	講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11	1月13日	講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12	1月20日	講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13	2月3日	講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	春休み課題制作
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance Produce(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業紹介・スキルチェック	ストレッチ、クールダウン
2	4月25日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	5月9日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	5月16日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	5月23日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	5月30日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	6月6日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	6月13日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	6月20日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	7月4日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	7月11日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	7月18日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance Produce(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	スキルチェック・目標設定	ストレッチ、クールダウン
2	10月10日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	10月17日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	10月31日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	11月7日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	11月14日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	11月21日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	11月28日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	12月5日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	12月12日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	12月19日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	1月16日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営						
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。						
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	マーケティングの意味や基本を理解し、なぜそれが重要なのかを学ぶ	授業後のレポート課題
2	5月13日	講義・演習	プレゼンを学び、自己ブランディングに向けたプロフィール作成	授業後のレポート課題
3	5月20日	講義・演習	「ビジョンボード」、「やりたいことリスト100」などを作成し、将来の目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
4	5月27日	講義・演習	エンタテインメントを含む世の中のマーケティング実例を学び、その仕組みについて理解する	授業後のレポート課題
5	6月3日	講義・演習	既存アーティストや商品、サービス独自のウリ(USP)から、プロデュース視点で物事を考えるスキルを学ぶ	授業後のレポート課題
6	6月10日	講義・演習	マーケティングスキルのひとつ「リスクリバーサル」を学び、相手の立場に立った提案ができるようになる	授業後のレポート課題
7	6月17日	講義・演習	実例を基に、「ジョイントベンチャー(戦略的業務提携)」を学び、あらゆる企画立案ができるようになる	授業後のレポート課題
8	6月24日	講義・演習	テレマーケティングを学び、交渉術などプロジェクトを円滑に進行する力を身につける	授業後のレポート課題
9	7月1日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
10	7月8日	講義・演習	学んだマーケティング視点を使って、実際に企画を立てる	授業後のレポート課題
11	7月15日	講義・演習	立てた企画を実際にアウトプットして市場の反応を見ながらブラッシュアップすることを学ぶ	授業後のレポート課題
12	7月22日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	メディアのマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
2	10月21日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
3	10月28日	講義・演習	コミュニケーションを学び、ワンランク上のマーケティングスキルを身につける	授業後のレポート課題
4	11月4日	講義・演習	ダイレクトメールを学び、マーケティングと営業スキル、交渉力を身につける	授業後のレポート課題
5	11月11日	講義・演習	商品やサービスのキャンペーンの仕組みについて学び、提案力を身につける	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングやブランディングについて学び、視覚的なプロデュースができるようになる	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	お金の基本を学び、お金を集める方法を学び、プロデュース力を身につける	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	企画書の作り方を学び、具体的にマーケティングを仕掛けていく力を身につける	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	実際に企画した案件を実施し、マーケティングの検証・改善を行い、ワンランク上のマーケティングを身につける	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	マーケティングを意識した企画を実際に制作・運営する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像配信基礎(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	原良寛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1.映像制作の技法を理解し、今後に発展させる為。 2.映像基礎を学習し、セミナー・シンポジウム・イベント・YouTube撮影等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、画像編集・動画編集ソフトの操作を学習。						
到達目標	撮影技術の基礎の習得、撮影機材の操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携また、機材の基本的操作ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像編集の実演、基礎を学ぶ	作業ワークフローを理解する
2	4月21日	講義・演習	カメラ機材の基本操作を学ぶ	カメラ機材の操作を習得
3	5月12日	講義・演習	撮影機材の基本操作を学ぶ	撮影機材の操作を習得
4	5月19日	講義・演習	撮影機材の基本操作を学ぶ	撮影機材の操作を習得
5	5月26日	講義・演習	撮影企画選定をする	撮影企画選定を習得
6	6月2日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
7	6月9日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
8	6月16日	講義・演習	プレゼンテーション及び合評会	発表準備、プレゼン資料作成
9	6月23日	講義・演習	撮影企画選定	撮影企画選定を習得
10	6月30日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
11	7月7日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
12	7月14日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
13	8月25日	講義・演習	プレゼンテーション及び合評会	発表準備、プレゼン資料作成
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して映像配信を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して映像配信を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像配信基礎(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松本一晃
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1.映像基礎を学習し、今後に発展させる為。 2.映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
2	10月13日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
3	10月20日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
4	10月27日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
5	11月3日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
8	11月24日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
9	12月1日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
10	12月8日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
11	12月15日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
12	1月19日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
13	2月2日	講義・演習	映像機材・送出ソフトを使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				
レゾリウム・アリーナ使用予定				

科目名	Professional Music Production Workshop(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	4月26日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	5月10日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	5月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	5月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	5月31日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	6月7日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	6月14日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	6月21日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	7月5日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	7月12日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	8月23日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	8月30日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	10月11日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	10月18日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	11月1日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	11月8日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	11月15日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	11月22日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	11月29日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	12月6日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	12月13日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	12月20日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	1月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	1月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(1) Clip Studio A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	八記思峰
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実演を通してクリスタの基本機能を使えるようになる	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ1-2
2	5月13日	講義・演習	面談を通して各々イラストのゴール地点を明確にする	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ3-4
3	5月20日	講義・演習	実演を通してリンゴや簡単なキャラクターを描く	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ5-6
4	5月27日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ①	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「顔」の基本比率
5	6月3日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ②	YouTube hide channel /【顔の描き方】
6	6月10日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ③	YouTubeディープブリザード/顔を簡単に描く!
7	6月17日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ①	YouTubeディープブリザード/色使いはセンスじゃ無い!
8	6月24日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ②	YouTubeさいとうなおき/『カケコピ付け方』全て伝授する
9	7月1日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ①	YouTubeディープブリザード/グリザイユ画法
10	7月8日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ②	YouTubeディープブリザード/初心者向け厚塗り講座
11	7月15日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く①	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
12	7月22日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く②	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
13	8月26日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く③	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(1) Clip Studio B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	八記思峰
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触る学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実演を通してクリスタの基本機能を使えるようになる	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ1-2
2	5月13日	講義・演習	面談を通して各々イラストのゴール地点を明確にする	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ3-4
3	5月20日	講義・演習	実演を通してリンゴや簡単なキャラクターを描く	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ5-6
4	5月27日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ①	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「顔」の基本比率
5	6月3日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ②	YouTube hide channel /【顔の描き方】
6	6月10日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ③	YouTubeディープブリザード/顔を簡単に描く!
7	6月17日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ①	YouTubeディープブリザード/色使いはセンスじゃ無い!
8	6月24日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ②	YouTubeさいとうなおき/『カケコ付け方』全て伝授する
9	7月1日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ①	YouTubeディープブリザード/グリザイユ画法
10	7月8日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ②	YouTubeディープブリザード/初心者向け厚塗り講座
11	7月15日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く①	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
12	7月22日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く②	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
13	8月26日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く③	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(2) Clip Studio A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	八記思峰
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を音楽だけでなく絵でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触る学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となってくるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。また後期はそれらに加えて、Live2Dのパーツ分けやデフォルメキャラなどについても学び、より実践的な展開も学習していきます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	面談を通して後期の目標を各自明確にする	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
2	10月21日	講義・演習	実演にてオリジナリティやキャラクターデザインを学ぶ	YouTubeディープリザード/ キャラデザ入門
3	10月28日	講義・演習	実演を通してデフォルメキャラを学ぶ	YouTube hide channel / Q.ミニキャラがかわいく描けません→A.この方法で簡単にかわくなります！
4	11月4日	講義・演習	実演を通してバランスの良い体の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【初心者はコレから！】 体を描く順番、何から描けばいいの？
5	11月11日	講義・演習	実演を通して髪の毛の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「髪」の描き方！！
6	11月18日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ①	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
7	11月25日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ②	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
8	12月2日	講義・演習	実演を通して影の付け方を学ぶ	YouTubeディープリザード/影って何？光って何？
9	12月9日	講義・演習	実演を通して手の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【手の描き方2】 手をかんたんにつくにはまずコレを描く！
10	12月16日	講義・演習	実演を通して足の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/簡単！！『足の描き方』
11	1月13日	講義・演習	実演を通して構図や背景について学ぶ	YouTubeアニメ私塾/ 【描き方】パスが上手くなる落書き
12	1月20日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる①	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
13	2月3日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる②	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(2) Clip Studio B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	八記思峰
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を音楽だけでなく絵でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触れる学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となってくるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。また後期はそれらに加えて、Live2Dのパーツ分けやデフォルメキャラなどについても学び、より実践的な展開も学習していきます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	面談を通して後期の目標を各自明確にする	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
2	10月21日	講義・演習	実演にてオリジナリティやキャラクターデザインを学ぶ	YouTubeディープリザード/ キャラデザ入門
3	10月28日	講義・演習	実演を通してデフォルメキャラを学ぶ	YouTube hide channel / Q.ミニキャラがかわいく描けません→A.この方法で簡単にかわくなります！
4	11月4日	講義・演習	実演を通してバランスの良い体の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【初心者はコレから！】体を描く順番、何から描けばいいの？
5	11月11日	講義・演習	実演を通して髪の毛の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「髪」の描き方！！
6	11月18日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ①	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆2-1【キャラデザ作業編】
7	11月25日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ②	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆2-1【キャラデザ作業編】
8	12月2日	講義・演習	実演を通して影の付け方を学ぶ	YouTubeディープリザード/影って何？光って何？
9	12月9日	講義・演習	実演を通して手の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【手の描き方2】手をかんとんに描くにはまずコレを描く！
10	12月16日	講義・演習	実演を通して足の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/簡単！！『足の描き方』
11	1月13日	講義・演習	実演を通して構図や背景について学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【描き方】パースが上手くなる落書き
12	1月20日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる①	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
13	2月3日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる②	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アバター配信運営(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ISARIBI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	WebCM, 配信イベント, ショートフィルムなどの映像業 / 芸能人やタレントのSNSプロデュース業、生成AI講師業の3軸で活動						
授業の学習 内容	『バーチャル・パフォーマー』として必要な、SNS運用のスキルを伸ばすための授業。SNSの運用理論を学びつつ、動画制作を通して、実際の運用も実践する。						
到達目標	自分自身で今後クリエイターとして活動する上で、必要なSNS運用ノウハウと動画実践スキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
2	5月13日	講義・演習	SNS戦略概論	授業後課題・次週発表予定 「Hibiki / Hikari ch」を伸ばすための戦略を考えてみる
3	5月20日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
4	5月27日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
5	6月3日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
6	6月10日	講義・演習	炎上対策 (第1弾)自己制作	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
7	6月17日	講義・演習	(第1弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第1弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
8	6月24日	講義・演習	他アカウント動画の分析-1 (第1弾)アナリティクスを読み解こう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
9	7月1日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
10	7月8日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2 (第2弾)撮影の準備をしよう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
11	7月15日	講義・演習	(第2弾)撮影	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
12	7月22日	講義・演習	(第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
13	8月26日	講義・演習	(第2弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube/TikTokの縦動画にはたくさん触れておいってください切り抜き / ゲーム実況 / 歌ってみた / など				

科目名	アバター配信運営(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ISARIBI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	WebCM, 配信イベント, ショートフィルムなどの映像業 / 芸能人やタレントのSNSプロデュース業、生成AI講師業の3軸で活動						
授業の学習 内容	『バーチャル・パフォーマー』として必要な、SNS運用のスキルを伸ばすための授業。SNSの運用理論を学びつつ、動画制作を通して、実際の運用も実践する。						
到達目標	自分自身で今後クリエイターとして活動する上で、必要なSNS運用ノウハウと動画実践スキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	後期オリエン	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
2	10月21日	講義・演習	SNS戦略概論	授業後課題・次週発表予定 「Hibiki / Hikari ch」を伸ばすための戦略を考えてみる
3	10月28日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
4	11月4日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
5	11月11日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
6	11月18日	講義・演習	炎上対策 (第1弾)自己制作	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
7	11月25日	講義・演習	(第1弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第1弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
8	12月2日	講義・演習	他アカウント動画の分析-1 (第1弾)アナリティクスを読み解こう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
9	12月9日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
10	12月16日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2 (第2弾)撮影の準備をしよう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
11	1月13日	講義・演習	(第2弾)撮影	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
12	1月20日	講義・演習	(第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
13	2月3日	講義・演習	(第2弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube/TikTokの縦動画にはたくさん触れておいください切り抜き / ゲーム実況 / 歌ってみた / など				

科目名	Live2D基礎(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中浦涼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	企業向け・個人向けアバター5体以上制作、FSMにて授業4年目						
授業の学習 内容	VTuberには必須なアバターを自分で制作できるようになれば、将来的に外注するとしてもどこにどれだけ時間を要するか等が把握できるのでやり取りをスムーズに進められる。またモデリングの理解を深めることでイラストのパーツ分けのコツも見えてくるのでキャラデザやイラストの描き込みにも繋げられる。						
到達目標	Live2Dの理解を深め、高可動域アバターの制作を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介・グルー機能について学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
2	5月13日	講義・演習	目の開閉をより細かく学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
3	5月20日	講義・演習	髪の毛の多段揺らしを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
4	5月27日	講義・演習	マスク機能について学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
5	6月3日	講義・演習	口の動きをより細かく学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
6	6月10日	講義・演習	輪郭のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ1	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
7	6月17日	講義・演習	輪郭のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ2	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
8	6月24日	講義・演習	顔パーツのXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
9	7月1日	講義・演習	前髪と横髪のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
10	7月8日	講義・演習	後ろ髪のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
11	7月15日	講義・演習	身体のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
12	7月22日	講義・演習	物理演算の理解を深め、バインドを設定する	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
13	8月26日	講義・演習	目の大小のバインドを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
14	9月9日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
15	9月16日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
準備学習 時間外学習			乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Live2D基礎(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中浦涼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	企業向け・個人向けアバター5体以上制作、FSMにて授業4年目						
授業の学習 内容	VTuberには必須なアバターを自分で制作できるようになれば、将来的に外注するとしてもどこにどれだけ時間を要するか等が把握できるのでやり取りをスムーズに進められる。またモデリングの理解を深めることでイラストのパーツ分けのコツも見えてくるのでキャラデザやイラストの描き込みにも繋げられる。						
到達目標	Live2Dの理解を深め、高可動域アバターの制作を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	配信ソフトとの連携	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
2	10月21日	講義・演習	高度なドローイング	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
3	10月28日	講義・演習	高度なデフォーマ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
4	11月4日	講義・演習	高度なパラメータ設定	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
5	11月11日	講義・演習	高度なアニメーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
6	11月18日	講義・演習	表情のバリエーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
7	11月25日	講義・演習	体の動きの応用	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
8	12月2日	講義・演習	物理演算の応用	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
9	12月9日	講義・演習	複雑なリップシンク、サウンドエフェクトの追加	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
10	12月16日	講義・演習	配信ソフトとの高度な連携	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
11	1月13日	講義・演習	配信ソフトのカスタマイズ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
12	1月20日	講義・演習	配信中のトラブルシューティング	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
13	2月3日	講義・演習	チームでのコラボレーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
14	2月10日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
15	2月17日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
準備学習 時間外学習			乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	メタバースライブ制作(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2018年よりVtuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	Vtuberのライブやイベント制作を実際のライブ/イベント制作を通して、 持つべきスタンスや、やるべきタスクを学び卒業後に即戦力になれる人材を目指す						
到達目標	学期ごとにライブ/イベントを実際に制作し、 ・制作の過程で何をすべきか？ ・どういった考え方を持つべきか？ を学び、活きた現場経験を持った人材となる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン 制作するライブの説明	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
2	5月13日	講義・演習	グループごとのタスクの共有グループ分け	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
3	5月20日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
4	5月27日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
5	6月3日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
6	6月10日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
7	6月17日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
8	6月24日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
9	7月1日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
10	7月8日	講義・演習	グループワークでの制作 ①ライブ演出②オペレーション③グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
11	7月15日	講義・演習	本番前各種最終確認	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
12	7月22日	講義・演習	振り返り1	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
13	8月26日	講義・演習	振り返り2	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
14	9月9日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
15	9月16日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	メタバースライブ制作(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2018年よりVtuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している					
授業の学習 内容	Vtuberのライブやイベント制作を実際のライブ/イベント制作を通して、 持つべきスタンスや、やるべきタスクを学び卒業後に即戦力になれる人材を目指す					
到達目標	学期ごとにライブ/イベントを実際に制作し、 ・制作の過程で何をすべきか？ ・どういった考え方を持つべきか？ を学び、活きた現場経験を持った人材となる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習③ Vtuberの時間とその価値	Vtuberの1日の過ごし方と時間の価値を考えてくる
2	10月21日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習④ Vtuberファンの可処分所得と可処分時間 チケットとマーチャндаイジング	今年消費(購入)したVtuberのコンテンツリストの提出
3	10月28日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習⑤ トップダウンとセルフのプロデュース形態の違い セルフプロデュースのタレントとのライブの作り方	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
4	11月4日	講義・演習	後期のイベント制作の共有 ライブの制作の工程についての説明③ 制作チーム分け	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
5	11月11日	講義・演習	実制作ワークショップ① 企画1 出演者のニーズに対しての提案作成	出演者のコンテンツの事前学習
6	11月18日	講義・演習	実制作ワークショップ② 企画2 出演者のニーズに対しての提案FBと実制作への落とし込み	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
7	11月25日	講義・演習	実制作ワークショップ③ 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
8	12月2日	講義・演習	実制作ワークショップ④ 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
9	12月9日	講義・演習	実制作ワークショップ⑤ 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
10	12月16日	講義・演習	実制作ワークショップ⑥ リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
11	1月13日	講義・演習	実制作ワークショップ⑦ リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
12	1月20日	講義・演習	実制作ワークショップ⑧ リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
13	2月3日	講義・演習	後期総括/ 本番を経ての振り返り	KPTシートの入力
14	2月10日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
15	2月17日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	表現基礎(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本浩志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画の吹き替え・アニメやゲーム多数、音響監督						
授業の学習 内容	表現者としての基本スキル(発声・滑舌など)をしっかり学び、常識の枠を超えたユニークな発想、表現へのチャレンジ精神を養い、フリートーク力やMCの力などを身に付ける。またマイクワークやスタジオでのマナーも共に学ぶ。						
到達目標	あらゆるシチュエーションにおいても自身の個性や主張を出しつつ人々の記憶に残る語りの力を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	まずは1年間の授業の方向性や目的、目標などを共有し、なぜ基礎が必要なのか等を理解してもらう	1日目の授業を振り返り、やるべき課題を理解する
2	4月21日	講義・演習	基礎教材を使い基本スキルを身に付ける	授業の内容を振り返り復習をする
3	5月12日	講義・演習	基礎教材を使い基本スキルを身に付ける	授業の内容を振り返り復習をする
4	5月19日	講義・演習	基礎教材を使い基本スキルを身に付ける	授業の内容を振り返り復習をする
5	5月26日	講義・演習	基礎教材を使い基本スキルを身に付ける	授業の内容を振り返り復習をする自身の苦手な事柄を正しく理解して直すよう努める
6	6月2日	講義・演習	発声・活舌を学習する(マイクが使えたらスタジオ実習)	課題原稿のチェックを事前に行い読み練習をする
7	6月9日	講義・演習	呼吸法の仕組みを理解して習得に努める	自宅でも毎日5分程度は復習する
8	6月16日	講義・演習	発声・活舌を学習する(マイクが使えたらスタジオ実習)	課題原稿のチェックを事前に行い読み練習をする
9	6月23日	講義・演習	呼吸法の仕組みを理解して習得に努める	自宅でも毎日5分程度は復習する
10	6月30日	講義・演習	発声・活舌を学習する(マイクが使えたらスタジオ実習)	課題原稿のチェックを事前に行い読み練習をする
11	7月7日	講義・演習	呼吸法の仕組みを理解して習得に努める	自宅でも毎日5分程度は復習する
12	7月14日	講義・演習	自由テーマにてフリートークを実施	休み期間中の出来事からネタ探しをする
13	8月25日	講義・演習	自由テーマにてフリートークを実施	休み期間中の出来事からネタ探し・人間観察をする
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
毎週配られるプリント教材				

科目名	表現基礎(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本浩志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画の吹き替え・アニメやゲーム多数、音響監督						
授業の学習 内容	表現者としての基本スキル(発声・滑舌など)をしっかり学び、常識の枠を超えたユニークな発想、表現へのチャレンジ精神を養い、フリートーク力やMCの力を身に付ける。またマイクワークやスタジオでのマナーも共に学ぶ。						
到達目標	あらゆるシチュエーションにおいても自身の個性や主張を出しつつ人々の記憶に残る語りの力を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期のおさらいをして基本スキルのチェック	改めて自身の課題を理解して改善に努める
2	10月13日	講義・演習	教材原稿などを使い解釈力を身に付ける	日常の中に目を向けて気付き力を養えるよう努める
3	10月20日	講義・演習	教材原稿などを使い解釈力を身に付ける	日常の中に目を向けて気付き力を養えるよう努める
4	10月27日	講義・演習	表現幅を付けるためアニメ台本の読み合わせをする(スタジオが使えればアフレコに挑戦する)	教材のアニメをプロがアフレコした本作で鑑賞してみる
5	11月3日	講義・演習	表現幅を付けるためアニメ台本の読み合わせをする(スタジオが使えればアフレコに挑戦する)	プロのアフレコ台詞を参考にする
6	11月10日	講義・演習	決められたトークテーマにてフリートーク力や表現力を磨く	トークテーマに関して事前リサーチする
7	11月17日	講義・演習	決められたトークテーマにてフリートーク力や表現力を磨く	改めて自身の課題を理解して改善に努める
8	11月24日	講義・演習	アニメの台詞読み合わせを通して自身のキャラを見出す	録音した内容から自身の改善点を見出し復習する
9	12月1日	講義・演習	アニメの台詞読み合わせを通して自身のキャラを見出す	録音した内容から自身の改善点を見出し復習する
10	12月8日	講義・演習	決められたMC原稿にてトーク力や表現力を磨く	予習練習をする
11	12月15日	講義・演習	決められたMC原稿にてトーク力や表現力を磨く	ダメ出しを踏まえて復習し改善に努める
12	1月19日	講義・演習	これまでの学習の集大成として、自由テーマによるフリートークの発表会を行う(スタジオが使えればマイクにて録音)	発表に向けて原稿作りとリハーサルに努める
13	2月2日	講義・演習	先週の録音結果から総評と今後の課題を伝える	改めて自身の方向性などを理解した上で目標を明確にする
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
毎週配られるプリント教材				

科目名	International Program(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る 2.海外の先生と携わることによって視野を広げる 3.挨拶や礼儀などの人間力 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	5月7日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	5月14日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	5月21日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	5月28日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	6月4日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	6月11日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	6月18日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	6月25日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	7月2日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	7月9日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	7月16日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	8月27日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	International Program(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る 2.海外の先生と携わることによって視野を広げる 3.挨拶や礼儀などの人間力 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	10月15日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	10月22日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	10月29日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	11月5日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	11月12日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	11月19日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	11月26日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	12月3日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	12月10日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	12月17日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	1月14日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	1月21日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	Media Contents(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松本一晃
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1.映像基礎を学習し、今後発展させる為。 2.映像基礎を理解し、ライブ・コンサート・演劇・ミュージックビデオ等での使用方法・効果・創造性を養う。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力・構成力を養う。 4.実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
2	4月21日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
3	5月12日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
4	5月19日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
5	5月26日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
6	6月2日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
7	6月9日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
8	6月16日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
9	6月23日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
10	6月30日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
11	7月7日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
12	7月14日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
13	8月25日	講義・演習	映像機材を使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Contents(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴	MVディレクター、舞台(ミュージカル、2.5次元等)、ライブ、イベント等の映像制作					
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後に発展させる為。 2.映像基礎を学習し、ライブ・コンサート・演劇・ミュージックビデオ等での使用方法・効果・創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力・構成力を養う。 4.実例を参考に、編集ソフトの操作を学習。					
到達目標	画像編集、映像編集ソフトウェアの操作ができる。 撮影機材の基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の連携、役割等を学ぶ。一年生を牽引出来る。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期ガイダンス	レポート提出
2	10月13日	講義・演習	撮影器材(一眼レフ、三脚)の基礎を学ぶ	機材操作を習得する
3	10月20日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶストップモーション	機材操作を習得する
4	10月27日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶクロマキー合成	機材操作を習得する
5	11月3日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	グループワーク演習 発表	企画案を準備する
8	11月24日	講義・演習	修了制作・準備	課題編集、制作
9	12月1日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
10	12月8日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
11	12月15日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
12	1月19日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
13	2月2日	講義・演習	一年時修了作品 プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber Management(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2018年よりVTuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	VTuberの企画・運営・ビジネス戦略を総合的に学ぶ 技術だけでなく、コンテンツ企画やマーケティング、ファンコミュニティの運営、収益化の方法まで幅広く扱う						
到達目標	座学中心でのインプットとレポートの提出を通して VTuberを運営するための各要素を学び広い視野を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン VTuber業界の全体像について	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
2	5月13日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
3	5月20日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
4	5月27日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
5	6月3日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
6	6月10日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定 ネットクリエイターとIPのダブルスタンダードの考え方	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
7	6月17日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
8	6月24日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
9	7月1日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
10	7月8日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
11	7月15日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
12	7月22日	講義・演習	VTuberの収益構造	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
13	8月26日	講義・演習	前期まとめ	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
準備学習 時間外学習			既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber Management(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2018年よりVTuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	VTuberの企画・運営・ビジネス戦略を総合的に学ぶ 技術だけでなく、コンテンツ企画やマーケティング、ファンコミュニティの運営、収益化の方法まで幅広く扱う						
到達目標	座学中心でのインプットとレポートの提出を通して VTuberを運営するための各要素を学び広い視野を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	後期オリエンテーション	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
2	10月21日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1: 応用	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
3	10月28日	講義・演習	VTuber事務所の機能と役割1: 応用	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
4	11月4日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
5	11月11日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
6	11月18日	講義・演習	VTuberのキャラクター設定と考え方について(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
7	11月25日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
8	12月2日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
9	12月9日	講義・演習	各SNSの役割と活用方法(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
10	12月16日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
11	1月13日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
12	1月20日	講義・演習	VTuberの収益構造(応用)	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
13	2月3日	講義・演習	後期まとめ	既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマネジメントを学ぶ	イベント準備や制作を行う
準備学習 時間外学習			既存のVTuberを調べ、様々なVTuber特徴を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) VT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	事前課題曲練習
2	4月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	5月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブサポート、CM・劇伴・ゲームのレコーディングなど						
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、 アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	5月13日	講義・演習	B Bossa(1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	5月20日	講義・演習	B Bossa(2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	5月27日	講義・演習	Tee Up(1) コンビングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	6月3日	講義・演習	Tee Up(2) ウォーキングベースとのコンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	6月10日	講義・演習	greater love(1) ペントニック・アプローチ	I-IV7-bVII-VII7-II7-V(key=Bb) 進行でソロ練習
7	6月17日	講義・演習	greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
8	6月24日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
9	7月1日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
10	7月8日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
11	7月15日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	7月22日	講義・演習	Dolphin ST(1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	8月26日	講義・演習	Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者ベシストとして様々なアーティストをサポート						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1.様々なグループのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2.代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3.様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
2	4月25日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
3	5月9日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
4	5月16日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのバリエーションを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
5	5月23日	講義・演習	セカンダリドミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
6	5月30日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのバリエーションを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
7	6月6日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
8	6月13日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
9	6月20日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月4日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
11	7月11日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
12	7月18日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月22日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) Dr Control Theory(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている						
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用および各ルーディメンツの応用。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロールし、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	シングルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月21日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月12日	講義・演習	シングルパラディドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月19日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月26日	講義・演習	トリプルパラディドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月2日	講義・演習	演習・ダブルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月9日	講義・演習	トリプルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月16日	講義・演習	フラムダブルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月23日	講義・演習	フラムトリプルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月30日	講義・演習	2拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月7日	講義・演習	2拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月14日	講義・演習	4拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月25日	講義・演習	4拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」				

科目名	Expression A(3) Key Play Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得基礎的な練習を反復する事により、現場において様々な演奏アプローチを「思いつく」能力の習得を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
2	4月21日	講義・演習	課題曲1の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
3	5月12日	講義・演習	課題曲1の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
4	5月19日	講義・演習	課題曲1の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
5	5月26日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
6	6月2日	講義・演習	課題曲2の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
7	6月9日	講義・演習	課題曲2の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
8	6月16日	講義・演習	課題曲2の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
9	6月23日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
10	6月30日	講義・演習	課題曲3の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
11	7月7日	講義・演習	課題曲3の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
12	7月14日	講義・演習	課題曲3の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業前・授業内で配布する譜面・音源等				

科目名	Expression A(4) VT(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	11月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月11日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月18日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	12月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	1月13日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月20日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月3日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月10日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月17日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Gt Melodic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブサポート、CM・劇伴・ゲームのレコーディングなど						
授業の学習 内容	様々なジャンルでよく使用されるコード進行(7曲)の分析を行い、コードにあった音の選択を実践、ソロ・アプローチのバリエーションを増やす						
到達目標	モードスケール、アディショナルスケールの構造を理解し、各スケールのシェイプを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	1n Samba(1) インナーボイスの半音進行	iii-bIII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習
2	10月21日	講義・演習	1n Samba(2) チェンジの練習	ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習
3	10月28日	講義・演習	Boiled chicken(1) 7thコードでの切り替え:ペンタトニックベース	I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習
4	11月4日	講義・演習	Boiled chicken(2) 7thコードでの切り替え:ミクソリディアンベース	maj7#11/ハンブ進行で練習
5	11月11日	講義・演習	Spring Leaves(1) 1キーアプローチ	ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習
6	11月18日	講義・演習	Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ	ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習
7	11月25日	講義・演習	No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ	12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習
8	12月2日	講義・演習	No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション	iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習
9	12月9日	講義・演習	Wild Flow リディアン/ドリアンでのモードアプローチ	[3/4] Imaj7#11-bVIIIm7(key=Bb)進行でソロ練習
10	12月16日	講義・演習	Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール	V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習
11	1月13日	講義・演習	Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ	I-bVII7(key=F)進行でソロ練習
12	1月20日	講義・演習	Small Steps(1) 連続するV-Iキーチェンジのアプローチ	V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習
13	2月3日	講義・演習	Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ	ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分)でパターン練習、アドリブ練習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます				

科目名	Expression A(4) Bass Line Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者ベーシストとして様々なアーティストをサポート						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1.様々な代理コードやテンションの概念や機能を理解し、適正なフレージングで演奏出来るようになること。 2.アドリブによるバックイングやベースソロを演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	代理コードの構成音の類似性を理解する	チャプター内のエクササイズの復習
2	10月10日	講義・演習	裏コードとバッキングディミニッシュの機能を理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
3	10月17日	講義・演習	モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
4	10月31日	講義・演習	ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する	チャプター内のエクササイズの復習
5	11月7日	講義・演習	ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
6	11月14日	講義・演習	ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる	チャプター内のエクササイズの復習
7	11月21日	講義・演習	ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
8	11月28日	講義・演習	メロディーとそのリズム、モチーフの重要性について理解する	チャプター内のエクササイズの復習
9	12月5日	講義・演習	ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
10	12月12日	講義・演習	コードトーンやテンションを意識したフレージングを演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
11	12月19日	講義・演習	コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する	チャプター内のエクササイズの復習
12	1月16日	講義・演習	練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習
13	1月23日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Dr Control Theory(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツの応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	3拍4連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月13日	講義・演習	ハイブリッドルーディメンツの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月20日	講義・演習	サンバオスティナートベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月27日	講義・演習	サンバオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月3日	講義・演習	ソングラーベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月10日	講義・演習	ルンパクラベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月17日	講義・演習	クラベオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月24日	講義・演習	リニアエクササイズベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月1日	講義・演習	リニアエクササイズの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月8日	講義・演習	リニアエクササイズ実践パターン	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月15日	講義・演習	ダブルベースドラミングの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月19日	講義・演習	総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」				

科目名	Expression A(4) Key Play Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。音色の選択・編集を含めて、与えられた楽曲に対して、職業音楽家としての現場においてどのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
2	10月13日	講義・演習	課題曲4の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
3	10月20日	講義・演習	課題曲4の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
4	10月27日	講義・演習	課題曲4の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
5	11月3日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
6	11月10日	講義・演習	課題曲5の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
7	11月17日	講義・演習	課題曲5の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
8	11月24日	講義・演習	課題曲5の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
9	12月1日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習	指定URLからの資料のダウンロード等
10	12月8日	講義・演習	課題曲6の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
11	12月15日	講義・演習	課題曲6の練習	授業内容の復習と予告内容の予習
12	1月19日	講義・演習	課題曲6の練習・確認	授業内容の復習と予告内容の予習
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			課題曲に使う音色ごとの演奏方法を考えて予習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業前・授業内で配布する譜面・音源等				

科目名	Pre-production seminar(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	実際にクライアント様から発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら進めていき作品を完成させる。					
到達目標	発注を頂いたクライアント様からの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。 その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容ガイダンス 第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	5月13日	講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	5月20日	講義・演習	第1クール実習2	第1クールコンペに向けて録音、ミックス
4	5月27日	講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
5	6月3日	講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
6	6月10日	講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
7	6月17日	講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
8	6月24日	講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
9	7月1日	講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
10	7月8日	講義・演習	第3クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
11	7月15日	講義・演習	第3クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
12	7月22日	講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13	8月26日	講義・演習	夏休み課題発表、前後期間課題発表	前後期間課題制作
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完する ような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。					
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	10月21日	講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	10月28日	講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4	11月4日	講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5	11月11日	講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6	11月18日	講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7	11月25日	講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8	12月2日	講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9	12月9日	講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10	12月16日	講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11	1月13日	講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12	1月20日	講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13	2月3日	講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	春休み課題制作
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance Produce(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業紹介・スキルチェック	ストレッチ、クールダウン
2	4月25日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	5月9日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	5月16日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	5月23日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	5月30日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	6月6日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	6月13日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	6月20日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	7月4日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	7月11日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	7月18日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance Produce(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	スキルチェック・目標設定	ストレッチ、クールダウン
2	10月10日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	10月17日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	10月31日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	11月7日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	11月14日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	11月21日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	11月28日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	12月5日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	12月12日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	12月19日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	1月16日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	マーケティングの意味や基本を理解し、なぜそれが重要なのかを学ぶ	授業後のレポート課題
2	5月13日	講義・演習	プレゼンを学び、自己ブランディングに向けたプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
3	5月20日	講義・演習	「ビジョンボード」、「やりたいことリスト100」などを作成し、将来の目標を明確化できるようになる(コミュニケーションに活かす)	授業後のレポート課題
4	5月27日	講義・演習	エンタテインメントを含む世の中のマーケティング実例を学び、その仕組みについて理解する	授業後のレポート課題
5	6月3日	講義・演習	既存アーティストや商品、サービスの独自のウリ(USP)を学び、プロデュース視点で物事を考えるスキルを学ぶ	授業後のレポート課題
6	6月10日	講義・演習	マーケティングスキルのひとつ「リスクリバーサル」を学び、相手の立場に立った提案ができるようになる	授業後のレポート課題
7	6月17日	講義・演習	実例を基に、「ジョイントベンチャー(戦略的業務提携)」を学び、あらゆる企画立案ができるようになる	授業後のレポート課題
8	6月24日	講義・演習	テレマーケティングを学び、交渉術などプロジェクトを円滑に進行する力を身につける	授業後のレポート課題
9	7月1日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
10	7月8日	講義・演習	学んだマーケティング視点を使って、実際に企画を立てる	授業後のレポート課題
11	7月15日	講義・演習	立てた企画を実際にアウトプットして市場の反応を見ながらブラッシュアップすることを学ぶ	授業後のレポート課題
12	7月22日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	メディアのマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
2	10月21日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
3	10月28日	講義・演習	コミュニケーションを学び、ワンランク上のマーケティングスキルを身につける	授業後のレポート課題
4	11月4日	講義・演習	ダイレクトメールを学び、マーケティングと営業スキル、交渉力を身につける	授業後のレポート課題
5	11月11日	講義・演習	商品やサービスのキャンペーンの仕組みについて学び、提案力を身につける	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングやブランディングについて学び、視覚的なプロデュースができるようになる	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	お金の基本を学び、お金を集める方法を学び、プロデュース力を身につける	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	企画書の作り方を学び、具体的にマーケティングを仕掛けていく力を身につける	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	実際に企画した案件を実施し、マーケティングの検証・改善を行い、ワンランク上のマーケティングを身につける	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	マーケティングを意識した企画を実際に制作・運営する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像配信基礎(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	原良寛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映像プロデューサー・ディレクター・カメラマン・セミナー・シンポジウム・イベント撮影・YouTube運営運用						
授業の学習 内容	1.映像制作の技法を理解し、今後発展させる為。 2.映像基礎を学習し、セミナー・シンポジウム・イベント・YouTube撮影等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、画像編集・動画編集ソフトの操作を学習。						
到達目標	撮影技術の基礎の習得、撮影機材の操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携また、機材の基本的操作ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像編集の実演、基礎を学ぶ	作業ワークフローを理解する
2	4月21日	講義・演習	カメラ機材の基本操作を学ぶ	カメラ機材の操作を習得
3	5月12日	講義・演習	撮影機材の基本操作を学ぶ	撮影機材の操作を習得
4	5月19日	講義・演習	撮影機材の基本操作を学ぶ	撮影機材の操作を習得
5	5月26日	講義・演習	撮影企画選定をする	撮影企画選定を習得
6	6月2日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
7	6月9日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
8	6月16日	講義・演習	プレゼンテーション及び合評会	発表準備、プレゼン資料作成
9	6月23日	講義・演習	撮影企画選定	撮影企画選定を習得
10	6月30日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
11	7月7日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
12	7月14日	講義・演習	個人またはチームでの企画立案、構成を学ぶ	企画案準備・取材ロケハンなどを行う
13	8月25日	講義・演習	プレゼンテーション及び合評会	発表準備、プレゼン資料作成
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して映像配信を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して映像配信を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像配信基礎(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松本一晃
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1.映像基礎を学習し、今後に発展させる為。 2.映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
2	10月13日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
3	10月20日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
4	10月27日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
5	11月3日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
8	11月24日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
9	12月1日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
10	12月8日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
11	12月15日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
12	1月19日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
13	2月2日	講義・演習	映像機材・送出ソフトを使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				
レゾリウム・アリーナ使用予定				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武、NOA、吉柳咲良、AB6ix、n.Ssign、MYNAME、Ryu Siwon、ヘラヘラ三銃士のA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようにするのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく突然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようにすることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	音楽業界について全体を理解する	授業後談レポート課題
2	5月13日	講義・演習	レコード会社の業務について理解する	授業後談レポート課題
3	5月20日	講義・演習	プロダクションの業務について理解する	授業後談レポート課題
4	5月27日	講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	授業後談レポート課題
5	6月3日	講義・演習	レコーディング、楽曲制作の業務について理解する	授業後談レポート課題
6	6月10日	講義・演習	A&Rについて理解する	授業後談レポート課題
7	6月17日	講義・演習	プロモーターについて理解する	授業後談レポート課題
8	6月24日	講義・演習	販促について理解する	授業後談レポート課題
9	7月1日	講義・演習	マネージャーについて理解する	授業後談レポート課題
10	7月8日	講義・演習	プロデューサーについて理解する	授業後談レポート課題
11	7月15日	講義・演習	コンサート制作について理解する	授業後談レポート課題
12	7月22日	講義・演習	K-POPを中心とした海外アーティストの仕組みについて理解する	授業後談レポート課題
13	8月26日	講義・演習	全体のまとめ	授業後談レポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ビジネス業務を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ビジネス業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武、NOA、吉柳咲良、AB6ix、n.Ssign、MYNAME、Ryu Siwon、ヘラヘラ三銃士のA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	前期の授業を復習し、理解を深める	授業後談レポート課題□
2	10月21日	講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	授業後談レポート課題□
3	10月28日	講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	授業後談レポート課題□
4	11月4日	講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	授業後談レポート課題□
5	11月11日	講義・演習	インディーズの成功例を研究して、理解を深める	授業後談レポート課題□
6	11月18日	講義・演習	ファンクラブについて理解する	授業後談レポート課題□
7	11月25日	講義・演習	ミュージックビデオの制作について理解する	授業後談レポート課題□
8	12月2日	講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作について理解する	授業後談レポート課題□
9	12月9日	講義・演習	歌番組などのTVの流れについて理解する	授業後談レポート課題□
10	12月16日	講義・演習	近年K-POPや、中国方面のワールドワイドのアーティストが増える中、そこに関わるビジネスについて理解する	授業後談レポート課題□
11	1月13日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする1	授業後談レポート課題□
12	1月20日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする2	授業後談レポート課題□
13	2月3日	講義・演習	全体のまとめ	授業後談レポート課題□
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ビジネス業務を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ビジネス業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISAO
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びますそれらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を学びます。これからの生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	PC操作の基本を知る	レポート
2	4月24日	講義・演習	ファイルやフォルダの概念を理解する	レポート
3	5月8日	講義・演習	各種フォルダの扱い・データの整理の仕方を学ぶ	レポート
4	5月15日	講義・演習	各種データを適切なソフトで開き閲覧できるようにする	レポート
5	5月22日	講義・演習	WEBやネットワークの基礎を知る	レポート
6	5月29日	講義・演習	WEB制作に必要な環境や手順を知る	レポート
7	6月5日	講義・演習	WEBで使われる言語(HTML,CSS)を理解する	レポート
8	6月12日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(原稿作成)	レポート
9	6月19日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(素材調達)	レポート
10	7月3日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
11	7月10日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
12	7月17日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(レスポンス対応)	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISAO
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びますそれらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を学びます。これからの生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	デザインの基礎を知る	レポート
2	10月16日	講義・演習	Wordを使って見やすい文章を作る	レポート
3	10月30日	講義・演習	Wordを使って見やすい表を作る	レポート
4	11月6日	講義・演習	Photoshopを使って掲示物等のデザインを作る	レポート
5	11月13日	講義・演習	エクセルの基本操作を学ぶ	レポート
6	11月20日	講義・演習	エクセルの装飾を学ぶ	レポート
7	11月27日	講義・演習	エクセルの関数を学ぶ	レポート
8	12月4日	講義・演習	データの扱いについて学ぶ	レポート
9	12月11日	講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート
10	12月18日	講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート
11	1月15日	講義・演習	エクセルでガントチャートを作成する	レポート
12	1月22日	講義・演習	エクセルで案件管理表を作成する	レポート
13	2月5日	講義・演習	テスト	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	4月26日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	5月10日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	5月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	5月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	5月31日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	6月7日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	6月14日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	6月21日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	7月5日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	7月12日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	8月23日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	8月30日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	10月11日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	10月18日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	11月1日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	11月8日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	11月15日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	11月22日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	11月29日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	12月6日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	12月13日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	12月20日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	1月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	1月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(3) Clip Studio A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	八記思峰
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触る学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実演を通してクリスタの基本機能を使えるようになる	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ1-2
2	5月13日	講義・演習	面談を通して各々イラストのゴール地点を明確にする	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ3-4
3	5月20日	講義・演習	実演を通してリンゴや簡単なキャラクターを描く	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ5-6
4	5月27日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ1	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「顔」の基本比率
5	6月3日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ2	YouTube hide channel /【顔の描き方】
6	6月10日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ3	YouTubeディープブリザード/顔を簡単に描く!
7	6月17日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ1	YouTubeディープブリザード/色使いはセンスじゃ無い!
8	6月24日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ2	YouTubeさいとうなおき/『カケ』付け方』全て伝授します
9	7月1日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ1	YouTubeディープブリザード/グリザイユ画法
10	7月8日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ2	YouTubeディープブリザード/初心者向け厚塗り講座
11	7月15日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く1	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
12	7月22日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く2	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
13	8月26日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く3	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(3) Clip Studio B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	八記思峰
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触る学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実演を通してクリスタの基本機能を使えるようになる	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ1-2
2	5月13日	講義・演習	面談を通して各々イラストのゴール地点を明確にする	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ3-4
3	5月20日	講義・演習	実演を通してリンゴや簡単なキャラクターを描く	YouTubeディープブリザード/はじめてのクリスタ5-6
4	5月27日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ1	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「顔」の基本比率
5	6月3日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ2	YouTube hide channel /【顔の描き方】
6	6月10日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の線画を学ぶ3	YouTubeディープブリザード/顔を簡単に描く!
7	6月17日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ1	YouTubeディープブリザード/色使いはセンスじゃ無い!
8	6月24日	講義・演習	実演を通して基本的な顔の塗り方を学ぶ2	YouTubeさいとうなおき/『カケコ付け方』全て伝授します
9	7月1日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ1	YouTubeディープブリザード/グリザイユ画法
10	7月8日	講義・演習	実演を通して様々な塗り方や表現を学ぶ2	YouTubeディープブリザード/初心者向け厚塗り講座
11	7月15日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く1	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
12	7月22日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く2	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
13	8月26日	講義・演習	今まで学んだ事を活かして一番描きたいものを描く3	前期最終課題に参考となる色塗り動画や資料リサーチ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して魅力のあるイラストを学ぶ	「魅力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(4) Clip Studio A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	八記思峰
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触れる学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となってくるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。また後期はそれらに加えて、Live2Dのパーツ分けやデフォルメキャラなどについても学び、より実践的な展開も学習していきます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	面談を通して後期の目標を各自明確にする	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
2	10月21日	講義・演習	実演にてオリジナリティやキャラクターデザインを学ぶ	YouTubeディープリザード/ キャラデザ入門
3	10月28日	講義・演習	実演を通してデフォルメキャラを学ぶ	YouTube hide channel / Q.ミニキャラがかわいく描けません→A.この方法で簡単にかわくなります！
4	11月4日	講義・演習	実演を通してバランスの良い体の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【初心者はコレから！】 体を描く順番、何から描けばいいの？
5	11月11日	講義・演習	実演を通して髪の毛の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「髪」の描き方！！
6	11月18日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ1	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
7	11月25日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ2	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
8	12月2日	講義・演習	実演を通して影の付け方を学ぶ	YouTubeディープリザード/影って何？光って何？
9	12月9日	講義・演習	実演を通して手の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【手の描き方2】 手をかんとんに描くにはまずコレを描く！
10	12月16日	講義・演習	実演を通して足の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/簡単！！『足の描き方』
11	1月13日	講義・演習	実演を通して構図や背景について学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【描き方】パースが上手くなる落書き
12	1月20日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる1	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
13	2月3日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる2	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Clip Studio(4) Clip Studio B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	八記思峰
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	女子美術大学メディア表現領域でのイラストコースを非常勤講師として担当						
授業の学習 内容	Clip Studio初心者に必要な使い方を理解して貰い、あまり難しい事は考えずにデジタルイラストを楽しみながら学んで貰いたいです。様々なアーティストがバーチャルの世界で活躍する中で、各々がキャラクター性をしっかりと表現し展開できる能力を、音楽だけでなく絵の分野でも可能な限り身につけて貰えたらと考えています。						
到達目標	初めてClip Studioに触れる学生が授業を通じてClip Studioの基本的な使い方を理解し、バーチャルの世界で各々が意図した展開をしていく上で必要となってくるオリジナルキャラクターや一枚絵の制作を目標とします。また後期はそれらに加えて、Live2Dのパーツ分けやデフォルメキャラなどについても学び、より実践的な展開も学習していきます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	面談を通して後期の目標を各自明確にする	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
2	10月21日	講義・演習	実演にてオリジナリティやキャラクターデザインを学ぶ	YouTubeディープリザード/ キャラデザ入門
3	10月28日	講義・演習	実演を通してデフォルメキャラを学ぶ	YouTube hide channel / Q.ミニキャラがかわいく描けません→A.この方法で簡単にかわくなります！
4	11月4日	講義・演習	実演を通してバランスの良い体の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【初心者はコレから！】 体を描く順番、何から描けばいいの？
5	11月11日	講義・演習	実演を通して髪の毛の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【最強本解説】「髪」の描き方！！
6	11月18日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ1	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
7	11月25日	講義・演習	実演を通してLive2Dの塗り分けについて学ぶ2	YouTubeディープリザード/ ◆0からはじめるLive2D ◆ 2-1【キャラデザ作業編】
8	12月2日	講義・演習	実演を通して影の付け方を学ぶ	YouTubeディープリザード/影って何？光って何？
9	12月9日	講義・演習	実演を通して手の描き方を学ぶ	YouTube hide channel / 【手の描き方2】 手をかんたんに描くにはまずコレを描く！
10	12月16日	講義・演習	実演を通して足の描き方を学ぶ	YouTubeアニメ私塾/簡単！！『足の描き方』
11	1月13日	講義・演習	実演を通して構図や背景について学ぶ	YouTubeアニメ私塾/【描き方】パースが上手くなる落書き
12	1月20日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる1	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
13	2月3日	講義・演習	各々が目標に挙げた制作物を完成させる2	後期課題に参考となる描画動画や資料リサーチ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して発信力のあるイラストを学ぶ	「発信力とは」自主研究
準備学習 時間外学習			Clip Studioを使用して作成した作品をストレージにアーカイブして連動する授業で使用する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アバター配信運営(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISARIBI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	WebCM, 配信イベント, ショートフィルムなどの映像業 / 芸能人やタレントのSNSプロデュース業、生成AI講師業の3軸で活動						
授業の学習 内容	『バーチャル・パフォーマー』として必要な、SNS運用のスキルを伸ばすための授業。SNSの運用理論を学びつつ、動画制作を通して、実際の運用も実践する。						
到達目標	自分自身で今後クリエイターとして活動する上で、必要なSNS運用ノウハウと動画実践スキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
2	5月13日	講義・演習	SNS戦略概論	授業後課題・次週発表予定 「Hibiki / Hikari ch」を伸ばすための戦略を考えてみる
3	5月20日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
4	5月27日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
5	6月3日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
6	6月10日	講義・演習	炎上対策 (第1弾)自己制作	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
7	6月17日	講義・演習	(第1弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第1弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
8	6月24日	講義・演習	他アカウント動画の分析-1 (第1弾)アナリティクスを読み解こう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
9	7月1日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
10	7月8日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2 (第2弾)撮影の準備をしよう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
11	7月15日	講義・演習	(第2弾)撮影	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
12	7月22日	講義・演習	(第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
13	8月26日	講義・演習	(第2弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube/TikTokの縦動画にはたくさん触れておいください切り抜き / ゲーム実況 / 歌ってみた / など				

科目名	アバター配信運営(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISARIBI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	WebCM, 配信イベント, ショートフィルムなどの映像業 / 芸能人やタレントのSNSプロデュース業、生成AI講師業の3軸で活動						
授業の学習 内容	『バーチャル・パフォーマー』として必要な、SNS運用のスキルを伸ばすための授業。SNSの運用理論を学びつつ、動画制作を通して、実際の運用も実践する。						
到達目標	自分自身で今後クリエイターとして活動する上で、必要なSNS運用ノウハウと動画実践スキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	後期オリエン	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
2	10月21日	講義・演習	SNS戦略概論	授業後課題・次週発表予定 「Hibiki / Hikari ch」を伸ばすための戦略を考えてみる
3	10月28日	講義・演習	響光の戦略ディスカッション	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
4	11月4日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
5	11月11日	講義・演習	(第1弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
6	11月18日	講義・演習	炎上対策 (第1弾)自己制作	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
7	11月25日	講義・演習	(第1弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第1弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
8	12月2日	講義・演習	他アカウント動画の分析-1 (第1弾)アナリティクスを読み解こう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
9	12月9日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-1	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
10	12月16日	講義・演習	(第2弾)戦略に沿って企画を考案しよう-2 (第2弾)撮影の準備をしよう	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
11	1月13日	講義・演習	(第2弾)撮影	授業後課題 終わらなかった方は自主学習で進める
12	1月20日	講義・演習	(第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
13	2月3日	講義・演習	(第2弾)投稿文章を考えよう(投稿日の指定) (第2弾)自己制作	YouTube/TikTokの縦動画に沢山触れる
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを学ぶ	イベントに向けて授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube/TikTokの縦動画にはたくさん触れておいください切り抜き / ゲーム実況 / 歌ってみた / など				

科目名	Live2D基礎(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中浦涼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	デザイナー・Live2Dモデラー・Vtuberコンサルタント						
授業の学習 内容	VTuberには必須なアバターを自分で制作できるようになれば、将来的に外注するとしてもどこにどれだけ時間を要するか等が把握できるのでやり取りをスムーズに進められる。またモデリングの理解を深めることでイラストのパーツ分けのコツも見えてくるのでキャラデザやイラストの描き込みにも繋げられる。						
到達目標	Live2Dの理解を深め、高可動域アバターの制作を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介・グルー機能について学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
2	5月13日	講義・演習	目の開閉をより細かく学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
3	5月20日	講義・演習	髪の毛の多段揺らしを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
4	5月27日	講義・演習	マスク機能について学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
5	6月3日	講義・演習	口の動きをより細かく学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
6	6月10日	講義・演習	輪郭のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ1	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
7	6月17日	講義・演習	輪郭のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ2	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
8	6月24日	講義・演習	顔パーツのXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
9	7月1日	講義・演習	前髪と横髪のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
10	7月8日	講義・演習	後ろ髪のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
11	7月15日	講義・演習	身体のXY斜めをより綺麗に作るコツを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
12	7月22日	講義・演習	物理演算の理解を深め、バインドを設定する	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
13	8月26日	講義・演習	目の大小のバインドを学ぶ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
14	9月9日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
15	9月16日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
準備学習 時間外学習			乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Live2D基礎(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中浦涼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	デザイナー・Live2Dモデラー・Vtuberコンサルタント						
授業の学習 内容	VTuberには必須なアバターを自分で制作できるようになれば、将来的に外注するとしてもどこにどれだけ時間を要するか等が把握できるのでやり取りをスムーズに進められる。またモデリングの理解を深めることでイラストのパーツ分けのコツも見えてくるのでキャラデザやイラストの描き込みにも繋げられる。						
到達目標	Live2Dの理解を深め、高可動域アバターの制作を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	配信ソフトとの連携	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
2	10月21日	講義・演習	高度なドローイング	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
3	10月28日	講義・演習	高度なデフォーマ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
4	11月4日	講義・演習	高度なパラメータ設定	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
5	11月11日	講義・演習	高度なアニメーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
6	11月18日	講義・演習	表情のバリエーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
7	11月25日	講義・演習	体の動きの応用	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
8	12月2日	講義・演習	物理演算の応用	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
9	12月9日	講義・演習	複雑なリップシンク、サウンドエフェクトの追加	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
10	12月16日	講義・演習	配信ソフトとの高度な連携	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
11	1月13日	講義・演習	配信ソフトのカスタマイズ	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
12	1月20日	講義・演習	配信中のトラブルシューティング	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
13	2月3日	講義・演習	チームでのコラボレーション	乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う
14	2月10日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
15	2月17日	講義・演習	イベント通してLive2Dを学ぶ	イベントに向けたコンテンツ作成を行う
準備学習 時間外学習			乾物ひもの氏YouTube動画を見て授業外学習を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	メタバースライブ制作(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2018年よりVtuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している						
授業の学習 内容	Vtuberのライブやイベント制作を実際のライブ/イベント制作を通して、 持つべきスタンスや、やるべきタスクを学び卒業後に即戦力になれる人材を目指す						
到達目標	学期ごとにライブ/イベントを実際に制作し、 ・制作の過程で何をすべきか？ ・どういった考え方を持つべきか？ を学び、活きた現場経験を持った人材となる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	前期オリエン 制作するライブの説明	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
2	5月13日	講義・演習	グループごとのタスクの共有グループ分け	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
3	5月20日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
4	5月27日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
5	6月3日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
6	6月10日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
7	6月17日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
8	6月24日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
9	7月1日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
10	7月8日	講義・演習	グループワークでの制作 1ライブ演出2オペレーション3グッズ、PR	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
11	7月15日	講義・演習	本番前各種最終確認	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
12	7月22日	講義・演習	振り返り1	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
13	8月26日	講義・演習	振り返り2	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
14	9月9日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
15	9月16日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	メタバースライブ制作(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 神森雅之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2018年よりVtuber業界のライブ、イベント等を100本以上制作、同業界の事務所側運営としても現職で活動している					
授業の学習 内容	Vtuberのライブやイベント制作を実際のライブ/イベント制作を通して、 持つべきスタンスや、やるべきタスクを学び卒業後に即戦力になれる人材を目指す					
到達目標	学期ごとにライブ/イベントを実際に制作し、 ・制作の過程で何をすべきか？ ・どういった考え方を持つべきか？ を学び、活きた現場経験を持った人材となる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習3 Vtuberの時間とその価値	Vtuberの1日の過ごし方と時間の価値を考えてくる
2	10月21日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習4 Vtuberファンの可処分所得と可処分時間 チケットとマーチャндаイジング	今年消費(購入)したVtuberのコンテンツリストの提出
3	10月28日	講義・演習	ライブ/イベントを作るためのスタンス学習5 トップダウンとセルフのプロデュース形態の違い セルフプロデュースのタレントとのライブの作り方	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
4	11月4日	講義・演習	後期のイベント制作の共有 ライブの制作の工程についての説明3 制作チーム分け	授業外で多くの動画やVTuberを見るようにする
5	11月11日	講義・演習	実制作ワークショップ1 企画1 出演者のニーズに対しての提案作成	出演者のコンテンツの事前学習
6	11月18日	講義・演習	実制作ワークショップ2 企画2 出演者のニーズに対しての提案FBと実制作への落とし込み	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
7	11月25日	講義・演習	実制作ワークショップ3 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
8	12月2日	講義・演習	実制作ワークショップ4 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
9	12月9日	講義・演習	実制作ワークショップ5 各種制作準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
10	12月16日	講義・演習	実制作ワークショップ6 リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
11	1月13日	講義・演習	実制作ワークショップ7 リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
12	1月20日	講義・演習	実制作ワークショップ8 リハーサル/本番準備	それぞれの役割分担の中でどういった工程が必要で そのためには何をすべきか？を考えてくる
13	2月3日	講義・演習	後期総括/ 本番を経ての振り返り	KPTシートの入力
14	2月10日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
15	2月17日	講義・演習	イベントを通してメタバースライブ制作を学ぶ	イベント制作を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	歌ってみた制作ゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松崎啓介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	KAMITSUBAKI STUDIO-サウンドエンジニア RIOT MUSIC-サウンドエンジニア~サウンドディレクター など多数						
授業の学習 内容	「良い歌とは何か?」「喜ばれる歌とは何か?」を研究し、それを一人で推敲するためのタネを、宅録を通じて考える						
到達目標	「良い歌」の定義をひとことで表せるようにし、そこへ近づくためのプロセスについてビジョンを形成できるようになる自分自身で、Mix直前のレコーディングについて完結できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介、曲決め	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
2	4月21日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング1	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
3	5月12日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング2	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
4	5月19日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング3	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
5	5月26日	講義・演習	歌ってみたのセルフMixについて1ボリューム編	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
6	6月2日	講義・演習	歌ってみたのセルフMixについて2エフェクト編	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
7	6月9日	講義・演習	歌ってみたのセルフMixについて3パワンス編	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
8	6月16日	講義・演習	セルフRECをしてみよう1	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
9	6月23日	講義・演習	セルフRECをしてみよう2	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
10	6月30日	講義・演習	セルフRECをしてみよう3	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
11	7月7日	講義・演習	ボーカルeditをしてみよう1	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
12	7月14日	講義・演習	ボーカルeditをしてみよう2	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
13	8月25日	講義・演習	本格的なMix~パワンスの仕組みを知ろう	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して歌ってみたとは何かを学ぶ	イベントに向けた歌の練習を行う
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して歌ってみたとは何かを学ぶ	イベントに向けた歌の練習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	歌ってみた制作ゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松崎啓介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	KAMITSUBAKI STUDIO-サウンドエンジニア RIOT MUSIC-サウンドエンジニア~サウンドディレクター など多数						
授業の学習 内容	「良い歌とは何か?」「喜ばれる歌とは何か?」を研究し、それを一人で推敲するためのタネを、宅録を通じて考える						
到達目標	「良い歌」の定義をひとことで表せるようにし、そこへ近づくためのプロセスについてビジョンを形成できるようになる自分自身で、Mix直前のレコーディングについて完結できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	曲決め	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
2	10月21日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング1	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
3	10月28日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング2	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
4	11月4日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング3	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
5	11月11日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング4	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
6	11月18日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング5	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
7	11月25日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング6	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
8	12月2日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング7	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
9	12月9日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング8	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
10	12月16日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング9	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
11	1月13日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング10	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
12	1月20日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング11	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
13	2月3日	講義・演習	各生徒課題曲レコーディング12	自分の歌ってみたで扱える曲 (歌える曲)を考え、授業外での練習を行う
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌ってみたとは何かを学ぶ	イベントに向けた歌の練習を行う
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌ってみたとは何かを学ぶ	イベントに向けた歌の練習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	International Program(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る。 2.海外の先生と携わることによって視野を広げる。 3.挨拶や礼儀などの人間力。 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示。						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	5月13日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	5月20日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	5月27日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	6月3日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	6月10日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	6月17日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	6月24日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	7月1日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	7月8日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	7月15日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	7月22日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	8月26日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	International Program(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る。 2.海外の先生と携わることによって視野を広げる。 3.挨拶や礼儀などの人間力。 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示。						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	10月21日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	10月28日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	11月4日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	11月11日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	11月18日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	11月25日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	12月2日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	12月9日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	12月16日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	1月13日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	1月20日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	2月3日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	Dance Produce(5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業紹介・スキルチェック	ストレッチ、クールダウン
2	4月25日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	5月9日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	5月16日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	5月23日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	5月30日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	6月6日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	6月13日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	6月20日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	7月4日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	7月11日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	7月18日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance Produce(6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松村武司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な、技術・心構え・コミュニケーション力を、授業全体を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	スキルチェック・目標設定	ストレッチ、クールダウン
2	10月10日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	10月17日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	10月31日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	11月7日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	11月14日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	11月21日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	11月28日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	12月5日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	12月12日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	12月19日	講義・演習	DANCE基礎・筋トレ・コレオ・研究	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	1月16日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュースを学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	4月26日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	5月10日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	5月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	5月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	5月31日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	6月7日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	6月14日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	6月21日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	7月5日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	7月12日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	8月23日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	8月30日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	10月11日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	10月18日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	11月1日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	11月8日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	11月15日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	11月22日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	11月29日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	12月6日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	12月13日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	12月20日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	1月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	1月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	マーケティングの意味や基本を理解し、なぜそれが重要なのかを学ぶ	授業後のレポート課題
2	5月13日	講義・演習	プレゼンを学び、自己ブランディングに向けたプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
3	5月20日	講義・演習	「ビジョンボード」、「やりたいことリスト100」などを作成し、将来の目標を明確化できるようになる(コミュニケーションに活かす)	授業後のレポート課題
4	5月27日	講義・演習	エンタテインメントを含む世の中のマーケティング事例を学び、その仕組みについて理解する	授業後のレポート課題
5	6月3日	講義・演習	既存アーティストや商品、サービスの独自のウリ(USP)を学び、プロデュース視点で物事を考えるスキルを学ぶ	授業後のレポート課題
6	6月10日	講義・演習	マーケティングスキルのひとつ「リスクリバーサル」を学び、相手の立場に立った提案ができるようになる	授業後のレポート課題
7	6月17日	講義・演習	実例を基に、「ジョイントベンチャー(戦略的業務提携)」を学び、あらゆる企画立案ができるようになる	授業後のレポート課題
8	6月24日	講義・演習	テレマーケティングを学び、交渉術などプロジェクトを円滑に進行する力を身につける	授業後のレポート課題
9	7月1日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
10	7月8日	講義・演習	学んだマーケティング視点を使って、実際に企画を立てる	授業後のレポート課題
11	7月15日	講義・演習	立てた企画を実際にアウトプットして市場の反応を見ながらブラッシュアップすることを学ぶ	授業後のレポート課題
12	7月22日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	メディアのマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
2	10月21日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
3	10月28日	講義・演習	コミュニケーションを学び、ワンランク上のマーケティングスキルを身につける	授業後のレポート課題
4	11月4日	講義・演習	ダイレクトメールを学び、マーケティングと営業スキル、交渉力を身につける	授業後のレポート課題
5	11月11日	講義・演習	商品やサービスのキャンペーンの仕組みについて学び、提案力を身につける	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングやブランディングについて学び、視覚的なプロデュースができるようになる	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	お金の基本を学び、お金を集める方法を学び、プロデュース力を身につける	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	企画書の作り方を学び、具体的にマーケティングを仕掛けていく力を身につける	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	実際に企画した案件を実施し、マーケティングの検証・改善を行い、ワンランク上のマーケティングを身につける	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	マーケティングを意識した企画を実際に制作・運営する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	実践ビジネス基礎(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関口陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	経営管理学修士(MBA)、元キッザニア広報・マーケティング部長／アートアクアリウム美術館総館長、他						
授業の学習 内容	ビジネス上、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマを学び、かつ、コロナ禍以降、格段に必要性が高まったリモートコミュニケーションへの対応力を養成する。具体的には、教員が教室内で対面して行う授業に加えて、配信型授業を取り入れ、滋慶学園グループ他地域校との交流を通じた視野の拡大を狙う。更に、2コマ連続授業の特性を生かし、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションの機会を設け、学生の参加・継続意識の向上を図る。						
到達目標	1.基本的なマーケティングの考え方を理解する 2.今日的なビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる 3.ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる 4.滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業ガイダンス・キャリアデザイン	事後学習として、配布資料の復習
2	5月7日	講義・演習	プロジェクトマネジメント・セルフプレゼンテーション1	事後学習として、配布資料の復習
3	5月14日	講義・演習	マーケティングの基礎 4P分析・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
4	5月21日	講義・演習	マーケティングの基礎 ペルソナ設定・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
5	5月28日	講義・演習	マーケティングの基礎 3C分析・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
6	6月4日	講義・演習	マーケティングの基礎 STP戦略・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
7	6月11日	講義・演習	近未来のビジネス展望 Society5.0を考える	事後学習として、配布資料の復習
8	6月18日	講義・演習	世界で最も成功しているエンタメビジネスの考察	事後学習として、配布資料の復習
9	6月25日	講義・演習	企業研究・ワークショップ1	事後学習として、配布資料の復習
10	7月2日	講義・演習	イベントプランニング(企画理解・構想・企画書製作)1	事後学習として、配布資料の復習
11	7月9日	講義・演習	イベントプランニング(プレゼンテーション)2	事後学習として、配布資料の復習
12	7月16日	講義・演習	考課試験/授業レポートの発表	事後学習として、配布資料の復習
13	8月27日	講義・演習	試験解答・振り返り	事後学習として、配布資料の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してビジネス業務を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してビジネス業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			講義後、配布資料を復習し、不明点を調べ、次回講義で質問する習慣を身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する				

科目名	実践ビジネス基礎(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関口陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	経営管理学修士(MBA)、元キッザニア広報・マーケティング部長/アートアクアリウム美術館総館長、他						
授業の学習 内容	ビジネス上、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマを学び、かつ、コロナ禍以降、格段に必要性が高まったリモートコミュニケーションへの対応力を養成する。具体的には、教員が教室内で対面して行う授業に加えて、配信型授業を取り入れ、滋慶学園グループ他地域校との交流を通じた視野の拡大を狙う。更に、2コマ連続授業の特性を生かし、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションの機会を設け、学生の参加・継続意識の向上を図る。						
到達目標	1.基本的なマーケティングの考え方を理解する 2.今日のビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる 3.ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる 4.滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	カスタマージャーニー(消費者行動の理解)	事後学習として、配布資料の復習
2	10月15日	講義・演習	飲食ビジネス	事後学習として、配布資料の復習
3	10月22日	講義・演習	セルフプレゼンテーション2	事後学習として、配布資料の復習
4	10月29日	講義・演習	アート思考	事後学習として、配布資料の復習
5	11月5日	講義・演習	広告論	事後学習として、配布資料の復習
6	11月12日	講義・演習	企業研究・ワークショップ2	事後学習として、配布資料の復習
7	11月19日	講義・演習	SDGsのビジネスへの展開	事後学習として、配布資料の復習
8	11月26日	講義・演習	スポンサー制度	事後学習として、配布資料の復習
9	12月3日	講義・演習	ビジネスクリエーション(コンビニ研究)	事後学習として、配布資料の復習
10	12月10日	講義・演習	イベントプランニング2(企画理解・構想・企画書製作)	事後学習として、配布資料の復習
11	12月17日	講義・演習	イベントプランニング2(プレゼンテーション)	事後学習として、配布資料の復習
12	1月14日	講義・演習	考課試験/授業レポートの発表	事後学習として、配布資料の復習
13	1月21日	講義・演習	試験解答・振り返り	事後学習として、配布資料の復習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			講義後、配布資料を復習し、不明点を調べ、次回講義で質問する習慣を身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する				

科目名	ビジネスIT(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ISAO
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざま能力を学びます。これからの生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	PC操作の基本を知る	レポート
2	4月24日	講義・演習	ファイルやフォルダの概念を理解する	レポート
3	5月8日	講義・演習	各種フォルダの扱い・データの整理の仕方を学ぶ	レポート
4	5月15日	講義・演習	各種データを適切なソフトで開き閲覧できるようにする	レポート
5	5月22日	講義・演習	WEBやネットワークの基礎を知る	レポート
6	5月29日	講義・演習	WEB制作に必要な環境や手順を知る	レポート
7	6月5日	講義・演習	WEBで使われる言語(HTML,CSS)を理解する	レポート
8	6月12日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(原稿作成)	レポート
9	6月19日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(素材調達)	レポート
10	7月3日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
11	7月10日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
12	7月17日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(レスポンス対応)	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ビジネスIT(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ISAO
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざま能力を学びます。これからの生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	デザインの基礎を知る	レポート
2	10月16日	講義・演習	Wordを使って見やすい文章を作る	レポート
3	10月30日	講義・演習	Wordを使って見やすい表を作る	レポート
4	11月6日	講義・演習	Photoshopを使って掲示物等のデザインを作る	レポート
5	11月13日	講義・演習	エクセルの基本操作を学ぶ	レポート
6	11月20日	講義・演習	エクセルの装飾を学ぶ	レポート
7	11月27日	講義・演習	エクセルの関数を学ぶ	レポート
8	12月4日	講義・演習	データの扱いについて学ぶ	レポート
9	12月11日	講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート
10	12月18日	講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート
11	1月15日	講義・演習	エクセルでガントチャートを作成する	レポート
12	1月22日	講義・演習	エクセルで案件管理表を作成する	レポート
13	2月5日	講義・演習	テスト	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してITスキルを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Contents(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	齋川翼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	株式会社ネイキッドにてテレビジョンディレクターとして活動。現在はフリーランスで動画編集やプロジェクションマッピングのコンテンツ制作などに携わっている。						
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後に発展させる為。 2.映像基礎を発展、応用させた、より高度な技術。 3.実例を元に仕事を想定したワークフローの学習、クオリティの追求。						
到達目標	画像編集、映像編集ソフトウェアの操作ができる。 映像周りの仕事、実際の現場で、チーム間の役割・連携また、撮影機材の基本的操作がより高度な次元でできる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	映像編集の実演、基礎、到達度合いの確認	
2	5月7日	講義・演習	映像編集の実演、基礎、到達度合いの確認	
3	5月14日	講義・演習	映像編集の実演、基礎、到達度合いの確認	
4	5月21日	講義・演習	基礎技術の発展・応用	
5	5月28日	講義・演習	基礎技術の発展・応用	
6	6月4日	講義・演習	基礎技術の発展・応用	
7	6月11日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #1	課題編集、制作
8	6月18日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #1	課題編集、制作
9	6月25日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #1	課題編集、制作
10	7月2日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #2	課題編集、制作
11	7月9日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #2	課題編集、制作
12	7月16日	講義・演習	過去の事例を元に課題制作 #2	課題編集、制作
13	8月27日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して、イベント内のコンテンツ制作	レポート提出
14	9月10日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して、イベント内のコンテンツ制作	レポート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して、イベント内のコンテンツ制作	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Contents(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴	MVディレクター、舞台(ミュージカル、2.5次元等)、ライブ、イベント等の映像制作					
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後に発展させる為。 2.映像基礎を発展、応用させた、より高度な技術。 3.実例を元に仕事を想定したワークフローの学習、クオリティの追求。					
到達目標	画像編集、映像編集ソフトウェアの操作ができる。 映像周りの仕事、実際の現場で、チーム間の役割・連携また、撮影機材の基本的操作がより高度な次元でできる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イベント実践 フィードバック	レポート提出
2	10月15日	講義・演習	グループワーク#1	機材操作を習得する
3	10月22日	講義・演習	グループワーク#1	機材操作を習得する
4	10月29日	講義・演習	グループワーク#1	機材操作を習得する
5	11月5日	講義・演習	グループワーク#1	ソフトウェア操作を習得する
6	11月12日	講義・演習	グループワーク#1	ソフトウェア操作を習得する
7	11月19日	講義・演習	グループワーク 発表 フィードバック	企画案を準備する
8	11月26日	講義・演習	修了制作・準備	課題編集、制作
9	12月3日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
10	12月10日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
11	12月17日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
12	1月14日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
13	1月21日	講義・演習	修了作品 プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル基礎(5) PA Basic(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 西海英志 須藤浩 原嶋紘平 杉田達矢
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴	PAエンジニアとして活動					
授業の学習 内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。					
到達目標	信号の流れを理解し、簡易PAセットを組めるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介(コミュニケーション)/マイクスタンド立て/機材の扱いを学ぶ	レポート
2	4月21日	講義・演習	マイクスタンドを立て、マイクヘッド付けを学ぶ/ 分解して組み立てる事で仕組みを学ぶ	前週内容の復習
3	5月12日	講義・演習	コネクターの種類を学ぶ/簡易セットに使用する機材を学ぶ	前週内容の復習
4	5月19日	講義・演習	基本的な簡易セットの設置・チェック・撤去を学ぶ	前週内容の復習
5	5月26日	講義・演習	EQ/マルチを追加した簡易セットの設置・チェック・ 撤去を学ぶ	前週内容の復習
6	6月2日	講義・演習	イベント内容を理解し、シミュレーションする	前週内容の復習
7	6月9日	講義・演習	機材リセットについて理解する	前週内容の復習
8	6月16日	講義・演習	ステージモニターとエフェクターを追加した 簡易セットの設置・チェック・撤去を学ぶ	前週内容の復習
9	6月23日	講義・演習	簡易セットを組む>1~4週目の復習	前週内容の復習
10	6月30日	講義・演習	搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ 他のセクションの動きを意識する	前週内容の復習
11	7月7日	講義・演習	少人数で設置・チェック・撤去する	前週内容の復習
12	7月14日	講義・演習	マルチウェイスピーカーを学ぶ	前週内容の復習
13	8月25日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル基礎(5) イベント企画(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松本一晃
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1・映像基礎を学習し、今後発展させる為。 2・映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3・ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4・実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
2	4月21日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
3	5月12日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
4	5月19日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
5	5月26日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
6	6月2日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
7	6月9日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
8	6月16日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
9	6月23日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
10	6月30日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
11	7月7日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
12	7月14日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
13	8月25日	講義・演習	映像機材を使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル基礎(5) コンサートテクニック(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	川谷祐之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	ただ華やかというだけでなく、他のセクションと密接にかかわり、照明を構成することを理解する						
到達目標	舞台照明というものを華やかなものと理解しがちだが、ただ華やかなだけでなく、キャストを引き立たせ、観客を喜ばせるために、ソロ・バンド・アイドル・ダンス・ミュージカル等、演目によって魅せ方をかえ、イベントに合った明りを理解できるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介～機材・システムツアー 簡単な仕込み実習	照明機材仕込み
2	5月13日	講義・演習	ホールの仕組みを理解する	資料解読(ホール実習)
3	5月20日	講義・演習	照明に携わってみる人の作った照明を感じる	照明機材仕込み(音テクイベント)
4	5月27日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
5	6月3日	講義・演習	基本知識での照明を作る	課題曲に対する譜割り(プロミイベント)
6	6月10日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる2	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
7	6月17日	講義・演習	テーマ合った照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
8	6月24日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる3	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
9	7月1日	講義・演習	テーマ合った照明を作る2	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
10	7月8日	講義・演習	自分のアイデアを織り交ぜた照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
11	7月15日	講義・演習	アニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り(アクターliveゼミ)
12	7月22日	講義・演習	仕込図を描く上で基本的な考え方 照明を考えたときの基本的な考え方	照明機材仕込み(学園祭シミュレーション)
13	8月26日	講義・演習	前期で習得した技術をすべて盛り込んだ照明を披露する	照明機材仕込み・打ち込み(プロミイベント)
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル基礎(6) PA Basic(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 西海英志 須藤浩 原嶋紘平 杉田達矢
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動					
授業の学習 内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。					
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレーターを行えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ハウスミキサー・モニター・ステージに分かれて設置を学ぶ	レポート
2	10月13日	講義・演習	学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、設置方法を学ぶ	前週内容の復習
3	10月20日	講義・演習	学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、使い方を学ぶ	前週内容の復習
4	10月27日	講義・演習	学校所有のワイヤレスマイクについて学ぶ	前週内容の復習
5	11月3日	講義・演習	スピーカーチューニング(技法)を学ぶ	前週内容の復習
6	11月10日	講義・演習	エフェクター・ダイナミック系の設定を学ぶ	前週内容の復習
7	11月17日	講義・演習	サウンドチェックの流れを学ぶ (ライブ本番実習の前の授業)	前週内容の復習
8	11月24日	講義・演習	バンド(Vo, G t, Ba, Dr, Key)のサウンドチェック・本番を学ぶ	前週内容の復習
9	12月1日	講義・演習	イベントに向けてプラン組みを実践	前週内容の復習
10	12月8日	講義・演習	イベントに向けてのシステムチェックの実践	前週内容の復習
11	12月15日	講義・演習	イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける	前週内容の復習
12	1月19日	講義・演習	イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける	前週内容の復習
13	2月2日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル基礎(6) イベント企画(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松本一晃
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1.映像基礎を学習し、今後に発展させる為。 2.映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
2	10月13日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
3	10月20日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
4	10月27日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
5	11月3日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
8	11月24日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
9	12月1日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
10	12月8日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
11	12月15日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
12	1月19日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
13	2月2日	講義・演習	映像機材・送出ソフトを使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レゾリウム・アリーナ使用予定				

科目名	テクニカル基礎(6) コンサートテクニック(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	川谷祐之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	前期で学んだことに加え、曲に合ったメリハリ、緩急を実際の照明で表現できるようにする						
到達目標	各イベントに合った照明を作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	仕込みアレンジ・特殊仕込みを考える	仕込み図解読
2	10月21日	講義・演習	前期で学んだことをすべて盛り込んで照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
3	10月28日	講義・演習	曲に対する自分のイメージを明りで表現する	仕込み・譜割り・明り作り
4	11月4日	講義・演習	同じ課題曲で照明を作り人の感性を感じる	照明機材仕込み・打ち込み
5	11月11日	講義・演習	メリハリをつけた照明でショーパッケージに関わる	仕込み・譜割り・明り作り
6	11月18日	講義・演習	ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する	仕込み・譜割り・明り作り
7	11月25日	講義・演習	ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する	課題曲に対する譜割り
8	12月2日	講義・演習	ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する2	仕込み・譜割り・明り作り
9	12月9日	講義・演習	メリハリをつけたアニソン照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
10	12月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	仕込み・譜割り・明り作り
11	1月13日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
12	1月20日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り
13	2月3日	講義・演習	自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感	照明機材仕込み・打ち込み
14	2月10日	講義・演習	1年間で身につけた技術を使って自由に照明を作る	照明機材仕込み・打ち込み
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り・練習
準備学習 時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	International Program(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る。 2.海外の先生と携わることによって視野を広げる。 3.挨拶や礼儀などの人間力。 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示。						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	5月13日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	5月20日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	5月27日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	6月3日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	6月10日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	6月17日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	6月24日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	7月1日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	7月8日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	7月15日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	7月22日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	8月26日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	International Program(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダンバレエ/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	1.新しい身体の使い方を知る。 2.海外の先生と携わることによって視野を。 3.挨拶や礼儀などの人間力。 4.踊る楽しさに加え、自分に足りないのはなにか向き合う課題を提示。						
到達目標	ダンスのスキルアップはもちろん、挨拶や礼儀、ルールを守るなどの基礎的な人間力向上とダンスを楽しむということを知る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
2	10月21日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
3	10月28日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
4	11月4日	講義・演習	英語力の向上	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
5	11月11日	講義・演習	HIPHOPの楽しさを知る	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
6	11月18日	講義・演習	モダンダンスの基礎スキルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
7	11月25日	講義・演習	バレエテクニック	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
8	12月2日	講義・演習	アフリカダンスを通して様々な国のジャンルを学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
9	12月9日	講義・演習	総括、課題の見直し	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
10	12月16日	講義・演習	基礎中心の身体作り	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
11	1月13日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
12	1月20日	講義・演習	自分の体を理解する	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
13	2月3日	講義・演習	テスト	ドレスコードの確認・ストレッチ・筋トレ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ZOOMの確認・筋トレ・ストレッチ・心構え	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定のドレスコード・ZOOM使用				

科目名	Professional Music Production Workshop(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	4月26日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	5月10日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	5月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	5月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	5月31日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	6月7日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	6月14日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	6月21日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	7月5日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	7月12日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	8月23日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	8月30日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Professional Music Production Workshop(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員 梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う					
授業の学習 内容	1.音楽制作の基礎技術の習得 2.高度なミキシングとマスタリング技術の習得 3.プロジェクトの企画と実行能力の向上 4.音楽ビジネスとプロモーションの知識の習得					
到達目標	プロフェッショナルに必要な音楽制作スキルと、知識を総合的に習得し、現場で即戦力になるクリエイターとして自身の業界での役割を理解できるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(1)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
2	10月11日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(2)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
3	10月18日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(3)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
4	11月1日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(4)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
5	11月8日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(5)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
6	11月15日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(6)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
7	11月22日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(7)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
8	11月29日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(8)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
9	12月6日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(9)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
10	12月13日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(10)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
11	12月20日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(11)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
12	1月17日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(12)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
13	1月24日	講義・演習	プロジェクトワーク:学んだ技術を用いたプロジェクト制作・応用(13)	授業外での楽曲制作・プロジェクト準備
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作・プロジェクト制作を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外での楽曲制作・プロジェクト準備	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演技概論(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	深谷晃成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	脚本家・演出家・映像監督・俳優、2010年に尚美学園大学にて若林一男教授により指導を受ける。若手演出家コンクール最優秀賞受賞。2020年より演技ワークショップをはじめ、高校や専門学校にて演技講師を勤める						
授業の学習 内容	「演技の基礎」は演技を表現する上で欠かせない当然のスキルです。 演技の基礎は奥深く、楽器やダンス・絵画にも近い「学ばなければ表現をすることが出来ない」技術です。 この授業では実戦で生きる基礎を知ってもらい、身体に落とし込み、いついかなる役を演じることになってもブレることのない強いスタイルを身に付けて欲しいと考えています。 「上手い演技とは何か？」という問いに、皆さん自身でその答えを見つけれられるような授業をしたいと思います。						
到達目標	演技を構成する四項目「発声」「表情」「視線」「動作」のコントロールができるようになる 会話演技における「言う」「聞く」「居る」を理解し、技術として身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	プロとしての心構え・演技を学ぶために大切なことを知る(オリエンテーション)	授業内で取ったメモや体験したことを反芻する
2	4月25日	講義・演習	基本的な発声練習(腹式呼吸)が出来るようになる	個人練習・復習
3	5月9日	講義・演習	実践的な発声練習(音域コントロール、活舌)に挑戦する	日常生活の中で、授業内で学んだことを活かしてみる
4	5月16日	講義・演習	「居る技術」そこに存在することの技術を学ぶ	リラックス状態が演技でもあることを知る
5	5月23日	講義・演習	「日常」と「非日常」の演じ分けを学ぶ	日常生活の中にある日常と非日常の違いを感じる
6	5月30日	講義・演習	「言う」「アクション」のテクニックを身に着ける	日常生活の中にある相手の心を動かす言葉を見つける
7	6月6日	講義・演習	「聞く」「リアクション」のテクニックを身に着ける	日常生活の中にあるリアクションを見つける
8	6月13日	講義・演習	「反応」の大切さを知る	授業内容の復習(質問内容をまとめておく)
9	6月20日	講義・演習	「とぼける」という演技概念を理解する	授業内容の復習(質問内容をまとめておく)
10	7月4日	講義・演習	「とぼける」で演技を実践してみる	授業内容の復習(質問内容をまとめておく)
11	7月11日	講義・演習	「とぼける」で台詞を読む	配布した台本を読んでみる
12	7月18日	講義・演習	「とぼける」で台本を読む	配布した台本で復習する
13	8月22日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月29日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			個人練習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演技概論(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	深谷晃成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	脚本家・演出家・映像監督・俳優、2010年に尚美学園大学にて若林一男教授により指導を受ける。若手演出家コンクール最優秀賞受賞。2020年より演技ワークショップをはじめ、高校や専門学校にて演技講師を勤める						
授業の学習 内容	「演技の基礎」は演技を表現する上で欠かせない当然のスキルです。 演技の基礎は奥深く、楽器やダンス・絵画にも近い「学ばなければ表現をすることが出来ない」技術です。 この授業では実戦で生きる基礎を知ってもらい、身体に落とし込み、いついかなる役を演じることになってもブレることのない強いスタイルを身に付けて欲しいと考えています。 「上手い演技とは何か？」という問いに、皆さん自身でその答えを見つけれられるような授業をしたいと思います。						
到達目標	演技を構成する四項目「発声」「表情」「視線」「動作」のコントロールができるようになる 会話演技における「言う」「聞く」「居る」を理解し、技術として身に付ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	プロとしての活動に必要なことを学ぶ(オリエンテーション)	
2	10月10日	講義・演習	前期基礎をおさらいする	前期の復習を行っておく
3	10月17日	講義・演習	台本読解を学ぶ	配布台本をしっかりと読んでおく
4	10月31日	講義・演習	役作りを学ぶ	役の履歴書を書いてくる
5	11月7日	講義・演習	重複表現について学ぶ	人間の理性と感情の使い分けを日常生活の中で理解する
6	11月14日	講義・演習	泣き演技・感情演技について学ぶ	生理現象について考えをまとめてくる
7	11月21日	講義・演習	「とぼける」の実践的な使い方を理解する	配布台本をしっかりと読んでおく
8	11月28日	講義・演習	実践演習により「演技」のスキルを上げる	配布台本を覚えてくる
9	12月5日	講義・演習	「台本」演習により実践的な演技を身に付ける	ミザンスを把握し、復習しておく
10	12月12日	講義・演習	演出を付け、稽古を通して演技の上達を学ぶ	演出を再確認し、次授業に取りこぼしが無いようにする
11	12月19日	講義・演習	演出を受け、作品作りにおける俳優の仕事を理解する	演出を再確認し、次授業に取りこぼしが無いようにする
12	1月16日	講義・演習	総合演習:台本の実演	授業の学んだことを、来年度以降にも活かせるように総括する
13	1月23日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	1月30日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月13日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			個人練習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	実践ビジネス基礎(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	経営管理学修士(MBA)、元キッザニア広報・マーケティング部長/アートアクアリウム美術館総館長、他						
授業の学習 内容	ビジネス上、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマを学び、かつ、コロナ禍以降、格段に必要性が高まったリモートコミュニケーションへの対応力を養成する。具体的には、教員が教室内で対面して行う授業に加えて、配信型授業を取り入れ、滋慶学園グループ他地域校との交流を通じた視野の拡大を狙う。更に、2コマ連続授業の特性を生かし、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションの機会を設け、学生の参加・継続意識の向上を図る。						
到達目標	1.基本的なマーケティングの考え方を理解する 2.今日のビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる 3.ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる 4.滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業ガイダンス・キャリアデザイン	事後学習として、配布資料の復習
2	5月7日	講義・演習	プロジェクトマネジメント・セルフプレゼンテーション1	事後学習として、配布資料の復習
3	5月14日	講義・演習	マーケティングの基礎 4P分析・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
4	5月21日	講義・演習	マーケティングの基礎 ペルソナ設定・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
5	5月28日	講義・演習	マーケティングの基礎 3C分析・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
6	6月4日	講義・演習	マーケティングの基礎 STP戦略・ワークショップ	事後学習として、配布資料の復習
7	6月11日	講義・演習	近未来のビジネス展望 Society5.0を考える	事後学習として、配布資料の復習
8	6月18日	講義・演習	世界で最も成功しているエンタメビジネスの考察	事後学習として、配布資料の復習
9	6月25日	講義・演習	企業研究・ワークショップ1	事後学習として、配布資料の復習
10	7月2日	講義・演習	イベントプランニング(企画理解・構想・企画書製作)1	事後学習として、配布資料の復習
11	7月9日	講義・演習	イベントプランニング(プレゼンテーション)2	事後学習として、配布資料の復習
12	7月16日	講義・演習	考課試験/授業レポートの発表	事後学習として、配布資料の復習
13	8月27日	講義・演習	試験解答・振り返り	事後学習として、配布資料の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してビジネス業務を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してビジネス業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		講義後、配布資料を復習し、不明点を調べ、次回講義で質問する習慣を身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する				

科目名	実践ビジネス基礎(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	経営管理学修士(MBA)、元キッザニア広報・マーケティング部長／アートアクアリウム美術館総館長、他						
授業の学習 内容	ビジネス上、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマを学び、かつ、コロナ禍以降、格段に必要性が高まったリモートコミュニケーションへの対応力を養成する。具体的には、教員が教室内で対面して行う授業に加えて、配信型授業を取り入れ、滋慶学園グループ他地域校との交流を通じた視野の拡大を狙う。更に、2コマ連続授業の特性を生かし、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションの機会を設け、学生の参加・継続意識の向上を図る。						
到達目標	1.基本的なマーケティングの考え方を理解する 2.今日のビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる 3.ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる 4.滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	カスタマージャーニー(消費者行動の理解)	事後学習として、配布資料の復習
2	10月15日	講義・演習	飲食ビジネス	事後学習として、配布資料の復習
3	10月22日	講義・演習	セルフプレゼンテーション2	事後学習として、配布資料の復習
4	10月29日	講義・演習	アート思考	事後学習として、配布資料の復習
5	11月5日	講義・演習	広告論	事後学習として、配布資料の復習
6	11月12日	講義・演習	企業研究・ワークショップ2	事後学習として、配布資料の復習
7	11月19日	講義・演習	SDGsのビジネスへの展開	事後学習として、配布資料の復習
8	11月26日	講義・演習	スポンサー制度	事後学習として、配布資料の復習
9	12月3日	講義・演習	ビジネスクリエーション(コンビニ研究)	事後学習として、配布資料の復習
10	12月10日	講義・演習	イベントプランニング2(企画理解・構想・企画書製作)	事後学習として、配布資料の復習
11	12月17日	講義・演習	イベントプランニング2(プレゼンテーション)	事後学習として、配布資料の復習
12	1月14日	講義・演習	考課試験/授業レポートの発表	事後学習として、配布資料の復習
13	1月21日	講義・演習	試験解答・振り返り	事後学習として、配布資料の復習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			講義後、配布資料を復習し、不明点を調べ、次回講義で質問する習慣を身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する				

科目名	ビジネスIT(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	新井勲
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作や各ソフトウェアの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を開花させるきっかけとなる科目です。						
到達目標	PC操作や各ソフトウェアの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	PC操作の基本を知る	レポート
2	4月24日	講義・演習	ファイルやフォルダの概念を理解する	レポート
3	5月8日	講義・演習	各種フォルダの扱い・データの整理の仕方を学ぶ	レポート
4	5月15日	講義・演習	各種データを適切なソフトで開き閲覧できるようにする	レポート
5	5月22日	講義・演習	WEBやネットワークの基礎を知る	レポート
6	5月29日	講義・演習	エクセルの基本操作を学ぶ	レポート
7	6月5日	講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート
8	6月12日	講義・演習	Wordを使って見やすい文章を作る	レポート
9	6月19日	講義・演習	Photoshopを使って掲示物等のデザインを作る	レポート
10	7月3日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(1)	レポート
11	7月10日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(2)	レポート
12	7月17日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(3)	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してビジネスで使うITの業務を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してビジネスで使うITの業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ビジネスIT(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	新井勲
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作や各ソフトウェアの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を開花させるきっかけとなる科目です。						
到達目標	PC操作や各ソフトウェアの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	WEBやネットワークの基礎を知る	レポート
2	10月16日	講義・演習	WEB制作に必要な環境や手順を知る	レポート
3	10月30日	講義・演習	WEBで使われる言語(HTML,CSS)を理解する	レポート
4	11月6日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(原稿作成)	レポート
5	11月13日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(素材調達)	レポート
6	11月20日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
7	11月27日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート
8	12月4日	講義・演習	WEBページをひとつ作成する(レスポンス対応)	レポート
9	12月11日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(1)	レポート
10	12月18日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(2)	レポート
11	1月15日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(3)	レポート
12	1月22日	講義・演習	作編曲・Mix・RECなど音楽制作の過程を知る(4)	レポート
13	2月5日	講義・演習	テスト	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してビジネスで使うITの業務を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してビジネスで使うITの業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	LT Advance(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	藤井直
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習 内容	数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる社会にも通じる話術の構築。						
到達目標	照明の仕込み図 打ち合わせ 仕込み あかり作り オペレート 撤去までの一連の流れの理解ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	グループの中での個人の意識を知ることができる	レポート
2	4月24日	講義・演習	与えられた物への解釈が理解できる	レポート
3	5月8日	講義・演習	仕事へのとらえ方を理解できる	レポート
4	5月15日	講義・演習	器材の台数、リストを把握できる	レポート
5	5月22日	講義・演習	メンテナンスの方法を習得できる	レポート
6	5月29日	講義・演習	メンテナンスの方法を実践する	レポート
7	6月5日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を学ぶ	レポート
8	6月12日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を習得できる	レポート
9	6月19日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を実践する	レポート
10	7月3日	講義・演習	チームでプラン作り上げる 回路図の作成を行う	レポート
11	7月10日	講義・演習	チームでプラン作り上げる 図面への落とし込み	レポート
12	7月17日	講義・演習	チームでプラン作り上げる 仕込みをする	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台照明入門				

科目名	LT Advance(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	藤井直
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習 内容	数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる。ホール規模によりLS-1の感覚とは異なることを感じる。場所により多種多様な考え方があることを認識させる。						
到達目標	照明の仕込み図、打ち合わせ、仕込み、あかり作り、オペレート、撤去までの一連の流れがチーフとして理解して行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	他の人が作ったプランニングの評価を行う	レポート
2	10月16日	講義・演習	自らがつけた他のプランニングの評価に修正を入れることができる	レポート
3	10月30日	講義・演習	自らのプランニングへの修正を聞き、再構築を行う	レポート
4	11月6日	講義・演習	プランニングの評価と修正ができる	レポート
5	11月13日	講義・演習	器材メンテナンスの実践ができる	レポート
6	11月20日	講義・演習	PCでの仕込図の書き方を理解できる	レポート
7	11月27日	講義・演習	音楽イベントプランニングの基本を実践できる	レポート
8	12月4日	講義・演習	音楽イベントに向けてのチーム編成を考察できる	レポート
9	12月11日	講義・演習	音楽イベントに向けてのシステムを考察する	レポート
10	12月18日	講義・演習	音楽イベントに向けて仕込図を作る	レポート
11	1月15日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを実際に仕込む	レポート
12	1月22日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りへの修正を行う	レポート
13	2月5日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを実践する	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台照明入門				

科目名	マーケティング戦略論(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営					
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。					
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	マーケティングの意味や基本を理解し、なぜそれが重要なのかを学ぶ	授業後のレポート課題
2	5月13日	講義・演習	プレゼンを学び、自己ブランディングに向けたプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
3	5月20日	講義・演習	「ビジョンボード」、「やりたいことリスト100」などを作成し、将来の目標を明確化できるようになる(コミュニケーションに活かす)	授業後のレポート課題
4	5月27日	講義・演習	エンタテインメントを含む世の中のマーケティング事例を学び、その仕組みについて理解する	授業後のレポート課題
5	6月3日	講義・演習	既存アーティストや商品、サービスの独自のウリ(USP)を学び、プロデュース視点で物事を考えるスキルを学ぶ	授業後のレポート課題
6	6月10日	講義・演習	マーケティングスキルのひとつ「リスクリバーサル」を学び、相手の立場に立った提案ができるようになる	授業後のレポート課題
7	6月17日	講義・演習	実例を基に、「ジョイントベンチャー(戦略的業務提携)」を学び、あらゆる企画立案ができるようになる	授業後のレポート課題
8	6月24日	講義・演習	テレマーケティングを学び、交渉術などプロジェクトを円滑に進行する力を身につける	授業後のレポート課題
9	7月1日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
10	7月8日	講義・演習	学んだマーケティング視点を使って、実際に企画を立てる	授業後のレポート課題
11	7月15日	講義・演習	立てた企画を実際にアウトプットして市場の反応を見ながらブラッシュアップすることを学ぶ	授業後のレポート課題
12	7月22日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	黒須亮成
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アーティストマネジメント、音楽制作、映像制作、イベント企画・制作・運営などを15年以上経験あらゆる業種・業界の課題をマーケティングやクリエイティブを用いて解決していく株式会社Kometsubu Entertainmentを経営						
授業の学習 内容	講義形式(座学)とグループワーク(演習)と企業プロジェクト(実践)を中心に、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていく。 また、マーケティングを行う上で必要なプロデュース、マネジメント、ディレクション、コミュニケーションの勉強・体験する。						
到達目標	1.シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 2.マーケティングの基礎を理解できるようになる。 3.身近にあるマーケティングを探し、仕組みを理解し、プロデュース&ディレクション(提案)できるようになる。 4.マーケティングを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業などのビジネス全体像が理解できるようになる。 5.タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場、パワーバランスが理解できるようになる。 6.実際に使われている企画書、書類、メール文などを見ることによって即戦力を身につける。 7.電話やメールのコミュニケーションを学び、実践で使えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	メディアのマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
2	10月21日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
3	10月28日	講義・演習	コミュニケーションを学び、ワンランク上のマーケティングスキルを身につける	授業後のレポート課題
4	11月4日	講義・演習	ダイレクトメールを学び、マーケティングと営業スキル、交渉力を身につける	授業後のレポート課題
5	11月11日	講義・演習	商品やサービスのキャンペーンの仕組みについて学び、提案力を身につける	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングやブランディングについて学び、視覚的なプロデュースができるようになる	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	お金の基本を学び、お金を集める方法を学び、プロデュース力を身につける	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	企画書の作り方を学び、具体的にマーケティングを仕掛けていく力を身につける	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	実際に企画した案件を実施し、マーケティングの検証・改善を行い、ワンランク上のマーケティングを身につける	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	マーケティングを意識した企画を実際に制作・運営する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	筆記&実技テスト	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	森谷諭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月24日	講義・演習	学校間交流授業準備	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月8日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月15日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月22日	講義・演習	学校間交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
6	5月29日	講義・演習	自己PR方法を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月5日	講義・演習	ジャンル毎のリズムパターンを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月12日	講義・演習	ジャンル毎のリズムパターンを学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月19日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月3日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月10日	講義・演習	楽曲のRemixに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月17日	講義・演習	楽曲のRemixに挑戦	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月21日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	森谷諭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月16日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月30日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
4	11月6日	講義・演習	国際交流授業	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月13日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月20日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月27日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月4日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月11日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月18日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月15日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月22日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月5日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Creative Project(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	染川富和
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	多くのレコーディング制作に携わる作詞、作曲、編曲家のマネージメント						
授業の学習 内容	チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	テーマ考案 企画書の作り方を学ぶ	レポート
2	4月25日	講義・演習	プレゼンテーションのためのPPTを学ぶ	レポート
3	5月9日	講義・演習	企画書作成 骨組みを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
4	5月16日	講義・演習	企画書作成 動機づけを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
5	5月23日	講義・演習	企画書作成 道筋を考える	企画テーマに基づき企画書の作成
6	5月30日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	企画テーマに基づき企画書の作成
7	6月6日	講義・演習	曲作りのためのチーム分けを行う	REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	6月13日	講義・演習	REC準備を行い、制作スケジュールを組む	曲作り、RECスタッフ、音楽家の手配など
9	6月20日	講義・演習	作詞を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
10	7月4日	講義・演習	作曲を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
11	7月11日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
12	7月18日	講義・演習	擬似レコーディングを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
13	8月22日	講義・演習	擬似ミックスを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Creative Project(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	染川富和
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	多くのレコーディング制作に携わる作詞、作曲、編曲家のマネージメント						
授業の学習 内容	【卒業制作】3年間学んだ集大成CDを作る授業。 チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	レコーディングを行う Vo	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
2	10月10日	講義・演習	レコーディングを行う Gt	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
3	10月17日	講義・演習	レコーディングを行う Ba	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
4	10月31日	講義・演習	レコーディングを行う Dr	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
5	11月7日	講義・演習	レコーディングを行う Key	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
6	11月14日	講義・演習	レコーディングを行う Cho	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
7	11月21日	講義・演習	レコーディングを行う Em	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	11月28日	講義・演習	盤面デザインを考える	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
9	12月5日	講義・演習	楽曲イメージとデザインの相関性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
10	12月12日	講義・演習	楽曲の統一性、一貫性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
11	12月19日	講義・演習	マスタリングにおける一貫性について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
12	1月16日	講義・演習	マスタリングにおける音声修復について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
13	1月23日	講義・演習	マスタリングデータ、アートワークデータ納品を行う	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-REC(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経てフリーランス8年目 様々なジャンルでエンジニアをしています						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1.録音技術の習得 2.ミキシング技術の習得 3.マスタリング技術の習得 4.データ□管理・整理技術の習得 5.レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	スタジオ□機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、基礎的な録音機器の仕組み、現代的な録音への理解
2	5月13日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎	前回まで□□理解力の確認
3	5月20日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月27日	講義・演習	□特、ダイナミックレンジ、THD+N、デジタル機器への理解	前回まで□□理解力の確認
5	6月3日	講義・演習	□□ ミュージシャン□□参加の実践的な REC/Mix	□□の□録音内容の確認、録音を行う上で□□□□の□□イメージ□□持つ
6	6月10日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎の再確認	前回まで□□理解力の確認
7	6月17日	講義・演習	□□ ミュージシャン□□参加の実践的な REC/Mix	□□の□録音内容の確認、録音を行う上で□□□□の□□イメージ□□持つ
8	6月24日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎の再確認	前回まで□□理解力の確認
9	7月1日	講義・演習	□□ ミュージシャン□□参加の実践的な REC/Mix	□□の□録音内容の確認、録音を行う上で□□□□の□□イメージ□□持つ
10	7月8日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎の再確認	前回まで□□理解力の確認
11	7月15日	講義・演習	□□ ミュージシャン□□参加の実践的な REC/Mix	□□の□録音内容の確認、録音を行う上で□□□□の□□イメージ□□持つ
12	7月22日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎の再確認	前回まで□□理解力の確認
13	8月26日	講義・演習	□□ ミュージシャン□□参加の実践的な REC/Mix	□□の□録音内容の確認、録音を行う上で□□□□の□□イメージ□□持つ
14	9月9日	講義・演習	アナログ□コントロールやマイクの□特性アウトボード □□基礎の再確認	前回まで□□理解力の確認
15	9月16日	講義・演習	前記分復習及び□□問題点の整理	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-REC(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	桐本 廉也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	studiofine→King関口台スタジオ→MITstudioを経てフリーランス8年目 様々なジャンルでエンジニアをしています						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける□□、以下技術の習得。 1.録音技術の習得 2.ミキシング技術の習得 3.マスタリング技術の習得 4.データ管理・整理技術の習得 5.レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
2	10月21日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
3	10月28日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
4	11月4日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
5	11月11日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
6	11月18日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
7	11月25日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
8	12月2日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
9	12月9日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
10	12月16日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
11	1月13日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
12	1月20日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
13	2月3日	講義・演習	後記分復習及び□□問題点の整理	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
14	2月10日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
15	2月17日	講義・演習	※ ミュージック□□参加の実践的な REC/Mix	※ □□録音内容の確認、録音を行う上での□□の□□イメージ□□持つ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	Media Contents(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	MVディレクター、舞台(ミュージカル、2.5次元等)、ライブ、イベント等の映像制作						
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後に発展させる為。 2.映像基礎を学習し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、編集ソフトの操作を学習。						
到達目標	画像編集、映像編集ソフトウェアの操作ができる。 撮影機材の基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の連携、役割等を学ぶ一年生を牽引出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	映像編集の実演、基礎を学ぶ	作業ワークフローを理解する
2	5月7日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
3	5月14日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
4	5月21日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
5	5月28日	講義・演習	画像編集ソフトの基本操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	6月4日	講義・演習	個人での企画立案、構成を学ぶ	企画案を準備する
7	6月11日	講義・演習	映像編集ソフトの基本操作を学ぶ	課題編集、制作
8	6月18日	講義・演習	映像編集ソフトの基本操作を学ぶ	課題編集、制作
9	6月25日	講義・演習	授業内課題発表、プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
10	7月2日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
11	7月9日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
12	7月16日	講義・演習	映像編集ソフトの操作を学ぶ	課題編集、制作
13	8月27日	講義・演習	授業内課題発表、プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	9月10日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Contents(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	藤田陽平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	MVディレクター、舞台(ミュージカル、2.5次元等)、ライブ、イベント等の映像制作						
授業の学習 内容	1.映像編集の技法を理解し今後に発展させる為。 2.映像基礎を学習し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を学習する。 3.ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4.実例を参考に、編集ソフトの操作を学習。						
到達目標	画像編集、映像編集ソフトウェアの操作ができる。 撮影機材の基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の連携、役割等を学ぶ一年生を牽引出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	後期ガイダンス	レポート提出
2	10月15日	講義・演習	撮影器材(一眼レフ、三脚)の基礎を学ぶ	機材操作を習得する
3	10月22日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶストップモーション	機材操作を習得する
4	10月29日	講義・演習	撮影器材の基礎を学ぶクロマキー合成	機材操作を習得する
5	11月5日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
6	11月12日	講義・演習	グループワーク演習	ソフトウェア操作を習得する
7	11月19日	講義・演習	グループワーク演習 発表	企画案を準備する
8	11月26日	講義・演習	修了制作・準備	課題編集、制作
9	12月3日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
10	12月10日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
11	12月17日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
12	1月14日	講義・演習	修了制作・期間	課題編集、制作
13	1月21日	講義・演習	一年時修了作品 プレゼンテーション	発表準備、プレゼン資料作成
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル応用(7) PA Advance(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)					
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動					
授業の学習 内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する					
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレーターを行えるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	モニターシステムを学ぶ	レポート
2	4月21日	講義・演習	空間系エフェクターを学び、操作できるようになる	前週内容の復習
3	5月12日	講義・演習	ダイナミック系エフェクターを学び、操作できるようになる	前週内容の復習
4	5月19日	講義・演習	デジタルオーディオを学ぶ	前週内容の復習
5	5月26日	講義・演習	デジタルミキサーのオペレーターを出来るようになる	前週内容の復習
6	6月2日	講義・演習	イベント内容を理解し、シミュレーションする	前週内容の復習
7	6月9日	講義・演習	機材リセットについて理解する	前週内容の復習
8	6月16日	講義・演習	デジタルミキサーのオペレーターを出来るようになる	前週内容の復習
9	6月23日	講義・演習	効率の良い積み方を学ぶ	前週内容の復習
10	6月30日	講義・演習	限られた機材でプランを立て実践する	前週内容の復習
11	7月7日	講義・演習	野外現場を想定した特殊な設営を学習する	前週内容の復習
12	7月14日	講義・演習	ワイヤレスについて深く学ぶ	前週内容の復習
13	8月25日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル応用(7) イベント企画(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松本一晃
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1・映像基礎を学習し、今後発展させる為。 2・映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3・ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4・実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
2	4月21日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
3	5月12日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
4	5月19日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
5	5月26日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
6	6月2日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
7	6月9日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
8	6月16日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
9	6月23日	講義・演習	映像基礎を学ぶ	映像基礎の習得
10	6月30日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
11	7月7日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
12	7月14日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
13	8月25日	講義・演習	映像機材を使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらせなかったものを準備学習とします	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル応用(7) コンサートテクニック(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	川谷祐之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	ただ自分の作りたい照明を作るのではなく、色々な立場に立って照明を作れるようにする						
到達目標	多くの観客が納得し、各イベントに合った照明を作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介～機材・システム案内～簡単な仕込み指導	照明機材仕込み
2	5月13日	講義・演習	ホールの仕組みを理解する	資料解読(ホール実習)
3	5月20日	講義・演習	後輩を指導し自分たちの作りたい照明を作る	照明機材仕込み・明かり打ち込み(音テイクイベント)
4	5月27日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする1	チーフは、事前に仕込み図を描く仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
5	6月3日	講義・演習	技術を盛り込みバンドの照明を作る	課題曲に対する譜割り(プロミイベント)
6	6月10日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする2	チーフは、事前に仕込み図を描く仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
7	6月17日	講義・演習	「観せる」という観点でテーマに合った照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
8	6月24日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする3	チーフは、事前に仕込み図を描く仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
9	7月1日	講義・演習	「観せる」という観点でテーマに合った照明を作る2	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
10	7月8日	講義・演習	求められたものに答え、かつ自分の表現も盛り込んだ照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
11	7月15日	講義・演習	「観せる」という観点でアニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り(アクターliveゼミ)
12	7月22日	講義・演習	自分のアイデアを盛り込んだ仕込図を描く 技術を盛り込んだ照明を作る	照明機材仕込み(学園祭シミュレーション)
13	8月26日	講義・演習	前期で習得した技術をすべて盛り込んだ照明を披露する	照明機材仕込み・打ち込み(プロミイベント)
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル応用(8) PA Advance(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動					
授業の学習 内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する					
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレーターを行えるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	音響機材におけるPC等のネットワークオーディオについて学ぶ	レポート
2	10月13日	講義・演習	ラインアレイ、ドルビーレイクを学ぶ	前週内容の復習
3	10月20日	講義・演習	リアルタイムアナライザーを使用し、音場測定を学ぶ	前週内容の復習
4	10月27日	講義・演習	Vo+Bandのモニターを学ぶ	前週内容の復習
5	11月3日	講義・演習	ライブ本番を想定したRHを行う	前週内容の復習
6	11月10日	講義・演習	イベントのセクション決め、内容確認をし、理解する	前週内容の復習
7	11月17日	講義・演習	セクションに分かれたプラン組を学ぶ	前週内容の復習
8	11月24日	講義・演習	セクションに分かれた仕組みを学ぶ	前週内容の復習
9	12月1日	講義・演習	イベントに向けてシステムチェックを理解する	前週内容の復習
10	12月8日	講義・演習	搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ 他のセクションの動きを意識する	前週内容の復習
11	12月15日	講義・演習	イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、音響スタッフとしての現場力を身に付ける	前週内容の復習
12	1月19日	講義・演習	イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、音響スタッフとしての現場力を身に付ける	前週内容の復習
13	2月2日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクニカル応用(8) イベント企画(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松本一晃
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	演劇、イベント、コンサート、TVなどのコンテンツ送出およびテクニカルディレクター						
授業の学習 内容	1・映像基礎を学習し、今後発展させる為。 2・映像基礎を理解し、ライブ、コンサート、演劇、ミュージックビデオ等での使用方法、効果、創造性を養う。 3・ワークフローを理解し、個人の企画力、構成力を養う。 4・実例を参考に、送出ソフトの操作を学習。						
到達目標	映像基礎知識を習得する。 映像送出ソフトウェアの基本的操作ができる。 グループワークで、チーム間の役割・連携ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
2	10月13日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
3	10月20日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
4	10月27日	講義・演習	映像機材の操作を学ぶ	映像機材の理解を深める
5	11月3日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
6	11月10日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
7	11月17日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
8	11月24日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
9	12月1日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
10	12月8日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
11	12月15日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
12	1月19日	講義・演習	映像送出ソフトの操作を学ぶ	ソフトウェア操作を習得する
13	2月2日	講義・演習	映像機材・送出ソフトを使用し映像を送出する	筆記又は、実技テストによる採点
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台演出を学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レゾリウム・アリーナ使用予定				

科目名	テクニカル応用(8) コンサートテクニック(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	川谷祐之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	想像力を豊かに持ち、他セクションと話し合い、意見をぶつけ、より良いイベントを創る						
到達目標	照明の構成を、イベント全体のコンセプトを踏まえ、多くの観客が感動し、笑顔になれるショーを作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	仕込みアレンジ・特殊仕込みを考える	仕込み図解読
2	10月21日	講義・演習	前期までに学んだことをすべて盛り込んで照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
3	10月28日	講義・演習	曲に対する自分のイメージを明りで表現する	仕込み・譜割り・明り作り
4	11月4日	講義・演習	同じ課題曲で照明を作り人の感性を感じる	照明機材仕込み・打ち込み
5	11月11日	講義・演習	個性を盛り込んだショーパッケージを作る	仕込み・譜割り・明り作り
6	11月18日	講義・演習	観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
7	11月25日	講義・演習	観客の立場に立ってアニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り
8	12月2日	講義・演習	観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
9	12月9日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
10	12月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	仕込み・譜割り・明り作り
11	1月13日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
12	1月20日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り
13	2月3日	講義・演習	自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感	照明機材仕込み・打ち込み
14	2月10日	講義・演習	2年間で身につけた技術を使って自由に照明を作る	照明機材仕込み・打ち込み
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り・練習
準備学習 時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Sound make(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み、シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける。授業履修終了時には、思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい。						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し、リファレンスの音,イメージネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	シンセサイザーとは何か?の概要を理解する	リファレンスになる音を収集する
2	4月21日	講義・演習	オンレータの波形の種類と特徴を理解する	リファレンスになる音を収集する
3	5月12日	講義・演習	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する	リファレンスになる音を収集する
4	5月19日	講義・演習	Envelope Generatorのパラメータを実践する	リファレンスになる音を収集する
5	5月26日	講義・演習	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
6	6月2日	講義・演習	音高の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
7	6月9日	講義・演習	音高の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
8	6月16日	講義・演習	音色の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
9	6月23日	講義・演習	音量の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
10	6月30日	講義・演習	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
11	7月7日	講義・演習	音程感の無い音の音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
12	7月14日	講義・演習	単音楽器ならではの表現が出来る様になる	リファレンスになる音を収集する
13	8月25日	講義・演習	PWMとサブオンレータを使いこなせる様になる	リファレンスになる音を収集する
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	Sound make(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み、シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける。授業履修終了時には、思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい。						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し、リファレンスの音,イメージネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	SuperSawの作り方と実践を学ぶ	リファレンスになる音を収集する
2	10月13日	講義・演習	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
3	10月20日	講義・演習	Oscillator Sync の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
4	10月27日	講義・演習	Ring Modulation の仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
5	11月3日	講義・演習	Matrixによるフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
6	11月10日	講義・演習	リアルタイム・コントロールが出来る	リファレンスになる音を収集する
7	11月17日	講義・演習	Vocoderの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
8	11月24日	講義・演習	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
9	12月1日	講義・演習	エフェクターの概要を知り,基本的な効果を掛けられる	リファレンスになる音を収集する
10	12月8日	講義・演習	Delayの基本操作がいき,応用的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
11	12月15日	講義・演習	ダブリング系の効果を実践出来る	リファレンスになる音を収集する
12	1月19日	講義・演習	Delayを利用したフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
13	2月2日	講義・演習	Compressorの基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	Mix Mastering実践A(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	若松利貴也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Mix・Masteringエンジニア						
授業の学習 内容	楽曲制作の最終段階であるMixdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMixdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMix&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMixとは・リスニングトレーニング	目標とするMix&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	Mix種類別セッションを用いて概要説明	Mixする音源を準備・Protoolsの基本操作
4	5月21日	講義・演習	バランスの取り方・基礎	Mixする音源を準備・Protoolsの基本操作
5	5月28日	講義・演習	低音域(Kick, Bass)とボーカルの重要性・基礎	Mixする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit・基礎	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラックキング&Mix・基礎	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラックキング&Mix・基礎	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラックキング&Mix・基礎	Mixする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラックキング&Mix・基礎	Mixする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラックキング&Mix・基礎	Mixする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMix・基礎	Mixする音源を準備
13	8月27日	講義・演習	楽曲に合う空間系の作り方・基礎	ここまでを踏まえたMixを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMixを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMixを作る
準備学習 時間外学習			アドバイスに基づいたMixリテイク	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Mix Mastering実践A(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	若松利貴也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Mix・Masteringエンジニア						
授業の学習 内容	楽曲制作の最終段階であるMixdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMixdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理・基礎	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ・基礎	Mixする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方・基礎	Mixする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方・基礎	Mixする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	Mixにおける位相や定位・セッションの最終調整・基礎	Mixする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方・基礎	Mixした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	Mixした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering・基礎	Mixした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	Mixした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	Mixした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Mix Mastering実践B(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	若松利貴也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Mix・Masteringエンジニア						
授業の学習 内容	楽曲制作の最終段階であるMixdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMixdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業内容説明ガイダンス&試聴会	目標とするMix&Masteringのリファレンス音源を用意
2	5月7日	講義・演習	良い音・現代音楽におけるMixとは・リスニングトレーニング	目標とするMix&Masteringのリファレンス音源を用意
3	5月14日	講義・演習	Mix種類別セッションを用いて概要説明	Mixする音源を準備
4	5月21日	講義・演習	低音域(Kick, Bass)とボーカルの重要性	Mixする音源を準備
5	5月28日	講義・演習	バランスの取り方	Mixする音源を準備
6	6月4日	講義・演習	音楽性を高めるボーカルEdit	ボーカルトラックを準備
7	6月11日	講義・演習	実機を用いたトラックキング&Mix	自分が好みの実機を決めておく
8	6月18日	講義・演習	プラグインを用いたトラックキング&Mix	自分が好みのプラグインを決めておく
9	6月25日	講義・演習	リズムトラックのトラックキング&Mix	Mixする音源を準備
10	7月2日	講義・演習	弦楽器のトラックキング&Mix	Mixする音源を準備
11	7月9日	講義・演習	シンセサイザーのトラックキング&Mix	Mixする音源を準備
12	7月16日	講義・演習	ボーカルMix	ボーカルトラックを準備
13	8月27日	講義・演習	空間系の作り方	ここまでを踏まえたMixを作る
14	9月10日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMixを作る
15	9月17日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	ここまでを踏まえたMixを作る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Mix Mastering実践B(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	若松利貴也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Mix・Masteringエンジニア						
授業の学習 内容	楽曲制作の最終段階であるMixdown及びMasteringに必要な知識の実践経験を習得する。						
到達目標	プロとして通用する、自分が望むMixdown及びMasteringが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	MA編集などを含むノイズ処理	ボーカルトラックやボイストラックを準備
2	10月15日	講義・演習	フェーダー、オートメーションのススメ	Mixする音源を準備
3	10月22日	講義・演習	楽曲に合う倍音の付け方	Mixする音源を準備
4	10月29日	講義・演習	前後感の関係性、作り方	Mixする音源を準備
5	11月5日	講義・演習	Mixにおける位相や定位、セッションの最終調整	Mixする音源を準備
6	11月12日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
7	11月19日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
8	11月26日	講義・演習	Mixdown実践	Mixする音源を準備
9	12月3日	講義・演習	各プラットフォーム別の書き出し方	Mixした音源を準備
10	12月10日	講義・演習	現代音楽におけるMasteringとは・リスニングトレーニング	Mixした音源を準備
11	12月17日	講義・演習	実機、AIなどを用いたMastering	Mixした音源を準備
12	1月14日	講義・演習	Mastering実践	Mixした音源を準備
13	1月21日	講義・演習	Mastering実践	Mixした音源を準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じてミックス・マスタリングを学ぶ	Mastering済み音源を準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	実際にクライアント様から発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら進めていき作品を完成させる					
到達目標	発注を頂いたクライアント様からの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。 その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	授業内容ガイダンス 第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	5月13日	講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	5月20日	講義・演習	第1クール実習2	第1クールコンペに向けて録音、ミックス
4	5月27日	講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
5	6月3日	講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
6	6月10日	講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
7	6月17日	講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
8	6月24日	講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
9	7月1日	講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
10	7月8日	講義・演習	第3クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
11	7月15日	講義・演習	第3クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
12	7月22日	講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13	8月26日	講義・演習	夏休み課題発表、前後期間課題発表	前後期間課題制作
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	勝守理: 作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。 深井誠: 様々なアーティストのレコーディング、作曲、アレンジを担当。マニユビレートやボニーキャニオンで配信などに携わる。					
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。					
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2	10月21日	講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3	10月28日	講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4	11月4日	講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5	11月11日	講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6	11月18日	講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7	11月25日	講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8	12月2日	講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9	12月9日	講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10	12月16日	講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11	1月13日	講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12	1月20日	講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13	2月3日	講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	春休み課題制作
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーション能力を学ぶ	イベントに向けての準備
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプロデュース能力を学ぶ	イベントに向けての準備
準備学習 時間外学習			授業外学習として楽曲制作を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Recording Chorus Work(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	近藤章裕
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。 レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを理解、体感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	チーム構成、基礎知識、キックオフ	基礎知識復習
2	4月21日	講義・演習	REC体験	基礎知識復習
3	5月12日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習
4	5月19日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
5	5月26日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
6	6月2日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
7	6月9日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
8	6月16日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
9	6月23日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
10	6月30日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
11	7月7日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
12	7月14日	講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
13	8月25日	講義・演習	本番REC	実践
14	9月8日	講義・演習	本番REC	実践
15	9月15日	講義・演習	前期リフレクション	セルフ・チームリフレクション
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Recording Chorus Work(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	近藤章裕
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。 レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを体得、実践すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	本番RECリフレクション	本番RECセルフリフレクション
2	10月13日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
3	10月20日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
4	10月27日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
5	11月3日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
6	11月10日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
7	11月17日	講義・演習	本番REC準備ミーティング	振り返り
8	11月24日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
9	12月1日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
10	12月8日	講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
11	12月15日	講義・演習	本番REC	振り返り
12	1月19日	講義・演習	本番REC	振り返り
13	2月2日	講義・演習	本番REC	振り返り
14	2月9日	講義・演習	本番REC	振り返り
15	2月16日	講義・演習	ラストリフレクション	振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Theory&Analysis(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 潤豊 金子勝洋
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	潤: THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。 金子: パークリー音楽大学卒、2008年作家事務所SUPALOVEに所属2019年独立					
授業の学習 内容	音楽理論、アナライズ(分析)、聴き取り、スコアライティングの学習を通して、 作曲・編曲・演奏(歌唱)をする為の音楽家力を高めます。					
到達目標	基礎であるコード、度数、メジャーダイアトニックを理解する。 シンプルな既存曲を自身でアナライズし理解した上で、自身の作曲およびプロデュースに活かせるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	メジャー・マイナーコード	授業内容の復習
2	5月7日	講義・演習	メジャースケール・調・調号	授業内容の復習
3	5月14日	講義・演習	スコアライティング1	授業内容の復習
4	5月21日	講義・演習	スコアライティング2	授業内容の復習
5	5月28日	講義・演習	音程1	授業内容の復習
6	6月4日	講義・演習	音程2	授業内容の復習
7	6月11日	講義・演習	音程3 音程の転回三和音	授業内容の復習
8	6月18日	講義・演習	ダイアトニックコード1	授業内容の復習
9	6月25日	講義・演習	ダイアトニックコード2	授業内容の復習
10	7月2日	講義・演習	ドミナントモーション・機能	授業内容の復習
11	7月9日	講義・演習	機能と終止、カデンツ1	授業内容の復習
12	7月16日	講義・演習	機能と終止、カデンツ2	授業内容の復習
13	8月27日	講義・演習	2002/5/1	授業内容の復習
14	9月10日	講義・演習	授業の振り返り	レポート
15	9月17日	講義・演習	授業の振り返り	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Theory&Analysis(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 潤豊 金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	潤: THE SOULMATIC'Sのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。 金子: パークリー音楽大学卒、2008年作家事務所SUPALOVEに所属2019年独立					
授業の学習 内容	音楽理論、アナライズ(分析)、聴き取り、スコアライティングの学習を通して、 作曲・編曲・演奏(歌唱)をする為の音楽家力を高めます。					
到達目標	基礎であるコード、度数、メジャーダイアトニックを理解する。 シンプルな既存曲を自身でアナライズし理解した上で、自身の作曲およびプロデュースに活かせるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・実習	メジャー・マイナーコード	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
2	10月15日	講義・実習	メジャースケール・調・調号	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
3	10月22日	講義・実習	スコアライティング1	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
4	10月29日	講義・実習	スコアライティング2	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
5	11月5日	講義・実習	音程1	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
6	11月12日	講義・実習	音程2	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
7	11月19日	講義・実習	音程3 音程の転回三和音	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
8	11月26日	講義・実習	ダイアトニックコード1	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
9	12月3日	講義・実習	ダイアトニックコード2	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
10	12月10日	講義・実習	ドミナントモーション・機能	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
11	12月17日	講義・実習	機能と終止、カデンツ1	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
12	1月14日	講義・実習	機能と終止、カデンツ2	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
13	1月21日	講義・実習	2002/5/1	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
14	2月4日	講義・実習	イベント実践を通して実習を学ぶ	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
15	2月11日	講義・実習	イベント実践を通して実習を学ぶ	音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習
準備学習 時間外学習			音楽理論の準備学習と授業内容の復習による時間外学習	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成による教科書、持ち物:筆記用具、五線紙				

科目名	Digital Recording(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	勝守理
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習 内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	デジタルレコーディングとは？	身の回りのデジタル録音
2	4月25日	講義・演習	デジタル化のしくみ、A/D D/Aコンバーター、サンプリング周波数ビット数とエイリアスと倍音	自分の機材を知る
3	5月9日	講義・演習	各種フォーマット、S/PDIF、AES/EBU、コアキシャル、オプティカル、圧縮フォーマット	保存、接続、読み取り、書き出し
4	5月16日	講義・演習	だまされずにカタログを読む、f特、ダイナミックレンジ、THD+N、ワードクロックの問題	カタログを読み解く
5	5月23日	講義・演習	MacとWin、ノートとデスクトップ、ハードウェア構成の問題、ソフトアップデートの問題、自分のシステムを考える、	最適な構成を考える
6	5月30日	講義・演習	他のシステムとの連携、互換、OMF、AAF、SMF	データ互換
7	6月6日	講義・演習	Mixの基本、リズムの修正、スライス、エラスティック	反復練習
8	6月13日	講義・演習	エフェクト処理の基本、オートメーション、編集作業	反復練習
9	6月20日	講義・演習	ステムミックス、パラレルミックス	反復練習
10	7月4日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、オートモード)	反復練習
11	7月11日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、グラフィックモード1)	反復練習
12	7月18日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、グラフィックモード2、その他のソフト)	試験対策まとめ
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ、前期試験	完全解答作成
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Recording(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	勝守理
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	作編曲、サウンドプロデューサー、ギタリスト。CD、CMや映画、TV番組、舞台などで楽曲を提供。						
授業の学習 内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ボーカル録音1、レイテンシー、リフレクションフィルター	間違い探し1
2	10月10日	講義・演習	ボーカル録音2、インプットミキサー、チャンネルストリップ	間違い探し2
3	10月17日	講義・演習	アコースティックギター録音、バミリ、ディレクション	間違い探し3
4	10月31日	講義・演習	エレキギター録音1、ユニゾンテクノロジー、プラグイン処理	反復練習
5	11月7日	講義・演習	エレキギター録音2、スピーカーシミュレーター、多くの方法の比較、歪み系エフェクター	反復練習
6	11月14日	講義・演習	アナログ感と歪み1、歪みとレコーディングと音楽発展の歴史	反復練習
7	11月21日	講義・演習	アナログ感と歪み2、プラグイン処理、リアンプ	反復練習
8	11月28日	講義・演習	マスタリング1、DAWプラグイン、AI処理	反復練習
9	12月5日	講義・演習	マスタリング2、WaveLab、ISRC、JAN	反復練習
10	12月12日	講義・演習	ノイズ対策、アナログ部分、デジタル部分、ノイズ除去、	反復練習
11	12月19日	講義・演習	総合実習1(色)	表現力考察
12	1月16日	講義・演習	総合実習2(国)	試験対策まとめ
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ、後期試験	完全解答作成
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Artist's SNS Management(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	おにゅー
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	BIGOLIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続Pocochaでは最高ランクS5ランクアプリ内イベントにて多数広告掲載経験有ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当						
授業の学習 内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、 自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使ってのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを 学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション	軽い自己紹介を考えてきてもらう
2	5月7日	講義・演習	ライバーという職業について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
3	5月14日	講義・演習	配信アプリの種類と特色	軽い自己紹介を考えてきてもらう
4	5月21日	講義・演習	事務所契約について	軽い自己紹介を考えてきてもらう
5	5月28日	講義・演習	配信機材、レコーディング機材	TwitterとInstagramのアカウント作成
6	6月4日	講義・演習	SNS活用術・フォロワーを伸ばすには？	一週間SNS投稿をしてみよう、リーチ数を比較
7	6月11日	講義・演習	SNS実践編～アルゴリズムを知ろう～	メイク、髪型、洋服着こなしなど練習(メイク道具を持ってきてもらう)
8	6月18日	講義・演習	SNS投稿～投稿に必要なアプリ～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
9	6月25日	講義・演習	SNS投稿2～ショート動画を作れるようになろう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
10	7月2日	講義・演習	SNS投稿3～実際に投稿してみよう～	自撮り、他撮り、加工、動画撮影などの実践、投稿
11	7月9日	講義・演習	SNS投稿4～添削会～	マインドセット
12	7月16日	講義・演習	自己プロデュース能力～見た目を磨く～	アカウント作成
13	8月27日	講義・演習	前期テスト、アンケート	アカウント作成
14	9月10日	講義・演習	システム講座(Tik Tok)	アカウント作成
15	9月17日	講義・演習	システム講座実践編(Tik Tok) 編集技術向上	編集アプリダウンロード、編集、投稿
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Artist's SNS Management(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	おにゅー
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	BIGOLIVE、Pocochaにて3年ライバーとして活動BIGO LIVEにて月収100万円超えのマンスリーミリオンを7ヶ月継続Pocochaでは最高ランクS5ランクアプリ内イベントにて多数広告掲載経験有ライバー事務所のぞプロで2年ほどマネジメントを担当						
授業の学習 内容	ライブ配信やSNSは、これからの時代のエンタメ界にとって必要不可欠となってきます。 たくさんのファンに支持してもらえるような人材になるため、自己プロデュース能力の向上・SNSのフォロワー増加・ライブ配信を使っのコミュニケーションの取り方・集客力の上げ方などを学んで行ってほしいと思います。						
到達目標	SNS活用術の向上フォロワーの増加。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	コミュニケーション能力～傾聴力～	Pocochaはシステムが多いので、小テスト実施
2	10月15日	講義・演習	コミュニケーション能力～話す力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
3	10月22日	講義・演習	コミュニケーション能力～人に好かれる話し方～	授業で教わった内容の復習と事前予習
4	10月29日	講義・演習	コミュニケーション能力～雑談力～	授業で教わった内容の復習と事前予習
5	11月5日	講義・演習	ライブ配信概論～ライブ配信とは？～	授業で教わった内容の復習と事前予習
6	11月12日	講義・演習	Vライバーについて	授業で教わった内容の復習と事前予習
7	11月19日	講義・演習	配信アプリの仕組み(IRIAM、Pococha)	授業で教わった内容の復習と事前予習
8	11月26日	講義・演習	メンタルを正しく保とう	授業で教わった内容の復習と事前予習
9	12月3日	講義・演習	YouTube概論～YouTubeとは～	授業で教わった内容の復習と事前予習
10	12月10日	講義・演習	YouTube概論～	授業で教わった内容の復習と事前予習
11	12月17日	講義・演習	SNSとYouTubeを上手く使いこなそう	授業で教わった内容の復習と事前予習
12	1月14日	講義・演習	テスト前復習、後期まとめ	良かった点・反省点・改善案 発表
13	1月21日	講義・演習	後期テスト	授業で教わった内容の復習と事前予習
14	2月4日	講義・演習	ライブ配信実践編Tiik Tok2	授業で教わった内容の復習と事前予習
15	2月11日	講義・演習	配信振り返り	授業で教わった内容の復習と事前予習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BIGBAND(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 坂東邦宣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	石戸谷:CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東:サクソプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフオンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。					
授業の学習 内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。					
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	大編成の中で演奏し体験する	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	4月26日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月10日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月17日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月24日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	5月31日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月7日	講義・演習	コード理論(ダイアトニック)を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月14日	講義・演習	コード理論(ノンダイアトニック)を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月21日	講義・演習	スケールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月5日	講義・演習	コードから作れるフレーズを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月12日	講義・演習	楽曲の構成組み立てを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	8月23日	講義・演習	アドリブやセッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月30日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習口	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BIGBAND(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 坂東邦宣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	リサイタル活動、吹奏楽やBigbandの指導者、コンクールの審査員などで活躍中					
授業の学習 内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。					
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	アンサンブルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月11日	講義・演習	指揮の見方読み取り方を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月18日	講義・演習	グループを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	11月1日	講義・演習	グループを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月8日	講義・演習	演奏におけるコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月15日	講義・演習	コールアンドレスポンスの自発的な発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月22日	講義・演習	クラシック音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月29日	講義・演習	Jazz音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月6日	講義・演習	映画音楽を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月13日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月20日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月17日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月24日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Are!リハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Are!リハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月19日	講義・演習	We Are!リハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	アーティストのプロデュース、ライブサポート、レコーディングなど					
授業の学習 内容	Neosoul&Funk曲を4リズム(Dr・Bass・Guitar・Key)+ボーカルでアンサンブル					
到達目標	R&B・Black Music・Funk・Hip Hop・Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力・セッション能力・パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	アーティストのプロデュース、ライブサポート、レコーディングなど					
授業の学習 内容	Neosoul&Funk曲を4リズム(Dr・Bass・Guitar・Key)+ボーカルでアンサンブル					
到達目標	R&B・Black Music・Funk・Hip Hop・Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グルーヴを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力・セッション能力・パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X' mas(1)	課題曲各パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X' mas(2)	課題曲各パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	アーティストのプロデュース、ライブサポート、レコーディングなど					
授業の学習 内容	Neosoul&Funk曲を4リズム(Dr・Bass・Guitar・Key)+ボーカルでアンサンブル					
到達目標	R&B・Black Music・Funk・Hip Hop・Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力・セッション能力・パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	アーティストのプロデュース、ライブサポート、レコーディングなど					
授業の学習 内容	Neosoul&Funk曲を4リズム(Dr・Bass・Guitar・Key)+ボーカルでアンサンブル					
到達目標	R&B・Black Music・Funk・Hip Hop・Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グルーヴを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力・セッション能力・パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X' mas(1)	課題曲各パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X' mas(2)	課題曲各パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください				

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 近藤寿 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	J-POPのツアーサポートやレコーディングなど、スタジオミュージシャンとして活動					
授業の学習 内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダードと言われる楽曲を使って、より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。					
到達目標	ボーカルや楽器プレイヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレイヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グループを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グループを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 近藤寿 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	J-POPのツアーサポートやレコーディングなど、スタジオミュージシャンとして活動					
授業の学習 内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダードと言われる楽曲を使って、より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。					
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーマニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 近藤寿 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	J-POPのツアーサポートやレコーディングなど、スタジオミュージシャンとして活動					
授業の学習 内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダードと言われる楽曲を使って、より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。					
到達目標	ボーカルや楽器プレーヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレーヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グループを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グループを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレーヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 石戸谷齊 近藤寿 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	J-POPのツアーサポートやレコーディングなど、スタジオミュージシャンとして活動					
授業の学習 内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダードと言われる楽曲を使って、より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。					
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーマニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習 時間外学習			楽曲の聴き込み、譜読み、練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。ミュージカルRENT出演。ミュージカルの歌唱指導も担当している。						
授業の学習 内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業内容と目的の説明、ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの予習
2	4月21日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、感情の開放ゲーム	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
3	5月12日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
4	5月19日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム説明	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
5	5月26日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム発表	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ/ポエム
6	6月2日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
7	6月9日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカルを調べ発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク
8	6月16日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ポエム発表	曲復習/ポエム
9	6月23日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
10	6月30日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
11	7月7日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
12	7月14日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
13	8月25日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	吉田華奈
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。ミュージカルRENT出演。ミュージカルの歌唱指導も担当している。						
授業の学習 内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
2	10月13日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
3	10月20日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
4	10月27日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
5	11月3日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
6	11月10日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
7	11月17日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、グループ曲発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク/ボエム
8	11月24日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカル、ボエム発表	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
9	12月1日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
10	12月8日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
11	12月15日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
12	1月19日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
13	2月2日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Inst Ensemble(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	遠藤:幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋:1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。					
授業の学習 内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル)を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション(アイコンタクトなど)やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。					
到達目標	インストゥルメンタル(楽器のみ)の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢(コミュニケーションなど)とスタンダードなリズム、フィール(ジャンル)を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート解説と演習をする	Week1の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
2	5月13日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート解説と演習をする	Week1配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week2の予習
3	5月20日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート解説と演習をする	Week2の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
4	5月27日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート解説と演習をする	Week2配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week3の予習
5	6月3日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート解説と演習をする	Week3の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
6	6月10日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート解説と演習をする	Week3配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week4の予習
7	6月17日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート解説と演習をする	Week4の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
8	6月24日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート解説と演習をする	Week4配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week5の予習
9	7月1日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート解説と演習をする	Week5の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
10	7月8日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート解説と演習をする	Week5配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week6の予習
11	7月15日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート解説と演習をする	Week6の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
12	7月22日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート解説と演習をする	Week6配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week7の予習
13	8月26日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする	Week7の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う授業で学んだことを復習し、次の授業に備える1日1時間程度	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布資料・音源				

科目名	Inst Ensemble(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	遠藤:幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。高橋:1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。					
授業の学習 内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル)を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション(アイコンタクトなど)やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。					
到達目標	インストゥルメンタル(楽器のみ)の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢(コミュニケーションなど)とスタンダードなリズム、フィール(ジャンル)を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲエ・フィールを解説と演習をする	Week7配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week8の予習
2	10月21日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール(R&B)の解説と演習をする	Week8の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
3	10月28日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール(R&B)の解説と演習をする	Week8配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week9の予習
4	11月4日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート解説と演習をする	Week9の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
5	11月11日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート解説と演習をする	Week9配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week10の予習
6	11月18日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート解説と演習をする	Week10の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
7	11月25日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート解説と演習をする	Week10配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week11の予習
8	12月2日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック解説と演習をする	Week11の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
9	12月9日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック解説と演習をする	Week11配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week12の予習
10	12月16日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行解説と演習をする	Week12の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
11	1月13日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行解説と演習をする	Week12配布音源にて練習と未達成箇所の復習 Week13の予習
12	1月20日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行解説と演習をする	Week13の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
13	2月3日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行解説と演習をする	Week13配布音源にて練習と未達成箇所の復習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う授業で学んだことを復習し、次の授業に備える1日1時間程度	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布資料・音源				

科目名	動画撮影編集論(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がけるまた2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習 内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画コンテンツの発信は最重要テーマの一つであり、常に映像や写真を記録する習慣を身に付けて授業の制作に生かしていただきたい。前期は主に機材面を中心に、実際のシーンで多用される編集テクニックを習得していく。						
到達目標	より人の心に響く映像を作るための編集方法や映像理論、機材の基本を学ぶ。 特にカメラ機材の扱い方や設定をしっかりと把握し、狙った通りのショットを撮影できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション1年を通して何を習得できるかを把握できる	事前資料を目を通す
2	4月26日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ動画形式/fps/解像度について述べる事ができる	資料の確認
3	5月10日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ絞り/SS/ISO感度/WBについて述べる事ができる	資料の確認
4	5月17日	講義・演習	スチル/動画それぞれ最適な機材設定を考察する設定を理解し、実践することができる	資料の確認
5	5月24日	講義・演習	パン、チルトなどの基本的なカメラワークと構図について学び、それらの説明ができる	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	キーフレーム、エフェクトコントロールを学び、実践できる	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	映像理論の基礎(各画角、構図による心理的影響)を理解できる	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	映像理論の基礎(イマジナリーライン、モニタージョ論)を理解できる	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	ストーリーボードの重要性を理解でき、作成方法を習得できる	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	実際の映画、ドラマのシーンを鑑賞の上、手法を分析することができる	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる	資料の確認
12	8月23日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留意し、より洗練された映像を撮影することができる	資料の確認
13	8月30日	講義・演習	機材、理論に関するテストの実施	資料の確認
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	動画作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
filmmaker's eye、映像制作スタンダードブック				

科目名	動画撮影編集論(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がけるまた2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う。						
授業の学習 内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。動画撮影や編集はクオリティに拘らなければ誰でも簡単に行える時代ではあるが、それ故コンテンツの飽和状態となり目を引くコンテンツにするには企画力や演出力がポイントとなる。後期は主にafter effectsによるより高度なテクニックを習得し、自身の動画コンテンツに活かせる映像を作成する。						
到達目標	after effectsの応用技術を身につける。身につけた技術やプログラミングで効率よく作業する方法を生かし、自身の映像コンテンツの企画制作に役立ててほしい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	after effectsの基本操作の確認基本操作を理解し、実践できる	事前資料を目を通す
2	10月11日	講義・演習	after effectsのレイヤーについて学ぶ平面レイヤー、調整レイヤーについて理解し、実践できる	資料の確認
3	10月18日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる	資料の確認
4	11月1日	講義・演習	after effectsの3Dレイヤー機能を学ぶ3Dレイヤーについて説明し使いこなすことができる	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	3Dレイヤー機能を利用して、写真のスライドショーを作成する	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	モーショントラッキング機能を学ぶモーショントラッキングとは何かを把握し、実践することができる	資料の確認
8	11月29日	講義・演習	After Effectsにおけるプログラミング(エクスプレッション)を理解、プログラミングできる	資料の確認
9	12月6日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、wiggle、timeを設定することができる	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、randomを設定することができる	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、loop Outを設定することができる	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	エクスプレッションを活用し、三角関数(sin、cos)を設定することができる	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	課題として時間内に所定の映像を作成する	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	動画作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動画撮影編集論 Adv.(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリースビデオなどを手がけるまた2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う						
授業の学習 内容	After Effectsを使用し、高度なテキストアニメーションなど実践的な編集方法を学ぶ。 また演出的観点からカラー編集の基礎を学び、カラーコレクションやカラーグレーディングなどを理解できるようにする。						
到達目標	自分の楽曲を用いてリリースビデオないしMVを制作し、外部公開を行う						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション1年を通して何を習得できるかを把握できる	資料の確認
2	4月26日	講義・演習	動画編集とプログラミングの関係	RAWファイルの用意
3	5月10日	講義・演習	After Effects時短術～スクリプト～	log撮影されたファイルの用意
4	5月17日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション (1)	log撮影されたファイルの用意
5	5月24日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション (2)	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	アニメーターを使ったテキストモーション (3)	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	エクスペッション基礎振り返り	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	エクスペッション応用(1)	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	エクスペッション応用(2)	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	エクスペッション応用(3)	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	エクスペッション応用(4)	資料の確認
12	8月23日	講義・演習	エクスペッション応用(5)	資料の確認
13	8月30日	講義・演習	制作に関するテストの実施	資料の確認
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	資料の確認
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影方法を学ぶ	資料の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロからのAfter Effectsエクスペッション奮闘記、After Effectsでつくるロゴアニメーション				

科目名	動画撮影編集論 Adv.(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	映像制作、ディレクションとしてRin音、asmi、クボタカイ、A夏目などのアニメーションMV、リリックビデオなどを手がけるまた2021年からRin音、クボタカイのツアー(Zepp公演など)のバックグラウンドムービーの制作・ディレクションを行う						
授業の学習 内容	After Effectsで映像を作る上で、効率的な作業は必須となる。 それに最も貢献するのがショートカットキーのマスターと、この授業で行うエクスペリメンテーションの活用である。 JavaScriptをベースにしたAfter Effects用のプログラミングで、これを理解・活用できるか否かで作業効率に大幅な違いが生まれ、表現の幅も広がる。ここではプログラミングを取り入れて動画編集を行い、作業効率も追及して動画のクオリティを高める方法を学ぶ。						
到達目標	自分の楽曲を用いてリリックビデオないしMVを制作し、外部公開を行う						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(1)	資料の確認
2	10月11日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(2)	資料の確認
3	10月18日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(3)	資料の確認
4	11月1日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(4)	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(5)	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	AIを使用した動画編集テクニック(6)	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(1)	制作する映像の参考にするためのリサーチ
8	11月29日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(2)	ストーリーボード
9	12月6日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(3)	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(4)	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(5)	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	MVまたはリリックビデオの制作とリサーチ(6)	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	制作した映像の講評会	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	資料の確認
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して外部公開しても問題ないクオリティの映像編集と効率的な編集を学ぶ	資料の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	エンターテック概論(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にてWEBメディア制作や運営に従事後音楽事務所にてアーティスト公式サイト制作やWEBプロモーションに携わる現在も制作からデジタル広告運用までデジタル領域の幅広い分野に携わる						
授業の学習 内容	コンテンツ制作、そしてマーケティングの視点で考えたとき、プログラミングが大いに役に立つ。 例えば映像制作ではエクスペリション、YouTubeマーケティングではGASを利用してデータを取得することなどがそれにあたる上記2つはいずれもWEBでも使われるJavaScriptがベースになっている。 初学者にも学習しやすいJavaScriptを学び、それを映像制作やマーケティング分野に転用できるスキルを身につける。						
到達目標	汎用性が高いJavaScriptでのプログラミングスキルを、映像制作やマーケティングなど分野に転用し活用できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション1年を通して何を習得できるかを把握できる	
2	4月26日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (1)	資料の確認
3	5月10日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (2)	資料の確認
4	5月17日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (3)	資料の確認
5	5月24日	講義・演習	プログラミング基礎(Java Script) (4)	資料の確認
6	5月31日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(1)	資料の確認
7	6月7日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(2)	資料の確認
8	6月14日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(3)	資料の確認
9	6月21日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(4)	資料の確認
10	7月5日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(5)	資料の確認
11	7月12日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(6)	APIを利用するためのアクセストークンなどの準備
12	8月23日	講義・演習	プログラミング応用(JavaScriptによるゲーム制作)(7)	APIを利用するためのアクセストークンなどの準備
13	8月30日	講義・演習	プログラミングに関するテストの実施	レポート
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプログラミングを活用して効率的な作業の思考を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してプログラミングを活用して効率的な作業の思考を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JavaScriptコードレシピ集、Google Apps Script完全入門				

科目名	エンターテック概論(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大場学
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にてWEBメディア制作や運営に従事後音楽事務所にてアーティスト公式サイト制作やWEBプロモーションに携わる現在も制作からデジタル広告運用までデジタル領域の幅広い分野に携わる						
授業の学習 内容	エンターテインメントを取り巻く環境は日進月歩で大きく進化している。 特に今年爆発的に広がりを見せているOpenAI社のChatGPTなど創造性を持ったAIサービスと人間がどう対峙していくかの分岐点にある。新しい技術に常にアンテナを張り巡らせ、自分はどう活用するかを考えなければいけない時代になっている。本授業ではAI、ブロックチェーン(NFT)、メタバース、ドローン、5Gなど音楽・エンターテインメント業界にも深い関わりがあるこれらの技術の概要を掴んでいく。						
到達目標	新しい技術の概要をつかむだけでなく、新しいプロモーション手法やビジネスモデルを創造する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(1)	プログラミングの基礎の復習
2	10月11日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(2)	プログラミングの基礎の復習
3	10月18日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(3)	プログラミングの基礎の復習
4	11月1日	講義・演習	生成AIを用いたエンターテインメントでの活用事例(4)	資料の確認
5	11月8日	講義・演習	ChatGPTや付随するソフトウェアの活用検証	資料の確認
6	11月15日	講義・演習	ドローンを用いた撮影手法と法律、シミュレーター操作	資料の確認
7	11月22日	講義・演習	ブロックチェーン概論	資料の確認
8	11月29日	講義・演習	NFTの基礎とエンターテインメントでの活用	資料の確認
9	12月6日	講義・演習	メタバースという概念とエンターテインメントとの関係性について	資料の確認
10	12月13日	講義・演習	VR端末(meta quest)を利用し活用方法を検証する	資料の確認
11	12月20日	講義・演習	日本と世界を取り巻くエンターテインメントの未来	資料の確認
12	1月17日	講義・演習	新たなエンタメビジネスモデルの考察	資料の確認
13	1月24日	講義・演習	最終課題としてプレゼンテーション	資料の確認
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してこれらの技術を活用してどう展開できるかを学ぶ	レポート
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してこれらの技術を活用してどう展開できるかを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Marketing Python、メタバースとは何か、NFTの教科書、ドローンビジネス、AIの教科書、メタバース未来戦略、推しエコノミー など				

科目名	Piano Duo(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	橋元: THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加多方面で活躍中 田中: サポートキーボーディストとして、SUMMER SONIC2016前夜祭、NAON NO YAONなどに出演					
授業の学習 内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。					
到達目標	1つの楽曲を歌う中で演奏のリードができる。曲の始まり、終わり方など簡単な演奏のアレンジや相談が問題なくできるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	演奏の練習
2	4月24日	講義・演習	基本的なアンサンブル各自課題に沿って演奏	フィードバックにより各自の課題に取り組む
3	5月8日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	新しい課題曲の練習、研究
4	5月15日	講義・演習	基本的なアンサンブル各自課題に沿って演奏	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	5月22日	講義・演習	演奏のリードに挑戦する	新しい課題曲の練習、研究
6	5月29日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに挑戦する	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	6月5日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	新しい課題曲の練習、研究
8	6月12日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	6月19日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、研究
10	7月3日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	7月10日	講義・演習	演奏の中で前期の課題を全て行う	新しい課題曲の練習、研究
12	7月17日	講義・演習	前期の課題にパフォーマンスを加える	各自課題曲を選曲、自身の課題に沿って練習
13	8月21日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	橋元: THE SOULMATICISのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加多方面で活躍中 田中: サポートキーボーディストとして、SUMMER SONIC2016前夜祭、NAON NO YAONなどに出演					
授業の学習 内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。最終的にはピアノと息の合った演奏が出来る上で、自身の個性と楽曲に合わせた表現、パフォーマンスが出来るようになってほしい。					
到達目標	高い水準の楽曲でも、柔軟に演奏中の会話、パフォーマンスが出来る。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	16分音符が多い楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、研究
2	10月16日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
3	10月30日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
4	11月6日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	11月13日	講義・演習	3拍子の楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
6	11月20日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	11月27日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
8	12月4日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	12月11日	講義・演習	難しい曲でのアレンジ、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
10	12月18日	講義・演習	難しい曲で演奏中の指示出し、表現に挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	1月15日	講義・演習	1曲の演奏の中で後期の課題を行う	各自演奏曲を選曲、自身の課題に沿って練習
12	1月22日	講義・演習	パフォーマンスを加えリハーサル	各自前回のフィードバックに沿って練習
13	2月5日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(7) Gt Adv(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北島優一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのライブアーサポ+□□□ レコーディング□□ TVなど□□演奏。MISIA、NEWS、鈴木愛理、CNBLUEなど						
授業の学習 内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問にも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
2	5月13日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
3	5月20日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
4	5月27日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
5	6月3日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
6	6月10日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
7	6月17日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
8	6月24日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
9	7月1日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
10	7月8日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
11	7月15日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
12	7月22日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
13	8月26日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
14	9月9日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
15	9月16日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
準備学習 時間外学習			基礎運指練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(7) Dr Adv(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	奥出矢
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
2	4月21日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
3	5月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
4	5月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
5	5月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
6	6月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
7	6月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
8	6月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
9	6月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
10	6月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
11	7月7日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
12	7月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(7) Key Adv(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	土屋剛
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
2	4月21日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
3	5月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
4	5月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
5	5月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
6	6月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
7	6月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
8	6月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
9	6月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
10	6月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
11	7月7日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
12	7月14日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(7) Vocal Adv(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 吉田華奈 潤豊 キムゴンヒョ ン
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加多方面で活躍中					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	事前課題曲練習
2	4月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	5月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(8) Gt Adv(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北島優一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのライブアーサポ+□□□ レコーディング□□□ TVなど□□□演奏MISIA、NEWS、鈴木愛理、キンプリなど						
授業の学習 内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問にも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
2	10月21日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
3	10月28日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
4	11月4日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
5	11月11日	講義・演習	応用トレーニング(1)・質疑応答	基礎トレーニング
6	11月18日	講義・演習	応用トレーニング(2)・質疑応答	基礎トレーニング
7	11月25日	講義・演習	応用トレーニング(3)・質疑応答	基礎トレーニング
8	12月2日	講義・演習	応用トレーニング(4)・質疑応答	基礎トレーニング
9	12月9日	講義・演習	応用トレーニング(5)・質疑応答	基礎トレーニング
10	12月16日	講義・演習	応用トレーニング(6)・質疑応答	基礎トレーニング
11	1月13日	講義・演習	応用トレーニング(7)・質疑応答	基礎トレーニング
12	1月20日	講義・演習	応用トレーニング(8)・質疑応答	基礎トレーニング
13	2月3日	講義・演習	応用トレーニング(9)・質疑応答	基礎トレーニング
14	2月10日	講義・演習	応用トレーニング(10)・質疑応答	基礎トレーニング
15	2月17日	講義・演習	応用トレーニング(11)・質疑応答	基礎トレーニング
準備学習 時間外学習			基礎トレーニング	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(8) Dr Adv(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	奥出矢
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)						
教員の略歴							
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
2	10月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
3	10月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
4	10月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
5	11月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
6	11月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
7	11月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
8	11月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
9	12月1日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
10	12月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
11	12月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
12	1月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(8) Key Adv(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	土屋剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
2	10月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
3	10月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
4	10月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
5	11月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
6	11月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
7	11月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
8	11月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
9	12月1日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
10	12月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
11	12月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
12	1月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習	他授業での課題や、個人的課題等を準備
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ	イベントでの自分の役割を確認しておく
準備学習 時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(8) Vocal Adv(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 吉田華奈 潤豊 キムゴンヒョ ン
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)					
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加多方面で活躍中					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月15日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月19日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月2日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクション(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	所博昭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	平成元年アーバンアクターズ所属、活動開始「相棒」シリーズ技斗代理、出演、吹き替えスタント、その他映画、TVドラマ、ビデオ用映画等技斗、出演、吹き替えスタント作品多数						
授業の学習 内容	「アクション」とは、日本の演劇界、映画界等では暴力行為全般を指します。殴る、蹴る、(関節を)極める、投げる、切る、(銃を)撃つ等多岐に渡り、出演者個人の技量、演じるキャラクターによってもその行動内容や仕草は全く変わります。殴り倒されたり等の動きを稽古、テスト、本番と繰り返しても怪我無く演じる事が出来る様にならないけません。まず、マットを使って転がる時の身の守り方である各種の受け身を身につけます。また、全てのアクションは集団行動に依って成り立ちます。複数の出演者が攻撃、被害を繰り返し、更にそれを視聴者や観客が観て、感動を生ませて初めてアクションとなるのです。現実問題として演者を殴ったりする事が出来ないのでリアリティーは失われがちになります。こうした弱点等も踏まえて多種多様の技、安全な芝居としての暴力を演じる為の技術や表現力、観せ方を身体で覚えます。						
到達目標	暴力による心と身体の「痛み」をアクション技術と演技を組み合わせ、共演者と協同して表現する事が出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	注意事項説明、アクションとは…を理解する。でんぐり返し～前転が出来る。□	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
2	4月24日	講義・演習	起き上がりが出来る。投げると投げられるが出来る。	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
3	5月8日	講義・演習	受け身が出来る。投げると投げられるが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
4	5月15日	講義・演習	横転が出来る。投げると投げられるが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
5	5月22日	講義・演習	後ろに倒れる事が出来る～アクション後転が出来る。突き飛ばすが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
6	5月29日	講義・演習	拳の作り方、構え、足運び、攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)が出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
7	6月5日	講義・演習	殴り(顔)、リアクション(顔)及び受け(ガード)が出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
8	6月12日	講義・演習	殴り(腹)、リアクション(腹)を含めたアクションが出来る。	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
9	6月19日	講義・演習	前蹴り、蹴り上げ、回し蹴りを含めたアクションが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
10	7月3日	講義・演習	肘打ち、膝蹴りを含めたアクションが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
11	7月10日	講義・演習	関節技(脇固め、腕固め、小手返し等)を含めたアクションが出来る。□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
12	7月17日	講義・演習	髪を掴んで振り回す、振り回される、首を締める、締められる等を含めたアクションが出来る□	前週の自主練習。アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習。□
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクション(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	所博昭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	平成元年アーバンアクターズ所属、活動開始「相棒」シリーズ技斗代理、出演、吹き替えスタント、その他映画、TVドラマ、ビデオ用映画等技斗、出演、吹き替えスタント作品多数						
授業の学習 内容	アクションはあくまでも芝居の一部であり、動作の一つ一つが台詞です。台詞は観客や視聴者に伝わらなければ意味を持ちません。自分や共演者、他者の芝居を客観的に観て、意見を発言する事で反省や新たな発見があります。カメラを使って動画を撮り、考察し反省点を踏まえて再演してまた考察するを繰り返します。また、暴力表現に頻繁に出て来る刃物や拳銃(モデルガン)を使い、仕組みや種類、取り扱い方を学び、実践します。						
到達目標	①カメラ、観客からの観え方、見せ方を理解し、意図的に自分の演技を表現出来る。 ②小道具としての刃物や拳銃を壊す事なく扱い、刃物や弾丸の痛みを表現出来る様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	カメラの仕組み、特性、画角を理解する	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
2	10月16日	講義・演習	演技する上でアクションの弱点を理解する	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
3	10月30日	講義・演習	縦位置での見え方の長所と短所を理解し実践	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
4	11月6日	講義・演習	横位置での見え方の長所と短所を理解し実践	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
5	11月13日	講義・演習	ローアングルでの見え方の長所と短所を理解し実践	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
6	11月20日	講義・演習	俯瞰での見え方の長所と短所を理解し実践	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
7	11月27日	講義・演習	技毎に長所を活かしたポジションに移動する	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
8	12月4日	講義・演習	刃物(包丁、ナイフ等)で刺す、刺される、切る、切られる事を含めたアクション	前週迄の自主練習 アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
9	12月11日	講義・演習	拳銃と弾丸の構造、仕組み、名称	ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習□
10	12月18日	講義・演習	拳銃(小道具としてのモデルガン)を正しく扱う	前週の復習ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
11	1月15日	講義・演習	簡単なガンアクションを含めた芝居□	前週の復習ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
12	1月22日	講義・演習	複雑なガンアクションを含めた芝居	前週の復習ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
13	2月5日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	剣舞(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	竹田光一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	剣舞道 菊秀流 秀玄会 師範・会長 / 居合道 神刀流神武会 師範 / 全日本剣詩舞道連盟 理事 日本伝統文化吟友会 平成三十年全国吟剣詩舞コンクール全国決勝大会 優勝 優秀剣士□						
授業の学習 内容	「剣舞」とは、偉人が詠んだ漢詩などの詩吟に合わせて、日本刀と扇子で、詩心表現を舞う日本の古典的な舞台芸能です。時代劇では欠かすことの出来ない所作を身に付け、立ち振る舞いが綺麗になる。例えば、立つ・座る・歩くなどの基本的な動作から、侍には欠かせない日本刀の剣捌きを会得する。居合刀で、帯刀から始まり、抜刀～真向斬り～血振り～納刀まで、多種多様な形「刀法」を学ぶ。 また扇子を使用して、例えば、弓・酒・笠・笛・手紙を書く、読む、等の「見立て」表現も学ぶ。古典芸能の文化に出会い、己の心と脈を繋げ、呼吸を整え精神統一し、集中力を高め、心技体も強化し、身に付ける。オーディションや本番などで自分らしく自然体で、緊張を楽しめるような表現者になることが目的である。						
到達目標	・刀法と剣舞の技術向上に修練する ◆2026/3月末～4月初旬「全日本剣詩舞道連盟昇段審査会」(希望者)【初段合格】 ・剣舞演目2「大楠公」作：楠木正成（現初段の演目、扇子も使用作品） ・刀法 「一本目～三本目」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	運足、井桁、抜刀、上段構え、真向斬り、血振り、納刀	木刀使用、足袋、浴衣、帯、袴
2	4月24日	講義・演習	刀法 一本目/抜刀、上段構え、真向斬り、血振り、納刀	居合刀使用また上記膝サポーター
3	5月8日	講義・演習	刀法 一本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」前半	漢詩の解釈
4	5月15日	講義・演習	刀法 一本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」前半	漢詩の解釈
5	5月22日	講義・演習	刀法 二本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」後半	漢詩の解釈
6	5月29日	講義・演習	刀法 二本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」後半	漢詩の解釈
7	6月5日	講義・演習	刀法 三本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」荒通し	漢詩の解釈
8	6月12日	講義・演習	刀法 三本目 / 剣舞演目「日本刀を詠ず」荒通し	漢詩の解釈
9	6月19日	講義・演習	刀法 一本目～三本目/剣舞演目「日本刀を詠ず」通し	漢詩の解釈
10	7月3日	講義・演習	刀法 一本目～三本目/剣舞演目「日本刀を詠ず」通し	漢詩の解釈
11	7月10日	講義・演習	刀法 一本目～三本目	発表会&撮影会 レポート提出
12	7月17日	講義・演習	剣舞演目「日本刀を詠ず」通し	発表会&撮影会
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
木刀使用、足袋、浴衣、帯、袴				

科目名	剣舞(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	竹田光一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	剣舞道 菊秀流 秀玄会 師範・会長 / 居合道 神刀流神武会 師範 / 全日本剣詩舞道連盟 理事 日本伝統文化吟友会 平成三十年全国吟剣詩舞コンクール全国決勝大会 優勝 優秀剣士□						
授業の学習 内容	「剣舞」とは、偉人が詠んだ漢詩などの詩吟に合わせて、日本刀と扇子で、詩心表現を舞う日本の古典的な舞台芸能です。時代劇では欠かすことの出来ない所作を身に付け、立ち振る舞いが綺麗になる。例えば、立つ・座る・歩くなどの基本的な動作から、侍には欠かせない日本刀の剣捌きを会得する。居合刀で、帯刀から始まり、抜刀～真向斬り～血振り～納刀まで、多種多様な形「刀法」を学ぶ。 また扇子を使用して、例えば、弓・酒・笠・笛・手紙を書く、読む、等の「見立て」表現も学ぶ。古典芸能の文化に出会い、己の心と脈を繋げ、呼吸を整え精神統一し、集中力を高め、心技体も強化し、身に付ける。オーディションや本番などで自分らしく自然体で、緊張を楽しめるような表現者になることが目的である。						
到達目標	・刀法と剣舞の技術向上に修練する ◆2026/3月末～4月初旬「全日本剣詩舞道連盟昇段審査会」(希望者)【初段合格】 ・剣舞演目2「大楠公」作：楠木正成（現初段の演目、扇子も使用作品） ・刀法 「一本目～三本目」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」前半	新作※漢詩の解釈 扇子の基本所作
2	10月16日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」前半	授業内容の復習
3	10月30日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」前半	授業内容の復習
4	11月6日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」後半	授業内容の復習
5	11月13日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」後半	授業内容の復習
6	11月20日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」後半	授業内容の復習
7	11月27日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」荒通し	授業内容の復習
8	12月4日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」荒通し	授業内容の復習
9	12月11日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」荒通し	授業内容の復習
10	12月18日	講義・演習	太刀打ちの構え / 刀法 / 剣舞「大楠公」通し	リハーサルに向けての練習
11	1月15日	講義・演習	剣舞1「日本刀を詠ず」2「大楠公」	リハーサル
12	1月22日	講義・演習	剣舞1「日本刀を詠ず」2「大楠公」	発表会&撮影会
13	2月5日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォーカルトレーニング(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	西涼子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハのコンテストで優秀賞を受賞し、その後多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加現在オリジナル呼吸法で企業向けの研修も行っている						
授業の学習 内容	1.歌に必要な呼吸法を身につけることで、しっかりと歌うための声を作り出し響きの良い身体作りを学ぶ 2.歌うことで更なる表現力を学び演技等への表現力へと繋げる 3.自分をアピールできる楽曲を探し、習得してほしい						
到達目標	歌うための身体作りやしっかりとした音感を習得し歌うための表現力を身につけ歌うための技術のレベルアップを達成する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	前期の各自の目標制作	前期の目標確認
2	4月24日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の復習1一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい1発表曲のおさらい
3	5月8日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の復習2一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい2発表曲のおさらい
4	5月15日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の復習3一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい3発表曲のおさらい
5	5月22日	講義・演習	歌う時の土台になる筋力のトレーニング復習1一人ずつワンコーラス歌を発表	筋力トレーニングのおさらい1発表曲のおさらい
6	5月29日	講義・演習	歌う時の土台になる筋力のトレーニング復習2一人ずつワンコーラス歌を発表	筋力トレーニングのおさらい2発表曲のおさらい
7	6月5日	講義・演習	声を作り出す筋力1・リップロールのトレーニング・一人ずつワンコーラス歌を発表	声筋力1・リップロールトレーニングのおさらい・発表曲のおさらい
8	6月12日	講義・演習	声を作り出す筋力2・タンロールのトレーニング・一人ずつワンコーラス歌を発表	声筋力2・タンロールトレーニングのおさらい・発表曲のおさらい
9	6月19日	講義・演習	腹筋強化・舌のトレーニング1一人ずつワンコーラス歌を発表	腹筋強化・舌のトレーニング1のおさらい・発表曲のおさらい
10	7月3日	講義・演習	腹筋強化・舌のトレーニング2一人ずつワンコーラス歌を発表	腹筋強化・舌のトレーニング2のおさらい・発表曲のおさらい
11	7月10日	講義・演習	前期の授業内容の確認	前期のトレーニングの復習
12	7月17日	講義・演習	前期の歌のまとめと発表	前期の発表曲の復習
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			毎日呼吸法の実践・VTノートを作りすべての注意点を記入・自分の歌った曲は必ず録音する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(iPad)・自分が歌う曲の歌詞				

科目名	ヴォーカルトレーニング(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	西涼子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハのコンテストで優秀賞を受賞し、その後多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加現在オリジナル呼吸法で企業向けの研修も行っている						
授業の学習 内容	1.歌に必要な呼吸法を身に着けることで、しっかりと歌うための声を作り出し響きの良い身体作りを学ぶ 2.歌うことで更なる表現力を学び演技等への表現力へと繋げる 3.自分をアピールできる楽曲を探し、習得してほしい						
到達目標	響きの良いからだ楽器を作り上げ、さらに自分を表現できるアピール曲を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月16日	講義・演習	一人ずつフルコーラス歌を発表	発表曲のおさらい
3	10月30日	講義・演習	前期のすべてのおさらい	前期内容の確認
4	11月6日	講義・演習	呼吸法・リズム・スケール・半音の復習1一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・スケール・半音のおさらい1発表曲のおさらい
5	11月13日	講義・演習	呼吸法・リズム・スケール・半音の復習2一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・スケール・半音のおさらい2発表曲のおさらい
6	11月20日	講義・演習	呼吸法・リズム・スケール・半音の復習3一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・スケール・半音のおさらい3発表曲のおさらい
7	11月27日	講義・演習	呼吸法・リズム・スケール・半音の復習4一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・スケール・半音のおさらい4発表曲のおさらい
8	12月4日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・胸の響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	胸の響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
9	12月11日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・鼻の響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	鼻の響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
10	12月18日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・ヘッドの響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	ヘッドの響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
11	1月15日	講義・演習	1年間のまとめ	1年間のおさらい
12	1月22日	講義・演習	最後の歌の発表	発表曲のおさらい
13	2月5日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			毎日呼吸法の実践・VTノートを作りすべての注意点を記入・自分の歌った曲は必ず録音する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(iPad)・自分が歌う曲の歌詞				

科目名	演技ゼミ(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	南翔太
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映画「大怪獣バトルウルトラ銀河伝説」ドラマ「旅人検視官道場修作」舞台「夫婦漫才」CMなどの出演、2003年～現在						
授業の学習 内容	演技の授業を通して人とのコミュニケーション能力を養い、自分の個性を発見し磨く、自発的に動ける力を身に付ける。お芝居を通し伝える事や相手との会話等で気持ちを汲み取る力を身につける。また役者としての身体の使い方、声の出し方、魅せ方を学ぶ。授業の集大成として公演をする事で本番の緊張感の中で表現することの楽しさと協調性を体験する。						
到達目標	自分の個性を知りまた客観的にどう見えているのかを理解し表現できるようになる。また演技の楽しさを知り華のある役者になる。一緒に作品をつくる仲間を尊重し、良いコミュニケーションを取れるようになる。自発的に行動できる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業説明、自己紹介、シアターゲームと発声練習(発声台本配布)	趣味や特技について話せるようにしてくる
2	5月7日	講義・演習	シアターゲーム、身体の使い方と魅せ方	自分がどう見えているのかを理解してくる
3	5月14日	講義・演習	公演に向けての説明、公演台本読み(台本配布)	公演台本の読み解きをしてくる
4	5月21日	講義・演習	公演台本読み合わせ	登場人物や物語の背景を考える
5	5月28日	講義・演習	本読みをしながら自分がどの役を演じたいか選びオーディション対策をする	希望の役を決め台詞を覚え準備をする
6	6月4日	講義・演習	公演配役オーディション	演じる以外で作品に対して自分のできる事、したい事を考える
7	6月11日	講義・演習	配役を決め立ち稽古、役割発表と説明	自分の役と作品について役割を理解し準備する
8	6月18日	講義・演習	シーン毎の立ち稽古	相手役と話し合い、掛け合いのトレーニングをする
9	6月25日	講義・演習	小道具等の効果的な使い方を取り入れ心と身体をリンクさせる	役の心情と動きが一体となる様に考え準備をする
10	7月2日	講義・演習	通し稽古により役の心情の流れを掴む	どんな状況下でも台詞が出てくるようにトレーニングを重ねる
11	7月9日	講義・演習	音響や照明を入れ本番に近い状態で演じる事により良い緊張感を体験する	トラブルが起きた時でも対応できるよう役への理解を深め動けるように準備しておく
12	7月16日	講義・演習	テスト	テストを振り返り、役だけではなく作品に対し自分に何ができるかを改めて考え仲間とコミュニケーションを深める
13	8月27日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			授業中に伝えた課題に1週間かけて取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業毎に講師が準備、必要に応じて配布する				

科目名	演技ゼミ(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	南翔太
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	映画「大怪獣バトルウルトラ銀河伝説」ドラマ「旅人検視官道場修作」舞台「夫婦漫才」CMなどの出演、2003年～現在						
授業の学習 内容	演技の授業を通して人とのコミュニケーション能力を養い、自分の個性を発見し磨く、自発的に動ける力を身に付ける。お芝居を通し伝える事や相手との会話等で気持ちを汲み取る力を身につける。また役者としての身体の使い方、声の出し方、魅せ方を学ぶ。授業の集大成として公演をする事で本番の緊張感の中で表現することの楽しさと協調性を体験する。						
到達目標	自分の個性を知りまた客観的にどう見えているのかを理解し表現できるようになる。また演技の楽しさを知り華のある役者になる。一緒に作品をつくる仲間を尊重し、良いコミュニケーションを取れるようになる。自発的に行動できる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	エチュードを通して役作りの引き出しを増やす	普段の生活から人間観察をし演じる時に使えるようインプットをする
2	10月15日	講義・演習	第三者の目線を持ち、演じている自分を客観的に見る	視野を広げる事を意識し、客観的に自分を見られる力をつけていく
3	10月22日	講義・演習	公演に向けての説明、公演台本読み(台本配布)	公演台本の読み解きをしていく
4	10月29日	講義・演習	本を読み解き自分がどの役に適しているか考えオーディション対策をする	台詞を覚えオーディションに臨む準備をする
5	11月5日	講義・演習	公演配役オーディション	自分の出来ることを率先して考える(衣装、小道具、制作など)
6	11月12日	講義・演習	配役を決め立ち稽古、役割発表と説明	自分の役と作品について役割を理解し準備する
7	11月19日	講義・演習	自分の演技プランで演じる	上手くできたところ、出来なかった所を見つけ何故そうなったかを考える
8	11月26日	講義・演習	自分、共演者が魅力的に舞台上で立てよう演じる	なぜこの台詞があり、このような動きになっているのかを見つけ演技に活かす
9	12月3日	講義・演習	衣装、小道具を用意しての通し稽古をし、役の心情を掴む	無駄な動きや癖などを見つけ修正する
10	12月10日	講義・演習	1度全部を忘れる	先読み芝居をしない為、新鮮な気持ちで台本を読み直す
11	12月17日	講義・演習	音響や照明を入れ本番に近い状態で演じる事により公演をリアルにイメージする	トラブルが起きた時でも対応できるよう役への理解を深め動けるように準備しておく
12	1月14日	講義・演習	テスト	テストを振り返り、役だけではなく作品に対し自分に何が出来るかを改めて考え仲間とコミュニケーションを深める
13	1月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			授業中に伝えた課題に1週間かけて取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業毎に講師が準備、必要に応じて配布する				

科目名	Jazz(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	寺本藍
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様に授業を進めていきます。ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリーを学び、姿勢を整え、立ち姿を美しくする。						
到達目標	身体の作りを覚え(骨、筋肉など)、どの様にして動いていて踊りや表現のどの動きに必要なかを覚える事。自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来る質の高い演者を目指して下さい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の進め方の説明目標の確認ジャズダンスがどのようなものか、動画を参考に説明	自分の目標を決める
2	4月24日	講義・演習	身体の作り(骨、筋肉)の説明どの様な動くかを説明し姿勢の矯正スタート	授業で学んだ事を再度確認し、覚える
3	5月8日	講義・演習	2週目に説明した動きがダンスの何に必要か実際動かして確認	実際に体を動かし学んだことを身体に覚えさせる
4	5月15日	講義・演習	ターン、ピルエットの説明、練習開始	首のきり方のタイミングパスセの高さが落ちない様に意識
5	5月22日	講義・演習	ターン、ピルエットの再確認し安定を目指す	軸足の伸び、足の運びを確認
6	5月29日	講義・演習	5週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始	動きの順番、繋がりを覚える
7	6月5日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習	繰り返し練習
8	6月12日	講義・演習	ブリエ、タンジュ、ロンデの説明と実践	引き上げたお腹が落ちない様に体幹キープの確認
9	6月19日	講義・演習	グランバットマン説明と実践	体幹をキープし足を上げる練習足先をポイント意識
10	7月3日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け開始	どの様に表現すれば見ている人に伝わるか考える
11	7月10日	講義・演習	実技テストの課題練習	自分の中で満足いくまで練習を重ねる
12	7月17日	講義・演習	実技テスト	足りなかったことを見つめ直し、次に活かせる様まとめる
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る知る触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	寺本藍
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様に授業を進めていきます。ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリーを学び、姿勢を整え、立ち姿を美しくする。						
到達目標	前期で学習し覚えた事を必ず実践し、自分の踊り身体について良いところ、足りないところを毎回考える事。自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来き、怪我をしない上質な身体を作って下さい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(腹筋)	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(腹筋)
2	10月16日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(背筋)	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(背筋)
3	10月30日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(腕、肩甲骨まわり)	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化(腕、肩甲骨まわり)
4	11月6日	講義・演習	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始(スローの曲を使い一つ一つの動きを確認)	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始(スローの曲を使い一つ一つの動きを確認)
5	11月13日	講義・演習	振り付けの追加正しい動きを出来ているか確認	振り付けの追加正しい動きを出来ているか確認
6	11月20日	講義・演習	振りの踊り込み	振りの踊り込み
7	11月27日	講義・演習	4週目からの振り付けの発表フィードバック	4週目からの振り付けの発表フィードバック
8	12月4日	講義・演習	進級に向け、テスト課題開始前期から学んだことを取り入れた振り付け	進級に向け、テスト課題開始前期から学んだことを取り入れた振り付け
9	12月11日	講義・演習	8週目の振りの確認と振り付けの追加	8週目の振りの確認と振り付けの追加
10	12月18日	講義・演習	振りの意味を説明し、構成を付け作品について考える	振りの意味を説明し、構成を付け作品について考える
11	1月15日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる(表現力も意識出来る様に調整)	構成の確認、作品に仕上げる(表現力も意識出来る様に調整)
12	1月22日	講義・演習	実技テスト	実技テスト
13	2月5日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る知る触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	田島あこ
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	a-nation・MAX・土屋アンナ・hitomi・相川七瀬・AI・プリキュアオールスターズ・三森すずこ等のアーティストバックアップダンサーやMV・CM出演 私立・公立高校ダンス部指導 スタジオ運営代表						
授業の学習 内容	HIPHOPクラスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り、今の業界シーンで多く必要とされるダンススキルやリズム感を身につける事によって、現場やオーディションでの対応力や自己表現力に活かす						
到達目標	HIPHOPの基礎を身につけ、リズム感を養う又、振り付けを覚えながら基礎を深掘りしていく						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	クラスの目的の把握 ストレッチ・基礎トレーニング	ストレッチ
2	5月7日	講義・演習	身体の使い方を理解する・簡単なコンビネーション	ストレッチ・基礎確認
3	5月14日	講義・演習	DOWNやUP等のリズムトレーニング・コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
4	5月21日	講義・演習	DOWNやUPをステップに取り入れる・コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
5	5月28日	講義・演習	アイソレーションの強化・コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
6	6月4日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
7	6月11日	講義・演習	リズム感の強化・応用 コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
8	6月18日	講義・演習	ステップの強化・応用 コンビネーション	ストレッチ・授業内容の復習
9	6月25日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・課題練習
10	7月2日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・課題練習
11	7月9日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・課題練習
12	7月16日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	ストレッチ・課題練習
13	8月27日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
運動の出来る服装(収縮性の無い生地や素材の物はNG・タイツやストッキングNG)・シューズ・タオル・水分飲料				

科目名	Hiphop(8)	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	田島あこ
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	a-nation・MAX・土屋アンナ・hitomi・相川七瀬・AI・プリキョアオールスターズ・三森すずこ等のアーティストバックアップダンサーやMV・CM出演 私立・公立高校ダンス部指導 スタジオ運営代表						
授業の学習 内容	HIPHOPクラスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り、今の業界シーンで多く必要とされるダンススキルやリズム感を身につける事によって、現場やオーディションでの対応力や自己表現力に活かす						
到達目標	リズム感の強化・表現力の強化 オーディションや舞台に対応するスキルを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	後期での内容説明 リズムトレーニング・アイソレーション	ストレッチ・筋トレ
2	10月15日	講義・演習	体力・筋力強化	予習・復習
3	10月22日	講義・演習	柔軟性強化	予習・復習
4	10月29日	講義・演習	動きにメリハリをつける	予習・復習
5	11月5日	講義・演習	表現力を養う	予習・復習
6	11月12日	講義・演習	即興力を身につける	予習・復習
7	11月19日	講義・演習	フォーメーションを取り入れた動きの習得	予習・復習
8	11月26日	講義・演習	カノンを取り入れた動きの習得	予習・復習
9	12月3日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	予習・復習
10	12月10日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	予習・復習
11	12月17日	講義・演習	約3週にわたってテスト課題 コンビネーションを習得	予習・復習
12	1月14日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	予習
13	1月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
運動の出来る服装(収縮性の無い生地や素材の物はNG・タイツやストッキングNG)・シューズ・タオル・水分飲料				

科目名	Acrobat(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	東山悠司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、パフォーマンスの幅を広げる。 ④主に前方系・後方系・側方系の基礎的なマット運動。補助倒立。筋力トレーニング・柔軟。						
到達目標	男子も女子も綺麗なロンダートを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	講義・演習	授業内容、注意事項の説明 基礎練習	ネット上でアクロバットの歴史と文化を調査
2	5月8日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月15日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	体幹トレーニング
4	5月22日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを説明～補助付きで練習	ネット上で参考動画の検索・閲覧
5	5月29日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	6月5日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	体幹トレーニング
7	6月12日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	動画を撮影し、自己分析
8	6月19日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
9	7月3日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
10	7月10日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
11	7月17日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
12	8月21日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
13	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
14	9月18日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
15	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	Acrobat(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	東山悠司
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①具体的に自身で選んだ高難度の技を習得し、補助無しの実践。パフォーマンスの印象付けになる。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。 ④主に前方系・後方系・側方系の高難度のマット運動。倒立静止。筋力トレーニング・柔軟。タンブリング(連続技)。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も二つ以上のタンブリング(連続技)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月16日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月23日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンスプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	10月30日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
5	11月6日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月13日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
7	11月20日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の説明～体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
8	11月27日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	動画を撮影し、自己分析
9	12月4日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
10	12月11日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
11	12月18日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
12	1月15日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの練習・実践	動画を撮影し、自己分析
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像演技(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	真田幹也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	役者活動暦27年 監督暦23年 講師暦11年						
授業の学習 内容	映画、ドラマなど映像の演技に必要な知識や技術の習得。既存のシナリオ・脚本を配布。本読み形式で内容を理解後、カメラの前で実際に演じてみる。毎回、自分の演じたビデオを見ながら問題点、反省点を共に考え演技に対する理解を深めていく。						
到達目標	カメラの前で演技をする事に慣れ、意識的に自ら動ける様になる/演技は楽しいと思えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	オリエンテーション・自己紹介	現状の自分、1年後の自分を考えてみる
2	4月25日	講義・演習	カメラの前で台詞を言う1	配布課題の熟読・暗記
3	5月9日	講義・演習	カメラの前で台詞を言う2撮影	撮影で感じたことを意識→修正
4	5月16日	講義・演習	2人で芝居が出来る1	配布課題の熟読・暗記
5	5月23日	講義・演習	2人で芝居が出来る2	配布課題の熟読・暗記
6	5月30日	講義・演習	2人で芝居が出来る3撮影	撮影で感じたことを意識→修正
7	6月6日	講義・演習	みんなで芝居が出来る1	配布課題の熟読・暗記
8	6月13日	講義・演習	みんなで芝居が出来る2	配布課題の熟読・暗記
9	6月20日	講義・演習	みんなで芝居が出来る3	配布課題の熟読・暗記
10	7月4日	講義・演習	みんなで芝居が出来る4	配布課題の熟読・暗記
11	7月11日	講義・演習	みんなで芝居が出来る5	配布課題の熟読・暗記
12	7月18日	講義・演習	みんなで芝居が出来る6撮影	撮影で感じたことを意識→修正
13	8月22日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月29日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
参考文献「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	映像演技(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	真田幹也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	役者活動暦27年 監督暦23年 講師暦11年						
授業の学習 内容	映画、ドラマなど映像の演技に必要な知識や技術の習得。既存のシナリオ・脚本を配布。本読み形式で内容を理解後、カメラの前で実際に演じてみる。毎回、自分の演じたビデオを見ながら問題点、反省点を共に考え演技に対する理解を深めていく。						
到達目標	カメラの前で演技をする事に慣れ、意識的に自ら動ける様になる/演技は楽しいと思えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る1	配布課題の熟読・暗記
2	10月10日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る2	配布課題の熟読・暗記
3	10月17日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る3撮影	撮影で感じたことを意識→修正
4	10月31日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る4	配布課題の熟読・暗記
5	11月7日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る5	配布課題の熟読・暗記
6	11月14日	講義・演習	2人で(カメラを意識して)芝居が出来る6撮影	撮影で感じたことを意識→修正
7	11月21日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)1	配布課題の熟読・暗記
8	11月28日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)2	配布課題の熟読・暗記
9	12月5日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)3	配布課題の熟読・暗記
10	12月12日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)4	配布課題の熟読・暗記
11	12月19日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)5撮影	撮影で感じたことを意識→修正
12	1月16日	講義・演習	2人で芝居が出来る(仕上げ)6まとめ	1年経って現状の自分を把握する→その先を目指す
13	1月23日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	1月30日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月13日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
参考文献「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	ライブゼミ(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	清水賢治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング(L'Arc〜en〜Ciel「DUNE」/ アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」/ 44MAGNUM「44MAGNUM」など)で、キーボーディストとして活動						
授業の学習 内容	前期、後期に各1回 行われる、Actor's ライブを発表の場(実技テスト)とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する校内(LS-1 または、LS-2)でのライブを行う。 前期・後期ともに、ライブでは、カラオケとバンド演奏による歌唱を併用する。 志あるものは、弾き語りにも、積極的に取り組む。						
到達目標	Actor's ライブという実践の場に向けて、企画制作、音響、照明、ミュージシャンの学生とも連携を取り、準備を行い、コミュニケーション・スキルの向上を目指すと共にライブ・イベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	年間を通しての授業説明 前期 ライブに向け、各自の役割、ライブのテーマを決め、選曲などを行う歌唱における発声の要点についても学ぶ	前期 ライブというイベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する
2	4月21日	講義・演習	観客に楽しんでもらえる内容であるか? 歌いたいから…だけでなく、エンターテインメント性の高いものを目指す	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱やパフォーマンスを表現者としての視点から、日々 研究する
3	5月12日	講義・演習	台本、資料音源、歌詞、譜面など、後に企画制作や音響、照明コースの学生への共有が必要となるデータを理解する	オーディオ編集ソフト、テキスト編集ソフトなどについて、積極的に自己学習する
4	5月19日	講義・演習	各楽曲に対して、誰が歌うのか、メイン・パート、コーラス・パートをどうするか、など決定する	日頃から、歌唱レパートリーを増やし、これまで歌ったことのない楽曲も、積極的に個人練習を行う
5	5月26日	講義・演習	各楽曲に対して、イベント全体を通しての流れを考慮し、演目の曲順を決定する	ライブ・イベントを共通の目標とし、クラスメイトへの敬意、感謝、配慮をもって、チームワークを高める
6	6月2日	講義・演習	早い時点で、歌詞の暗記に取り組み、より質の高いパフォーマンスを行う	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌唱箇所の歌詞を暗記する
7	6月9日	講義・演習	前期 ライブに向けての各楽曲のリハーサルを行う楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う	それぞれの楽曲に対して、動画サイトのライブや、カバー・バージョンなどを参考に、自分はどう表現するか計画する
8	6月16日	講義・演習	前期 ライブに向けてのブロック通しリハーサルを行う	リハーサルにおいて、客観的に振り返り・向上ができるよう、録音や録画し、チェックすることを習慣化する
9	6月23日	講義・演習	前期 ライブに向けての各楽曲のリハーサルを行う楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、ひとつのイベント成功に向け、自らが行動できることを実践する
10	6月30日	講義・演習	前期 ライブ本番に向けての通し稽古1本番同様の衣装を着用し、エンターテインメント性を向上させる	スタッフ学生からの指示や要望を受け止め、彼らともチームであることを認識し、互いへの敬意をもって、取り組む
11	7月7日	講義・演習	前期 ライブ本番に向けての通し稽古2本番同様の衣装を着用し、意識の上でも本番を想定し取り組む	ライブの形式が、有観客・無観客 いずれの場合でも、観て聴いてくださる方々へ届けるイメージを明確に意識する
12	7月14日	講義・演習	前期 Actor's LIVE 本番日 サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える
13	8月25日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具、録音や録画の為のスマホやタブレット端末など				

科目名	ライブゼミ(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	清水賢治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング(L'Arc~en~Ciel「DUNE」/ アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」/ 44MAGNUM「44MAGNUM」など)で、キーボーディストとして活動						
授業の学習 内容	前期、後期に各1回 行われる、Actor's ライブを発表の場(実技テスト)とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する校内(LS-1 または、LS-2)でのライブを行う。 前期・後期ともに、ライブでは、カラオケとバンド演奏による歌唱を併用する。 志あるものは、弾き語りにも、積極的に取り組む。						
到達目標	Actor's ライブという実践の場に向けて、企画制作、音響、照明、ミュージシャンの学生とも連携を取り、準備を行い、コミュニケーション・スキルの向上を目指すと共にライブ・イベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期ライブの反省点を踏まえ、後期 ライブに向け、各自の役割、ライブのテーマを決め、選曲などを行う	後期 ライブというイベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する
2	10月13日	講義・演習	観客に楽しんでもらえる内容であるか？ 歌いたいから…だけでなく、エンターテインメント性の高いものを目指す	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱やパフォーマンスを表現者としての視点から、日々 研究する
3	10月20日	講義・演習	台本、資料音源、歌詞、譜面など、後に企画制作や音響、照明コースの学生への共有が必要となるデータを理解する	オーディオ編集ソフト、テキスト編集ソフトなどについて、積極的に自己学習する
4	10月27日	講義・演習	各楽曲に対して、誰が歌うのか、メイン・パート、コーラス・パートをどうするか、など決定する	日頃から、歌唱レパートリーを増やし、これまで歌ったことのない楽曲も、積極的に個人練習を行う
5	11月3日	講義・演習	各楽曲に対して、イベント全体を通しての流れを考慮し、演目の曲順を決定する	ライブ・イベントを共通の目標とし、クラスメイトへの敬意、感謝、配慮をもって、チームワークを高める
6	11月10日	講義・演習	早い時点で、歌詞の暗記に取り組み、より質の高いパフォーマンスを行う	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌唱箇所の歌詞を暗記する
7	10月17日	講義・演習	後期 ライブに向けての各楽曲のリハーサルを行う楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う	それぞれの楽曲に対して、動画サイトのライブや、カバー・バージョンなどを参考に、自分はどう表現するか計画する
8	10月24日	講義・演習	後期 ライブに向けてのブロック通しリハーサルを行う	リハーサルにおいて、客観的に振り返り・向上ができるよう、録音や録画し、チェックすることを習慣化する
9	12月1日	講義・演習	後期 ライブに向けての各楽曲のリハーサルを行う楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、ひとつのイベント成功に向け、自らが行動できることを実践する
10	12月8日	講義・演習	後期 ライブ本番に向けての通し稽古1本番同様の衣装を着用し、エンターテインメント性を向上させる	スタッフ学生からの指示や要望を受け止め、彼らともチームであることを認識し、互いへの敬意をもって、取り組む
11	12月15日	講義・演習	後期 ライブ本番に向けての通し稽古2本番同様の衣装を着用し、意識の上でも本番を想定し取り組む	ライブの形式が、有観客・無観客 いずれの場合でも、観て聴いてくださる方々へ届けるイメージを明確に意識する
12	1月19日	講義・演習	後期 ライブ本番日 サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える
13	2月2日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	MC/レポート実習(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	実由
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオDJ、イベントMC、ナレーター、TVバラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演1995年～現在						
授業の学習 内容	タレントとしてバラエティ番組などで必要とされるトーク(フリートーク・レポート・番宣告知など) イベントステージでのMC、ラジオDJ、SNSなどのライブ配信でのフリートークetc…それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を見につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業説明	特になし
2	5月7日	講義・演習	フリートーク アイテム紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
3	5月14日	講義・演習	フリートーク アイテム紹介 (3分)	アドバイスを踏まえて練習
4	5月21日	講義・演習	フリートーク 作品紹介 (3分)	3分間のトーク内容を作る
5	5月28日	講義・演習	フリートーク 作品紹介 (3分)	アドバイスを踏まえて練習
6	6月4日	講義・演習	生コマーシャル(原稿&フリートーク)	商品についての情報収集
7	6月11日	講義・演習	生コマーシャル(原稿&フリートーク)	商品についての情報収集
8	6月18日	講義・演習	イベントや公演などの告知 番宣トーク (グループ5分)	イベントや作品のあらすじや内容等情報収集
9	6月25日	講義・演習	イベントや公演などの告知 番宣トーク (グループ5分)	グループでのトークや自分の担当を考える
10	7月2日	講義・演習	イベントや公演などの告知 番宣トーク (5分)	イベントや作品のあらすじや内容等情報収集
11	7月9日	講義・演習	イベントや公演などの告知 番宣トーク (5分)	アドバイスを踏まえて練習
12	7月16日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
13	8月27日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			各週、授業の最後に課題を伝えます	
【使用教科書・教材・参考書】				
その都度講師が用意				

科目名	MC/レポート実習(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	実由
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオDJ、イベントMC、ナレーター、TVバラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演1995年～現在						
授業の学習 内容	タレントとしてバラエティ番組などで必要とされるトーク(フリートーク・レポート・番宣告知など) イベントステージでのMC、ラジオDJ、SNSなどのライブ配信でのフリートークetc…それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ラジオ番組を想定したフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
2	10月15日	講義・演習	ラジオ番組を想定したフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
3	10月22日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べとインタビュー内容を考える
4	10月29日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べとインタビュー内容を考える
5	11月5日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	レポートする場所の情報などを収集
6	11月12日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	レポートの内容を考える
7	11月19日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	アドバイスを踏まえて練習
8	11月26日	講義・演習	MC演習(ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートーク部分のネタを収集
9	12月3日	講義・演習	MC演習(ライブなどのイベント)	アドバイスを踏まえて練習
10	12月10日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートーク部分のネタを収集
11	12月17日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	アドバイスを踏まえて練習
12	1月14日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
13	1月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			各週、授業の最後に課題を伝えます	
【使用教科書・教材・参考書】				
その都度講師が用意				

科目名	外画(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北村幸子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画吹き替え80作品ディスカバリーオブウィッチズシリーズ、たった一人の私の味方						
授業の学習 内容	マイク前での技術、表現を学ぶ。吹き替えにおけるスキル(スタジオマナー、映像チェック法、会話の表現、息遣いなど)を身につけアフレコを行う。						
到達目標	外画作品への理解を深める。アフレコに必要な基礎(発声、活舌、マイクワーク、マナー等)を確認しそれらを活かしマイクの前での芝居がスムーズに表現できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アフレコをし外画作品を理解する	吹き替え作品を1作品以上鑑賞しておく
2	4月25日	講義・演習	吹き替えのルールを学びアフレコを行う(タイムコード等)	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
3	5月9日	講義・演習	ストーリー、登場人物、関係性、などの理解を深める	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
4	5月16日	講義・演習	キャラクターを通して自身の強み、課題を探る	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
5	5月23日	講義・演習	相手との会話を意識しアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
6	5月30日	講義・演習	映像チェックのポイントを確認し実践する	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
7	6月6日	講義・演習	登場人物の動き表情を細かくチェックし再現する	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
8	6月13日	講義・演習	マイクワークを実践する	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
9	6月20日	講義・演習	客観的に自身の演技や声、キャラクターを考える	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
10	7月4日	講義・演習	自身の強みを見つけていく	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
11	7月11日	講義・演習	役とのシンクロ率を上げていく	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
12	7月18日	講義・演習	アフレコを行い試験に臨む	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
13	8月22日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月29日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			発声、活舌などの基礎は各自で練習しておく台本を読み込んでおく	
【使用教科書・教材・参考書】				
コピー台本				

科目名	外画(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北村幸子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画吹き替え80作品ディスカバリーオブウィッチズシリーズ、たった一人の私の味方						
授業の学習 内容	前期で学んだマイク前での技術、表現を実践しアフレコを行う。映像チェック、アドリブ、息遣い、会話、登場人物の機微などの細かな表現の精度を上げアフレコする。						
到達目標	ストーリー、シーン、登場人物への理解を深める。マイク前の芝居を通して相手との会話を大事に表現し、全員で作品を作り上げることを意識できるようになる。より実践に近いクオリティの表現を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	自身の強みを伸ばせる目標を定め授業に臨む	吹き替え作品を1作品以上鑑賞しておく
2	10月10日	講義・演習	マイク前の技術面の精度を上げアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
3	10月17日	講義・演習	自身の声、性格に合った表現を考えアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
4	10月31日	講義・演習	シーンの流れ、前後の流れを理解しアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
5	11月7日	講義・演習	登場人物の気持ちの流れをくみ取り表現していく	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
6	11月14日	講義・演習	登場人物の機微を正確にマイク前で表現していく	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
7	11月21日	講義・演習	【相手を認識し会話ができるようになるには】を考える	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
8	11月28日	講義・演習	映像に合わせる技術の精度を上げアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
9	12月5日	講義・演習	台本上にはない場合の息遣いアドリブの表現を学ぶ	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
10	12月12日	講義・演習	アフレコ最中に技術、芝居の両面を構築する感覚を掴む	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
11	12月19日	講義・演習	作品の全体像をとらえ芝居を構築しアフレコする	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
12	1月16日	講義・演習	アフレコを行い試験に臨む	レポート(前回の自身の課題、授業への目標を纏める)
13	1月23日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	1月30日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月13日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			発声、活舌などの基礎は各自で練習しておく台本を読み込んでおく	
【使用教科書・教材・参考書】				
コピー台本				

科目名	アテレコ(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	橋本浩志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画の吹き替え・アニメやゲーム多数、音響監督						
授業の学習 内容	アフレコ実習を通して表現することの面白さ楽しさを感じてもらう。それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。将来的には授業経験を活かし、舞台や映像などの表現者としても、社会人としても人間的な魅力に満ちた個人に成長してほしい。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や作品の世界観やテーマを正しく理解、解釈する。またそれを表現する力を習得させる。また常識の枠を超えたユニークな発想、自身の殻を破るチャレンジ精神を養う。スタジオでのマナーも共に学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	アフレコ・吹き替えの歴史から現状までを知るまた基礎の正しい理解	発声・滑舌・呼吸など基礎力の理解
2	4月21日	講義・演習	マイクを使いフリートークなどで自身の声質、声量、基礎力などを知り、今後の目標課題を理解してもらう	発声・滑舌・呼吸など基礎力の理解
3	5月12日	講義・演習	マイクを使いフリートークなどで自身の声質、声量、基礎力などを知り、今後の目標課題を理解してもらう	アクセント・滑舌の見直し
4	5月19日	講義・演習	尺短めのアフレコ題材を使って会話表現やマイクワークなどのアフレコ基礎を学ぶ	アクセント・滑舌の見直し
5	5月26日	講義・演習	尺短めのアフレコ題材を使って会話表現やマイクワークなどのアフレコ基礎を学ぶ	理解できなかった感情やシーンを再考し、演技プランの立て直しなどを図る
6	6月2日	講義・演習	読み合わせなどをしながら解釈・表現・会話演技の習得を目指す	理解できなかった感情やシーンを再考し、演技プランの立て直しなどを図る
7	6月9日	講義・演習	読み合わせなどをしながら解釈・表現・会話演技の習得を目指す	授業で演じたキャラの感情解釈レベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと
8	6月16日	講義・演習	基礎的な事柄がまだクリアできていない人向けに基礎訓練に励む	発声、呼吸、アクセント・滑舌の見直し
9	6月23日	講義・演習	基礎的な事柄がまだクリアできていない人向けに基礎訓練に励む	発声、呼吸、アクセント・滑舌の見直し
10	6月30日	講義・演習	アフレコした内容をチェックし、細かい修正を重ねる また自身のアイデアを反映させる	授業で演じたキャラの感情解釈レベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと
11	7月7日	講義・演習	アフレコした内容をチェックし、細かい修正を重ねる また自身のアイデアを反映させる	授業で演じたキャラの感情解釈レベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと
12	7月14日	講義・演習	後期に向けた個々の目標を確認しつつ、女性は男の子役が出来るよう実習を重ねる	他人の演技表現やプロの表現に目を向けて研究や参考にする
13	8月25日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アテレコ(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	橋本浩志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	外画の吹き替え・アニメやゲーム多数、音響監督						
授業の学習 内容	アフレコ実習を通して表現することの面白さ楽しさを感じてもらう。それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。将来的には授業経験を活かし、舞台や映像などの表現者としても、社会人としても人間的な魅力に満ちた個人に成長してほしい。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や作品の世界観やテーマを正しく理解、解釈する。またそれを表現する力を習得させる。また常識の枠を超えたユニークな発想、自身の殻を破るチャレンジ精神を養う。スタジオでのマナーも共に学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	新しい題材を使って前期からのレベルがどの位維持されているか確認する	改めての発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
2	10月13日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、演技のスキルの底上げを図りながら自身のイメージより大きな表現を目指す	改めての発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し自身でセリフを録音して聞き直してみる等をする
3	10月20日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、演技のスキルの底上げを図りながら自身のイメージより大きな表現を目指す	リアリティある表現力を身に付ける為に舞台や映画を観るリアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力や洞察力を養う
4	10月27日	講義・演習	キャラの心情に寄り添い、感情の理解力を養うまたその感情を表現する力を養う	リアリティある表現力を身に付ける為に舞台や映画を観るリアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力や洞察力を養う
5	11月3日	講義・演習	キャラの心情に寄り添い、感情の理解力を養うまたその感情を表現する力を養う	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちで幅広いジャンルの作品を鑑賞して表現の参考にする
6	11月10日	講義・演習	配役を変えながらアフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つけ、そこから表現力の向上を目指す	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちで幅広いジャンルの作品を鑑賞して表現の参考にする
7	10月17日	講義・演習	配役を変えながらアフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つけ、そこから表現力の向上を目指す	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちで幅広いジャンルの作品を鑑賞して表現の参考にする
8	10月24日	講義・演習	題材や配役を変えながらキャラ数を増やすことや、演じ分けの方法や技術を身に付ける	実習中の作品に出演しているプロ声優の表現・芝居を研究して参考にする常に考える習慣を身に付ける
9	12月1日	講義・演習	題材や配役を変えながらキャラ数を増やすことや、演じ分けの方法や技術を身に付ける	実習中の作品に出演しているプロ声優の表現・芝居を研究して参考にする常に考える習慣を身に付ける
10	12月8日	講義・演習	アフレコ実習で自分自身の目標達成や問題改善が出来るか？チェック！また自分の強みを見つける	学年グループごとにそれぞれが向上できる話し合いの場を設ける
11	12月15日	講義・演習	アフレコ実習で自分自身の目標達成や問題改善が出来るか？チェック！また自分の強みを見つける	学年グループごとにそれぞれが向上できる話し合いの場を設ける
12	1月19日	講義・演習	自分自身の目標達成や問題改善が出来るかなど、個々の課題を総括する	個々の問題課題を理解した上で毎日少しずつでも改善できるように努める
13	2月2日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーション(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	森雄一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーターとして活動中						
授業の学習 内容	①映像や音楽を「声による言葉」で導くナレーションはとても大切なポジションにあるものです。1年間で培った形をさらに磨いていきましょう。 ②俳優、声優、アナウンサー、ラジオDJ、タレント、ライバー、もちろんナレーターを目指す方に学んでほしいスキルです。 ③ナレーションは録音、ライブ、どちらでも求められるものです。トーンを変え、間を取り、聞く者にダイレクトに印象を伝えます。与えられた原稿をしっかりと読むことはもちろん、自身でも原稿が書けるよう、様々なテキスト(文章)を読んで表現力を身につけてください。						
到達目標	前期では、ナレーションの幅の広さを知り、体験することを目指します。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	ナレーションの基礎を学ぶ1(日本語と向き合う)	授業当日、しっかり声を出しましょう
2	4月21日	講義・演習	ナレーションの基礎を学ぶ2(自分に合った発声を知る)	講師創作原稿を一週間かけて下読みをしましょう
3	5月12日	講義・演習	ナレーション原稿を読む1(ソロ)	講師創作原稿を一週間かけて下読みをしましょう
4	5月19日	講義・演習	ナレーション原稿を読む2(男女別)	講師創作原稿を一週間かけて下読みをしましょう
5	5月26日	講義・演習	ナレーション原稿を読む3(テンション)	講師創作原稿を一週間かけて下読みをしましょう
6	6月2日	講義・演習	ナレーション原稿を読む4(掛け合い)	講師創作原稿を一週間かけて下読みをしましょう
7	6月9日	講義・演習	ナレーション原稿を作る	テーマに基づき指定時間内に収まる原稿を作りましょう
8	6月16日	講義・演習	ラジオ番組でのナレーション原稿を読む1(商品PR)	様々なラジオ番組を聴取し発声を真似しましょう
9	6月23日	講義・演習	ラジオ番組でのナレーション原稿を読む2(観光PR)	様々なラジオ番組を聴取し発声を真似しましょう
10	6月30日	講義・演習	店内放送、音声ガイドのナレーション原稿を読む1	身近な店舗や施設でナレーションに耳を傾けましょう
11	7月7日	講義・演習	店内放送、音声ガイドのナレーション原稿を読む2	身近な店舗や施設でナレーションに耳を傾けましょう
12	7月14日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読む前期授業のまとめ	これまでのレッスンを振り返りましょう
13	8月25日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナレーション(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	森雄一
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーターとして活動中						
授業の学習 内容	①映像や音楽を「声による言葉」で導くナレーションはとても大切なポジションにあるものです。1年間で培った形をさらに磨いていきましょう。 ②俳優、声優、アナウンサー、ラジオDJ、タレント、ライバー、もちろんナレーターを目指す方に学んでほしいスキルです。 ③ナレーションは録音、ライブ、どちらでも求められるものです。トーンを変え、間を取り、聞く者にダイレクトに印象を伝えます。与えられた原稿をしっかりと読むことはもちろん、自身でも原稿が書けるよう、様々なテキスト(文章)を読んで表現力を身につけてください。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期を振り返り後期ガイダンス含め即日実践	授業当日、しっかり声を出しましょう
2	10月13日	講義・演習	イベント台本を使用したMC実践1	事前に渡す台本を読み込んでおきましょう
3	10月20日	講義・演習	イベント台本を使用したMC実践2	事前に渡す台本を読み込んでおきましょう
4	10月27日	講義・演習	朗読と読み聞かせ1	指定書籍を事前に下読みしておきましょう
5	11月3日	講義・演習	朗読と読み聞かせ2	それぞれが選定する書籍を読み込んだ上で持参して下さい
6	11月10日	講義・演習	CMナレーション1(男女それぞれのボイス)	テレビ、ラジオのCMナレーションを聞きましょう
7	10月17日	講義・演習	CMナレーション2(掛け合い)	テレビ、ラジオのCMナレーションを聞きましょう
8	10月24日	講義・演習	ラジオドラマ1	ラジオやポッドキャストを聴取し想像力を膨らませましょう
9	12月1日	講義・演習	ラジオドラマ2	ラジオやポッドキャストを聴取し想像力を膨らませましょう
10	12月8日	講義・演習	映像付きのナレーション原稿を読む1	事前に映像と台本を渡すので練習しておきましょう
11	12月15日	講義・演習	映像付きのナレーション原稿を読む2	事前に映像と台本を渡すので練習しておきましょう
12	1月19日	講義・演習	前期後期を振り返り、最も自信のあるものを披露	10分以内でできるナレーション実演を準備しましょう
13	2月2日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	オーディション実践(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	実由
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオDJ,イベントMC、ナレーター、TVバラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演1995年～現在						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業説明・オーディションを受ける上での心構え	特になし
2	5月7日	講義・演習	プロフィールシートの作り方	プロフィールシート作成
3	5月14日	講義・演習	宣材写真のポーズや表情のアドバイス	衣装、メイクの準備
4	5月21日	講義・演習	服装やメイク、綺麗な立ち方、姿勢のアドバイス	衣装、メイクの研究
5	5月28日	講義・演習	ウォーキング、ポージング	衣装、メイクの研究
6	6月4日	講義・演習	ウォーキング、ポージング	ウォーキングトレーニング
7	6月11日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
8	6月18日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	アドバイスを踏まえて、自己PRを作る
9	6月25日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	アドバイスを踏まえて、自己PRを作る
10	7月2日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
11	7月9日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	アドバイスを踏まえて、自己PRを作る
12	7月16日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
13	8月27日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月10日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月17日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			各週、授業の最後に課題を伝えます	
【使用教科書・教材・参考書】				
その都度講師が用意				

科目名	オーディション実践(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	実由
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ラジオDJ,イベントMC、ナレーター、TVバラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演1995年～現在						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	新人発掘に向けてプロフィールシート見直し	プロフィールシート見直し
2	10月15日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンスを作る	パフォーマンスを考えてくる
3	10月22日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンスを作る	アドバイスを踏まえて練習
4	10月29日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンスを作る	アドバイスを踏まえて練習
5	11月5日	講義・演習	60秒自己PRおさらい	模擬オーディションに向けた自己PRを考える
6	11月12日	講義・演習	60秒自己PRおさらい	模擬オーディションに向けた自己PRを考える
7	11月19日	講義・演習	模擬オーディション CM	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
8	11月26日	講義・演習	模擬オーディション バラエティー番組	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
9	12月3日	講義・演習	模擬オーディション ドラマ	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
10	12月10日	講義・演習	模擬オーディション 映画	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
11	12月17日	講義・演習	模擬オーディション 舞台	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
12	1月14日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
13	1月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月4日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			各週、授業の最後に課題を伝えます	
【使用教科書・教材・参考書】				
その都度講師が用意				

科目名	エチュード(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大友恵理
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団以降解散まで全作品に出演。演劇集団アーバンフォレストを経て、舞台、CM、映画、司会など						
授業の学習 内容	多種多様なエチュードを通して、日々の観察力や想像力、発想力を養っていく						
到達目標	時間・空間・コミュニケーションを意識した表現ができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自己紹介とシアターゲーム	他己紹介を考える
2	4月24日	講義・演習	自己PRをすることができる	1分間の自己PR内容を考えてくること
3	5月8日	講義・演習	リラックスして声が出せる	日常での自分の声の出し方を意識してみる
4	5月15日	講義・演習	自分の状態を自覚することができる	自分の行動の仕方を記録してみる
5	5月22日	講義・演習	1人エチュード1人で立っていることができる	誰かのエチュードを真似してみる
6	5月29日	講義・演習	2人エチュード相手と意識や感覚を共有する	他の相手とやってみる
7	6月5日	講義・演習	沈黙という表現	同じことを何度もやってみる
8	6月12日	講義・演習	アクションとリアクションによる変化を楽しむ	日々の条件反射の記録
9	6月19日	講義・演習	コミュニケーション偶然と必然の違いを感じる	内容の振り返り
10	7月3日	講義・演習	空間をイメージすることができる	いろいろな空間を言葉と身体で表現してみる
11	7月10日	講義・演習	時間をイメージすることができる	時間を言葉と身体で表現してみる
12	7月17日	講義・演習	コントネタコピー	表現力を学習
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			日常を良く観察すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
運動しやすい服装、靴、筆記用具				

科目名	エチュード(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大友恵理
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団以降解散まで全作品に出演。演劇集団アーバンフォレストを経て、舞台、CM、映画、司会など						
授業の学習 内容	好奇心と瞬発力、臨機応変力を養っていく						
到達目標	自信と勇気を持って、表現できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	キャラクターの作り方・職業	職業を決めて考えてくる
2	10月16日	講義・演習	キャラクターの作り方・年齢や立場	内容の振り返り
3	10月30日	講義・演習	関係性から言葉と行動を考える	チームでのディスカッション
4	11月6日	講義・演習	空気を読むことができる	内容の振り返り
5	11月13日	講義・演習	反射的に動くことができる	内容の振り返り
6	11月20日	講義・演習	感情から生まれる言葉と行動	内容の振り返り
7	11月27日	講義・演習	自分のアクションから相手のリアクションを引き出す	チームでのディスカッション
8	12月4日	講義・演習	相手のアクションに瞬発力で答える	チームでのディスカッション
9	12月11日	講義・演習	同時に2つの目的を進行させることができる	目的を3つにした場合の行動を考えてみる
10	12月18日	講義・演習	ストーリーの展開のさせ方を学ぶ	内容の振り返り
11	1月15日	講義・演習	協力し合って、シーンを作ることができる	チームでのディスカッション
12	1月22日	講義・演習	観客の想像力へのゆだね方	内容の振り返り
13	2月5日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月12日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習			物事に対して常に敏感であること	
【使用教科書・教材・参考書】				
運動しやすい服装、靴、筆記用具				

科目名	Master Class Seminar(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける						
授業の学習 内容	1基礎的歌唱力の向上 2表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス 様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介、自分の音楽的長所と短所の分析	クラス内発表曲準備
2	4月21日	講義・演習	クラス内発表会	基礎曲練習
3	5月12日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/前期発表会で何を発揮したいか	基礎曲練習/自由課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	前期発表会の曲決定	発表会準備
12	7月14日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
13	8月25日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Master Class Seminar(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける						
授業の学習 内容	1基礎的歌唱力の向上 2表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス 様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期発表会のリフレクションと後期の目標設定	課題曲の選曲
2	10月13日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
4	10月27日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
5	11月3日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
6	11月10日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
7	11月17日	講義・演習	基礎曲歌唱指導/自由課題曲歌唱指導	基礎曲練習/自由課題曲練習
8	11月24日	講義・演習	後期発表会の曲決定	発表会準備
9	12月1日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
10	12月8日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
11	12月15日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
12	1月19日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
13	2月2日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導	発表会準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	殺陣(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	春見謙心
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクションチーム主催・殺陣師・MV監督 TV「悪党」「猫侍シーズン2」舞台「遙かなる時の中で」アクションNHK時代劇「善人長屋」「僕のヒーローアカデミア」						
授業の学習 内容	現在日本の芸能界における『殺陣』は、時代劇の支流が2.5次元や原作物の流行りによって大きく変わりました。今では歌、ダンス、殺陣が3種の神器とも言われる程です。正しい知識を持ちベースとなる基礎と知識を崩さず新しい時代の「殺陣」との融合を目指します。映像ではアングルの支流もかわりました。所作や大刀の正しい知識と扱い方を木刀を使って学び、斬り方、斬られ方の技術、表現力、魅せ方を身に付けます。実戦は相手との掛け合いでありテクニックと芝居です。現代は剣劇の中にも特殊な刀の動きや蹴りやパンチといった要素が取り入れられています。現代における舞台、映像それぞれの現場で即戦力として使える技術を安全面に考慮し体験してもらい学びます。□						
到達目標	現場における最低限に必要な適切な技術とスキルを安全面に考慮して身に付ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	内容注意事項、用語説明、基本の型、素振り、小道具の使い方、舞台における実践手合わせ	アクション映像鑑賞して予習
2	4月21日	講義・演習	基本の型(基本十手)を使い用語を覚える、素振り、所作、実践、リアクション	前回の実践動画を見て予習、用語を覚える、素振り
3	5月12日	講義・演習	基本の型(基本十手)を使い用語を覚える、素振り、所作、実践を振り返り実践、リアクション	前回の動画をみて予習、素振り(真向、袈裟、胴切り、切り上げ)
4	5月19日	講義・演習	基本の型(基本十手)、合わせ稽古をし距離感を掴む、インパクト、殺陣における芝居づくり、素振り、実践□	アクション動画を見て予習、前回の実践動画を見て予習、素振り
5	5月26日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、実戦におけるお芝居、刀の被せ方□	動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
6	6月2日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、映像殺陣における、インパクト、刀の軌道実践において修正□	動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
7	6月9日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、映像殺陣における修正の仕方、前回の実践を踏まえながら課題を実践において修正□	前回の動画動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
8	6月16日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、刀の特殊な回し方、アングルを想定した実践を前回の課題を踏まえながら実践	アングル、動線のイメージトレーニング
9	6月23日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、インパクトの修正、移動稽古、前回の実践の課題を修正しながら実践	前回の動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
10	6月30日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、ダブルアクションを身体に染み付ける、前回の課題をもとに実践□	前回の動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
11	7月7日	講義・演習	基本の型、素振り、実戦における芝居とインパクト実践 テスト週、注意事項の確認、基本の型、素振り、動線、被せ□	動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
12	7月14日	講義・演習	実践を元に各課題を修正所作、名称、動線、名称、殺陣における注意事項を理解しているか確認テスト、実践□	前回の動画をみて予習、素振り、基本の型を相手を想定してやる
13	8月25日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
小説、武士道				

科目名	殺陣(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	春見謙心
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクションチーム主催・殺陣師・MV監督 TV「悪党」「猫侍シーズン2」舞台「遙かなる時の中で」アクションNHK時代劇「善人長屋」「僕のヒーローアカデミア」						
授業の学習 内容	現在日本の芸能界における『殺陣』は、時代劇の支流が2.5次元や原作物の流行りによって大きく変わりました。今では歌、ダンス、殺陣が3種の神器とも言われる程です。正しい知識を持ちベースとなる基礎と知識を崩さず新しい時代の「殺陣」との融合を目指します。映像ではアングルの支流もわかりました。所作や大刀の正しい知識と扱い方を木刀を使って学び、斬り方、斬られ方の技術、表現力、魅せ方を身に付けます。実戦は相手との掛け合いでありテクニックと芝居です。現代は剣劇の中にも特殊な刀の動きや蹴りやパンチといった要素が取り入れられています。現代における舞台、映像それぞれの現場で即戦力として使える技術を安全面に考慮し体験してもらい学びます。□						
到達目標	到達目標現場における最低限に必要で適切な技術とスキルを安全面に考慮して身に付ける。専門用語を扱える様にする 後半は着付けまで自分でできる様にする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	舞台における実践、刀のベクトル	動画を見て予習、素振り、基本の型、着付け、刀回し
2	10月13日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、修正しながら実践、映像動線	動画をみて予習、アクション用語の予習
3	10月20日	講義・演習	基本の型(基本十手)、合わせ稽古、インパクト、実践	動画を見て予習、用語を覚え、素振り、刀の回し
4	10月27日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、打ち込み稽古、殺陣における芝居作り、実践	動画を見て予習、基本の型素振り、着付け、刀回し
5	11月3日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、実戦における刀の被せ方	動画を見て予習、基本の型素振り、着付け、刀回し
6	11月10日	講義・演習	基本の型、素振り、映像殺陣の映える魅せ方、実践	前回の実践動画をみて予習、素振り、着付け、刀回し
7	10月17日	講義・演習	基本の型、素振り、映像殺陣における実践	動画を見て予習、素振り、基本の型
8	10月24日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、アングルの使い方、実践	動線のイメージトレーニング
9	12月1日	講義・演習	基本の型(基本十手)、素振り、修正、衣装決め	切先の注意点のイメージトレーニング
10	12月8日	講義・演習	基本の型(基本十手)、作品作り	芝居をメインで考えてみる
11	12月15日	講義・演習	基本の型、素振り、テスト週注意事項、用語、所作の確認、作品作り	殺陣の形のイメージトレーニング
12	1月19日	講義・演習	殺陣動画作成	今後の課題を自分で考えてみる
13	2月2日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	授業を振り返ってイベント本番の準備
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して表現を学ぶ	イベント本番の振り返り次回の目標を定める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
小説、武士道				

科目名	韓国語(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	盧貞愛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中で韓国語がトレンドになっています。将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	1.ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。 2.変則活用を正しく使うようになる。 3.短い文を連結してまとめて言えるようになる。 4.進行形や今の状況が話せる。 5.日常生活に必要な会話を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義・演習	Lesson21 尊敬語の過去形で話す	活用シート完成・練習 表現練習
2	5月9日	講義・演習	Lesson22 可能・不可能表現ができる	第4章第12課練習 会話文の暗記
3	5月16日	講義・演習	Lesson23 変則活用ができる ㄹ, ㅂ, ㅅ 会話の練習	活用シート完成・練習 会話文の暗記
4	5月23日	講義・演習	Lesson24 変則活用ができる ㅃ, ㅆ 会話の練習	活用シート完成・練習 会話文の暗記
5	5月30日	講義・演習	Lesson25 命令表現: 丁寧な命令、ぞんざいな命令	第4章第13課練習、命令・指示・依頼の練習
6	6月6日	講義・演習	Lesson26 文の羅列・理由・先行動作で理由が言える	第4章第11課練習
7	6月13日	講義・演習	Lesson27 逆説の表現ができる	比較・頼む時使う練習 会話文の暗記
8	6月20日	講義・演習	Lesson28 現在連体形、状態の進行形ができる	進行形の使い分けの練習
9	7月4日	講義・演習	Lesson29 仮定・条件の表現ができる	方法・手段を尋ねる練習
10	7月11日	講義・演習	Lesson30 変則活用ができる ㅇ, ㅁ 会話の練習	活用シート完成・練習 会話文の暗記
11	7月18日	講義・演習	テスト: 筆記試験、会話試験	レポート提出
12	8月22日	講義・演習	韓国の文化を理解する	
13	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する	レポート提出
14	9月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月26日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1/初級2、ワークブック				

科目名	韓国語(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	盧貞愛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科4年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	1.ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。 2.日常生活の会話ができる。 3.相手の話がよく聞き取れる。 4.連体形、願望、勧誘、禁止、義務、意志、試みるなどが言えるように練習する。 5.自分の気持ちをよく伝えることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lesson31 願望する、許可を求める	第5章第2・6課 会話文の暗記
2	10月17日	講義・演習	Lesson32 勧誘表現:丁寧な表現、ぞんざいな表現	第5章第7・10課 会話文の暗記
3	10月24日	講義・演習	Lesson33 禁止表現:丁寧な表現、ぞんざいな表現	会話文の暗記
4	10月31日	講義・演習	Lesson34 義務、必須表現ができる	活用シート完成・練習
5	11月7日	講義・演習	Lesson35 意志・未来表現ができる	活用シート完成・練習 自分の予定を言う練習
6	11月14日	講義・演習	Lesson36 形容詞の現在連体形を活用する	活用シート完成・練習 会話文の暗記
7	11月21日	講義・演習	Lesson37 動詞の現在連体形を活用する	活用シート完成・練習 会話文の暗記
8	11月28日	講義・演習	Lesson38 動詞の過去連体形を活用する	活用シート完成・練習 会話文の暗記
9	12月5日	講義・演習	Lesson39 ~してください、~してあげる表現ができる	活用シート完成・練習 助けてあげる・くれる練習
10	12月12日	講義・演習	Lesson40 試みる、~しておく表現ができる	試してみたこと・試してみたいことの発表
11	12月19日	講義・演習	テスト:筆記試験、会話試験	レポート提出
12	1月16日	講義・演習	韓国の文化を理解する	
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する	レポート提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1/初級2、ワークブック				